



取扱説明書

詳細版

ESPRIMO

DHシリーズ


FUJITSU

サポート情報のご案内

紙

マニュアル

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』(本書)

使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

Web マニュアル

インターネットに
接続してください

Web『取扱説明書<詳細版>』

このパソコンの取り扱い方法を説明しています。

Web『補足情報』

『取扱説明書』の補足情報です。細かい設定を変更する方法などを説明しています。

スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

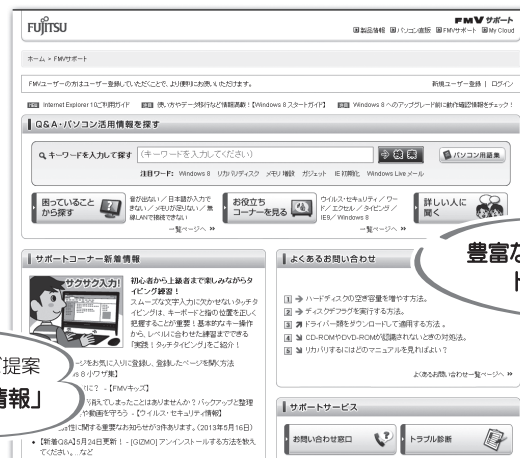


FMV サポート

インターネットに
接続してください

サポートページ <http://azby.fmworld.net/support/>

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」ときに役立つ情報を提供しています。



「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」の「サポートページで調べる」からサポートページを開くこともできます。

目次

このパソコンをお使いになる前に	6
マニュアルの表記	10
安全上のご注意	13
取り扱い上のご注意	20
パソコンの使用環境についての注意	20
使用上のお願い	21
疲れにくい使い方	22
各部の名称について	23
1. セットアップする	
セットアップを始める前のチェック	24
セットアップの流れを確認する	24
パソコンの準備をする	25
キーボード／マウスを準備する	25
フット（設置台）を取り付ける	27
インターフェースカバーを取り付ける	29
ディスプレイを接続する	30
LAN ケーブルを接続する（有線 LAN をお使いになる場合）	31
電源に接続する	32
Windows のセットアップをする	33
パソコンを快適にお使いいただくための準備をする	46
インターネットに接続せずにセットアップしたときは	48
Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する	48
インターネットに接続する	49
Microsoft アカウントに切り替える	51
2. 各部の名称と働き	
パソコン本体前面	52
パソコン本体側面	54
パソコン本体背面	55
パソコン本体内部	57
液晶ディスプレイ	58
24 型ワイド液晶ディスプレイ	58
20 型ワイド液晶ディスプレイ	60
キーボード	62
3. 取り扱い	
Windows をスタートする／終了する	66
Windows をスタートする	66
Windows を終了する	68
電源ランプの状態	68
スリープにする／復帰させる	69
パソコンをスリープにするときの注意	69
スリープにする	69
スリープから復帰する	69
パソコンの節電	70

マウス	70
マウスをお使いになるうえでの注意	70
各部の名称と働き	71
マウスの使い方	71
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス	73
使用に適した配置	73
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意	73
電池を交換する	74
キーボードやマウスをパソコンに再認識させる	75
ワイヤレストッチパッド	76
使用に適した配置	76
ワイヤレストッチパッドをお使いになるうえでの注意	76
各部の名称と働き	77
ワイヤレストッチパッドを準備する	78
ワイヤレストッチパッドの機能と操作方法について	79
音量	84
画面の明るさ	85
CD/DVD ドライブ	85
著作物の録音や複製に関する注意	85
ディスクをお使いになるうえでの注意	85
ディスクを再生するうえでの注意	86
ディスクに書き込み／書き換えをするうえでの注意	86
使えるディスク／使えないディスク	87
ディスクをパソコンにセットする／取り出す	89
ディスクをフォーマットする	91
メモリーカード	92
お使いになるうえでの注意	92
使えるメモリーカード	93
メモリーカードを差し込む／取り出す	93
周辺機器の取り扱い	95
周辺機器の取り扱い上の注意	95
本体カバーを取り外す／取り付ける	96
本体カバーを取り外す	97
本体カバーを取り付ける	97
メモリ	98
メモリの組み合わせを確認する	98
メモリの取り扱い上の注意	99
必要なものを用意する	99
メモリの交換方法	100
メモリ容量を確認する	101
拡張カード	101
取り付けられる拡張カード	101
必要なものを用意する	102
拡張カードの取り扱い上の注意	102
拡張カードを取り付ける	103
Bluetooth ワイヤレステクノロジー	105
Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは	105
Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使うための設定をする	105

お手入れ	105
パソコン本体やキーボードのお手入れ	105
液晶ディスプレイのお手入れ	106
CD/DVD ドライブのお手入れ	106
パソコン本体内部や通風孔のお手入れ	106
ディスプレイに関する Q&A	110
画面が表示されない	110
画面がおかしい	111
画面が調節できない	113
音が聞こえない／変な音が聞こえる	114
4. 便利な機能のご紹介	
My Cloud	115
My Cloud とは	115
マイミュージアム	116
マイミュージアムの初期設定	116
マイミュージアムの使い方	116
F-LINK（ケータイ連携機能）	117
F-LINK とは	117
F-LINK をお使いになるうえでの注意	117
Skype	118
Skype でできること	118
搭載されているアプリを使う	118
「@メニュー」の使い方	118
Web かんたんログイン（OmniPass）	119
Web かんたんログインとは	119
Web かんたんログインの使い方	119
自動サインイン設定	120
自動サインイン設定とは	120
自動サインイン設定の使い方	120
5. バックアップ	
バックアップナビ	121
バックアップナビの機能	121
バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項	121
マイデータ	122
バックアップ／復元できる項目	122
「マイデータ」の注意事項	122
「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法	122
パソコンの状態	123
「パソコンの状態」の注意事項	123
「パソコンの状態」をバックアップする場所	123
「パソコンの状態」をバックアップする	124
「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする	125
「パソコンの状態」を復元する	125
「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する	127
6. 困ったときは	
メールや Office で困ったときは	128

ウイルス対策アプリなどで困ったときは	129
マカフィー マルチアクセスのお問い合わせ先	129
アプリのお問い合わせ先の確認方法	129
よくあるトラブルと解決方法	130
起動・終了	130
Windows・アプリ関連	131
ポインティングデバイス	133
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス	134
キーボード	135
文字入力	135
サウンド	135
CD/DVD	136
メモリーカード	136
有線 LAN	137
無線 LAN	138
USB 機器	139
ハードディスク	139
メール	140
その他	140
トラブル発生時の基本的な対処	141
落ち着いて状況を確認する	141
マニュアルで調べる	142
インターネットで調べる	142
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	142
「トラブル解決ナビ」を起動する	144
富士通の窓口にご相談する	145
ユーザー登録のご案内	145
サポート&サービス紹介	146

7. ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認	153
ご購入時の状態に戻すリカバリの準備	153
バックアップをする	153
ご購入時の状態に戻すリカバリの注意	153
作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法	154
ディスクが必要な場合	154
ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する	155
C ドライブを初期状態に戻す	155
Windows のセットアップをする	156

8. 付録

インターネットを安心してお使いいただくために	157
青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について	157
リカバリディスクセットを作っておく	159
リカバリディスクセットを作るうえでの注意	159
リカバリディスクセットの作成手順	160
パソコンの電源を完全に切る	162
富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内	162
PC リサイクルマークについて	162

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意	163
付属品の廃棄について	163
液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ	164
富士通パーソナルコンピュータ修理規定	165
My Cloud FMV サポート会員規約（旧 AzbyClub 会員規約）	167

9. 仕様一覧

パソコン本体の仕様	170
仕様一覧の注記について	171

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間で。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、または添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストアアプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。上記の他、本ソフトウェアのうち、別途の「使用条件」または「使用許諾契約書」等が添付されている一部ソフトウェアについては、本契約は適用されず、当該「使用条件」または「使用許諾契約書」等が適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルおよび予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本装置とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
本製品に「FMV」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1 ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様で自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・ 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間、1 ヶ月に 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・ 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

LCD、ハードディスクドライブ、SSD（フラッシュメモリディスク）、CD/DVD ドライブ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- ・ バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身の新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- ・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について（無線 LAN（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、IEEE 802.11n 準拠）搭載機種の場合）

2.4 DS/OF 4

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・ 本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について（無線 LAN 搭載機種の場合）

2.4 DS/OF 4

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・ 本製品と 5GHz の周波数帯を使用する無線 LAN とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について（無線 LAN 搭載機種の場合） 5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

W52 W53 W56

IEEE 802.11a/b/g/n 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- ・ W52：36(5.180MHz)/40(5.200MHz)/44(5.220MHz)/48(5.240MHz)
- ・ W53：52(5.260MHz)/56(5.280MHz)/60(5.300MHz)/64(5.320MHz)
- ・ W56：100(5.500MHz)/104(5.520MHz)/108(5.540MHz)/112(5.560MHz)/116(5.580MHz)/120(5.600MHz)/124(5.620MHz)/128(5.640MHz)/132(5.660MHz)/136(5.680MHz)/140(5.700MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。

アドホック通信では 5GHz 帯を使用できません。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて (Bluetooth® ワイヤレステクノロジー搭載モデルの場合)

2. 4 FH4

- ・ 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
- ・ 連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。
- ・ ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmwworld.net/fmv/jmoss/>

ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスについて (ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウス添付機種の場合)

2.4DS1

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
- この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- ・ この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
 - ・ 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
 - ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
 - ・ 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお申しつけください。

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2013 年 5 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などに変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中での書き分けについて

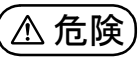

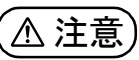
このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称と働き」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について








このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。




□警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危険や障害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。			
 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。			
	アース線を接続せよ		プラグを抜け
	一般指示	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。	
安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。	








■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	インターネットで公開している情報を表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。

なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 8	Windows または Windows 8
Windows 8 Pro	Windows または Windows 8
Windows Internet Explorer® 10	Internet Explorer 10 または Internet Explorer
Microsoft® Office Personal 2013	Office または Office Personal 2013
Microsoft® Office Home and Business 2013	Office または Office Home and Business 2013
Microsoft® Word 2013	Word
Microsoft® Excel® 2013	Excel
Microsoft® Outlook® 2013	Outlook
Windows Live®	Windows Live
Corel® WinDVD®	WinDVD
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	CD/DVD ドライブ
スーパーマルチドライブ	
ポータブル CD/DVD ドライブ	
マカフィー® サイトアドバイザーライブ 30 日期間限定版	サイトアドバイザーライブ
マカフィー® マルチアクセス	マカフィー マルチアクセス
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
AMD Radeon™ HD 7570	AMD Radeon HD 7570

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>

ここでは、AC アダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。お使いの機種によっては、搭載されていない機能についての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

警告



プラグを抜く

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



一般禁止

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

転倒防止の処置をしてください。

地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。

設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因になります。



一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。

火災の原因になることがあります。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っかけ、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



一般禁止

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



一般指示

電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。

不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

タコ足配線をしないでください。

感電、火災の原因になります。



アース線を接続せよ

プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因になります。



注意



一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になることがあります。



一般禁止

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災、故障の原因になります。



プラグを抜く

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。

使用時



警告



火気禁止

火中に投入、加熱しないでください。

発煙、発火、破裂の原因になります。



一般禁止

端子をショートさせないでください。

感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



プラグを抜く

落したり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

低温やけどの原因になります。



水場使用禁止

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入ると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。

通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、パソコン本体を転倒・落下させないでください。

破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。



一般禁止

- ・ショートさせない
- ・加熱したり、火の中に入れたりしない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けをしない



一般禁止

電源ケーブルやACアダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



一般禁止

ACアダプタ本体に電源ケーブルをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、FeliCa ポート、CLEARSURE の注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応の CLEARSURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。



一般指示

- ・ 病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・ 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・ 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・ 満員電車の中など付近（22cm（FeliCa ポートは 12cm））に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- ・ 光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
- ・ また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。
レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・ お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザ光
注意

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



レーザ光
注意

注意



一般禁止

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10～15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・ 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・ なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・ 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・ いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・ 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・ キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。



一般指示

光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指のケガに
注意

指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。

火災、故障の原因になります。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般禁止

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。



一般指示

ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリスティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。



高温注意

これらを取り外すときは、使用后充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。
やけどの原因になります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。



一般禁止

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設



警告

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。



分解禁止

けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。



一般禁止

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。



一般指示

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。



一般指示

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。

やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。



一般禁止

故障や火災の原因になります。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。



一般禁止

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せず、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

指定以外の電池は使用しないでください。



一般禁止

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。

電源ケーブルはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。



一般指示

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



プラグを抜け

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外してください。

故障、感電、火災の原因になります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。



一般指示

⚠ 注意



一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。

けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。

けが、故障の原因になります。



高温注意

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。

メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、十分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。やけどの原因になります。



一般指示

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶついたりしないように注意してください。

けがの原因になります。

異常時

⚠ 警告



プラグを抜け

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



一般指示

バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注意



指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

注意



プラグを抜け

.....
本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。

.....
本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

パソコン本体にはリチウム電池を使用しております。



破裂注意

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。
一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。

使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

.....

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。

内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

●パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

- ・動作時: 温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH
- ・非動作時: 温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 80%RH

●パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所から、温度の高い場所へ移動したときに起こります。

●パソコンをお使いになる場所

次の場所ではお使いにならないでください。

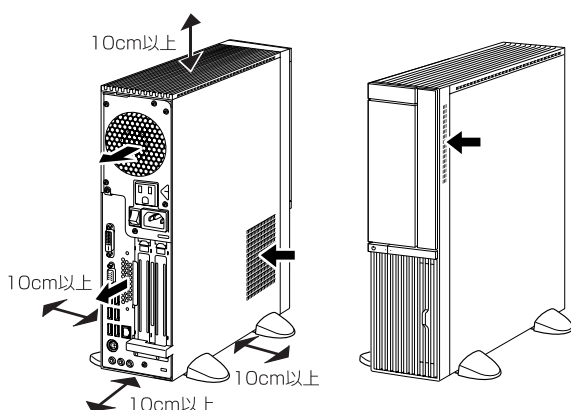
- ・直射日光のあたる場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・台所などの油を使用する場所
油分がパソコン内部に入って CPU ファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。
- ・ほこりの多い環境
ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- ・静電気の発生しやすい場所
パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- ・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所故障や機能低下の原因となります。
- ・腐食性ガスが存在する場所（温泉から出る硫黄ガスなど）パソコン本体が腐食する可能性があります。

●通風孔

- ・通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気

の流れが悪くなり、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にほこりなどを取り除いてください。詳しくは、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.106）をご覧ください。

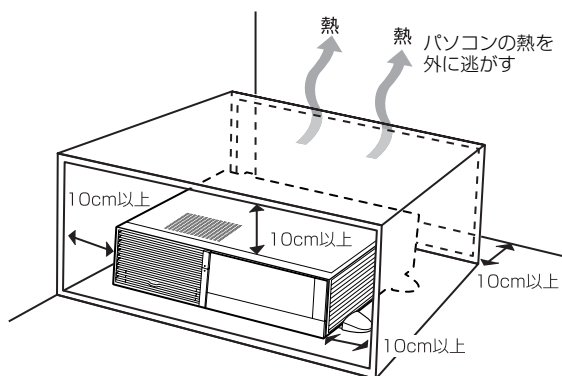
- ・通風孔をふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- ・通風孔の近くに物を置いたりしないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。
- ・パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm 以上のすき間を空けてください。通風孔の空気の流れは、次の図の ➡ をご覧ください。



●パソコンをラックなどに設置する場合

前面および背面がふさがれていないラックを使用してください。

- ・パソコン本体とラックの内側の棚板などとの間は、10cm 以上のすき間をあけてください。
- ・ラック背面と壁の間は、10cm 以上のすき間をあけてください。



●パソコン使用中の環境

- ・操作するのに十分なスペースを取れる場所でお使いください。
コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。タコ足配線はしないでください。
- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- ・パソコン本体の近くで携帯電話、PHS、トランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- ・パソコン本体は、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコン表面が高温になることがあります。
- ・パソコンは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- ・有線 LAN をお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。
窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷めることがあります。(液晶ディスプレイ添付機種のみ)
- ・液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの角度を調節してください。(液晶ディスプレイ添付機種のみ)

●無線通信機能をお使いになる場所（無線 LAN 搭載機種のみ）

- ・パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

使用上のお願い

■パソコン本体の取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 操作に必要なのり部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- マニュアルに記述されている箇所以外は絶対に開けないでください。
- 磁石や磁気プレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- 水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。
故障の原因になる可能性があります。
- パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
- SSD（フラッシュメモリディスク）は、頻繁に書き込み／書き換えを行うと寿命が短くなります。ドライブの最適化（デフラグ）は行わないようにしてください。また、重要なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

■パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがありますが、故障ではありません。

■パソコン内部からの音に関して

パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。

- 内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ハードディスクにアクセスする音
- CD/DVD ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音

■パソコンを移動する場合の注意

- 必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約 5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクが故障する原因となります。
- パソコン本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。

- パソコン本体にメモリーカードをセットしている場合は必ず取り外してください。

■液晶ディスプレイの取り扱い上の注意 (液晶ディスプレイ添付機種のみ)

- 液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
- 液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

●直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できません。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

●誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

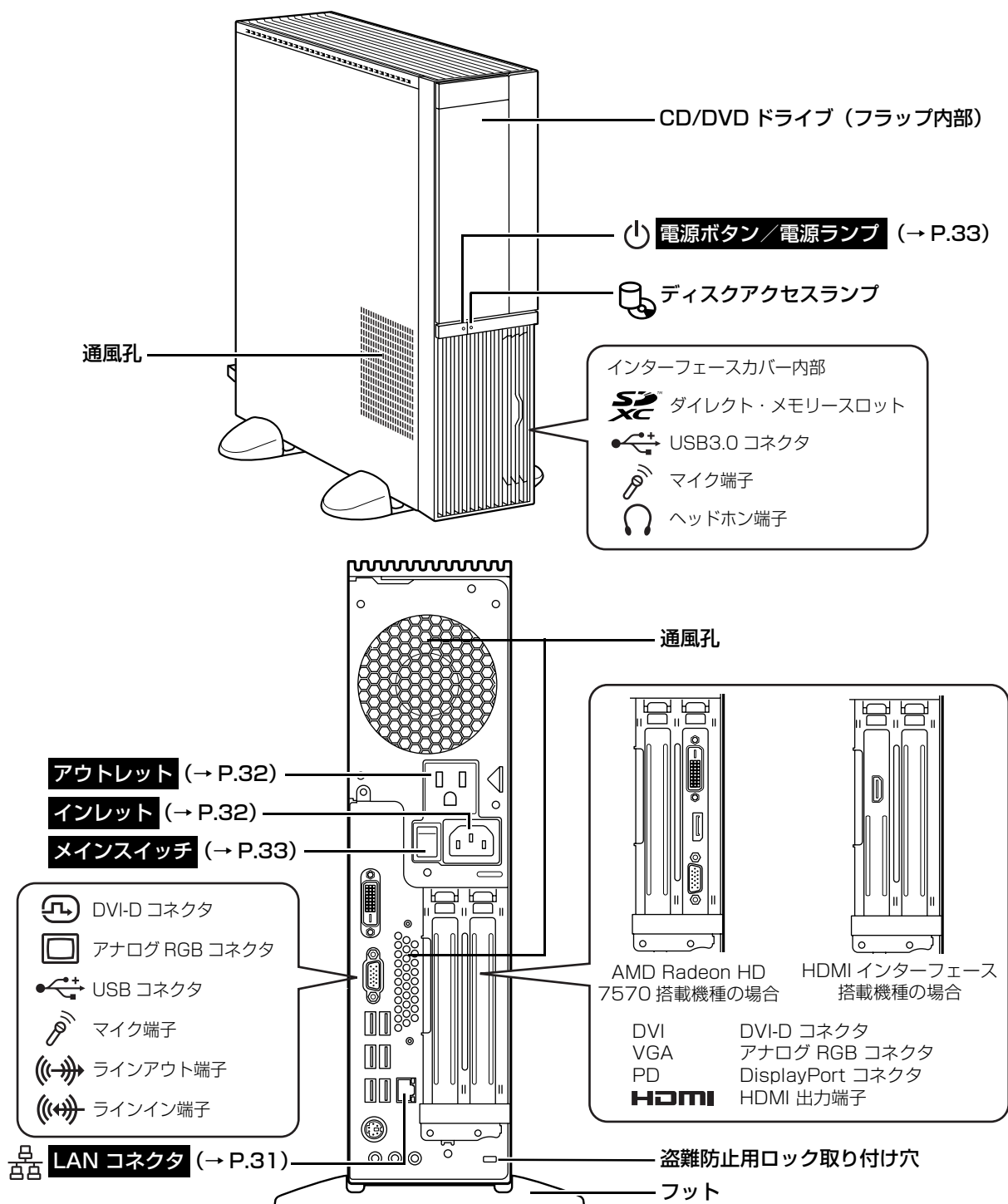
疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- 直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- 目と画面との距離をとり、疲れない位置を保って利用しましょう。
- 1時間以上続けて作業しないようにしましょう。
 - ・続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間を取りましょう。
 - ・休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

各部の名称について

このパソコンの各部の名称は次のとおりです。




各部の動きなど詳しくは、「各部の名称と動き」(→ P.52) をご覧ください。

セッアップを始める前のチェック

セッアップの準備が整っているか確認してください。

☐ 添付品の確認は済んでいますか？

→ まだの場合は、『箱の中身を確認してください』をご覧ください。

☐ パソコンを設置する場所は決まっていますか？

→ 設置場所については、「パソコンの使用環境についての注意」(→ P.20) をご覧ください。

☐ インターネットに接続する準備ができていますか？

→ できていない場合は、プロバイダーと契約してください。

☐ ワイヤレス(無線 LAN)を使う場合、SSID とパスワードが必要です！

→ セッアップの途中で必要になりますので、あらかじめ記載しておいてください。



SSID	
パスワード	

セッアップの流れを確認する

パソコンの準備をする (→ P.25)



Windows のセッアップをする (→ P.33)

Windows のセッアップをする

メールの設定をする

Windows を終了する



パソコンを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.46)

● セッアップ前に周辺機器を接続しないでください
プリンター、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセッアップをする」が終わるまで接続しないでください。

● ディスプレイの接続台数は 1 台でセッアップを行ってください

所要時間は約 30 分です。

● このあいだは絶対に電源を切らないでください
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

● 時間に余裕をもって作業してください

パソコンの準備をする

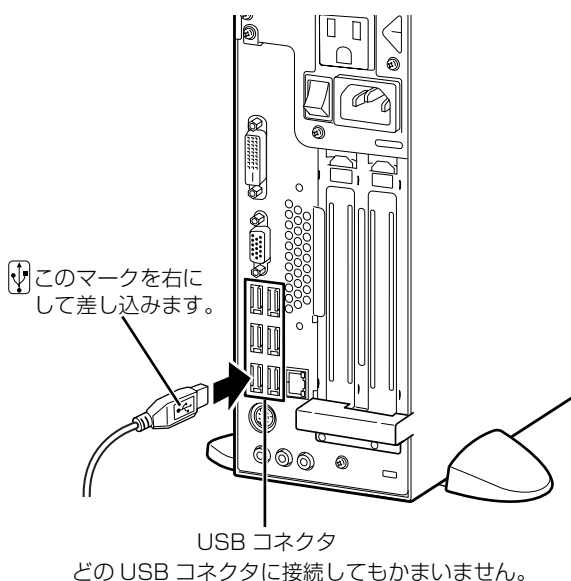
重要

- ▶ キーボード、マウス、電源などのケーブルを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

キーボード／マウスを準備する

■ USB キーボード／USB マウス添付機種の場合

- 1 キーボードとマウスを、パソコン本体の USB コネクタに接続します。

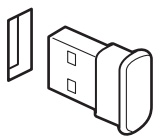


■ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス添付機種の場合

重要

- ▶ 乾電池の寿命について
ご購入時に添付されている乾電池は、すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池または充電電池に交換してください。
- ▶ 電池を入れるときの注意
 - ・ アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池を使用してください。マンガン乾電池などをお使いになると、電池寿命が極端に短くなります。
 - ・ +（プラス）と－（マイナス）の向きに注意して、表示どおりに入れてください。

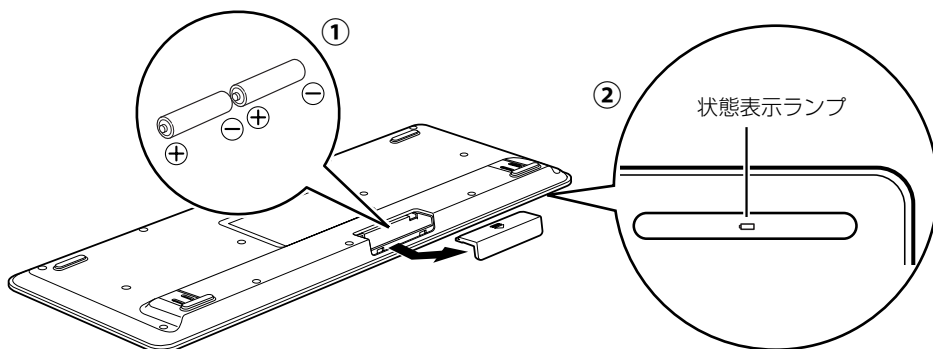
1 ワイヤレスレシーバーを、パソコン本体の USB コネクタに接続します。



- ▶ 無線LAN搭載機種の場合は、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

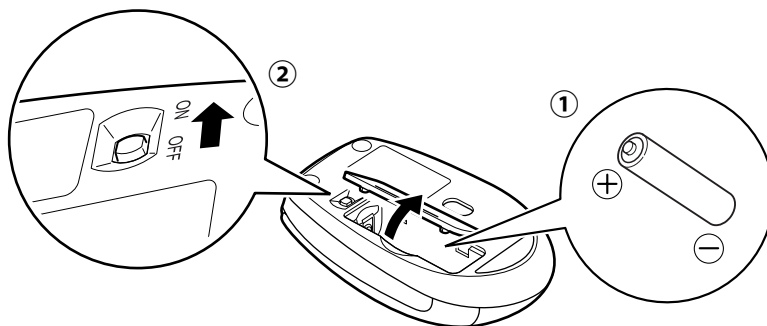
2 ワイヤレスキーボードを接続します。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 4 形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。
- ② 状態表示ランプが点滅します。
状態表示ランプが点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



3 ワイヤレスマウスを接続します。

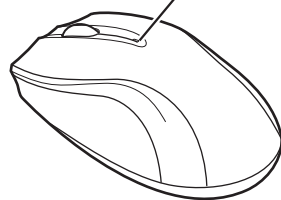
- ① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。
- ② 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。



Point

- ▶ 電池スイッチをON側にしても、ステータスランプが緑色に点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。
- ▶ マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチをOFF側にして電源を切っておくことをお勧めします。

ステータスランプ

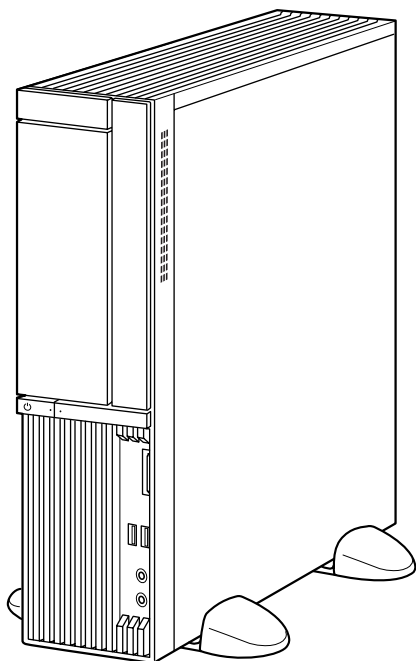


フット（設置台）を取り付ける

パソコンの置き方にあわせて次のように取り付けます。

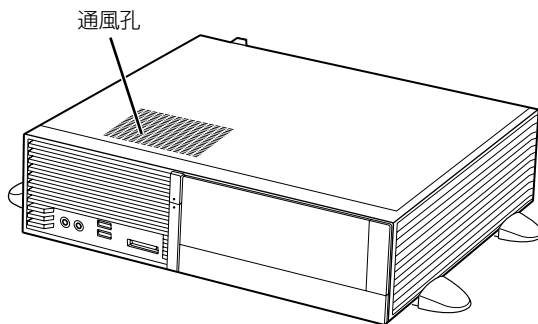
●縦置きの場合

フット（設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。必ず取り付けてください。



●横置きの場合

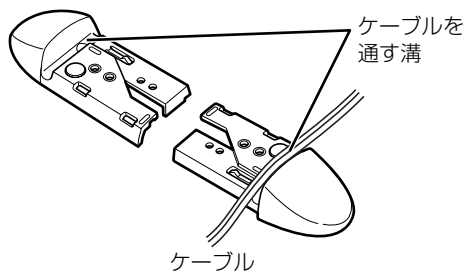
パソコン本体の上にディスプレイを載せる場合は、通風孔をふさがないように注意してください。また、6kgより重いディスプレイは、パソコン本体の上に載せないでください。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

Point

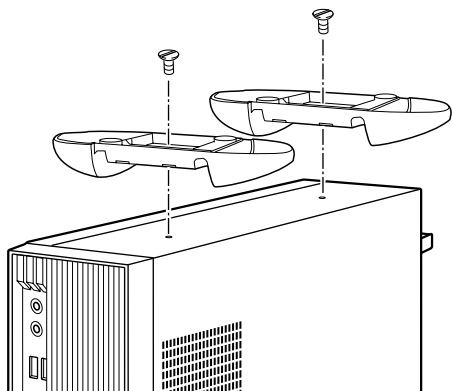
- ▶ キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。



1 置き方にあわせて次のように取り付けます。

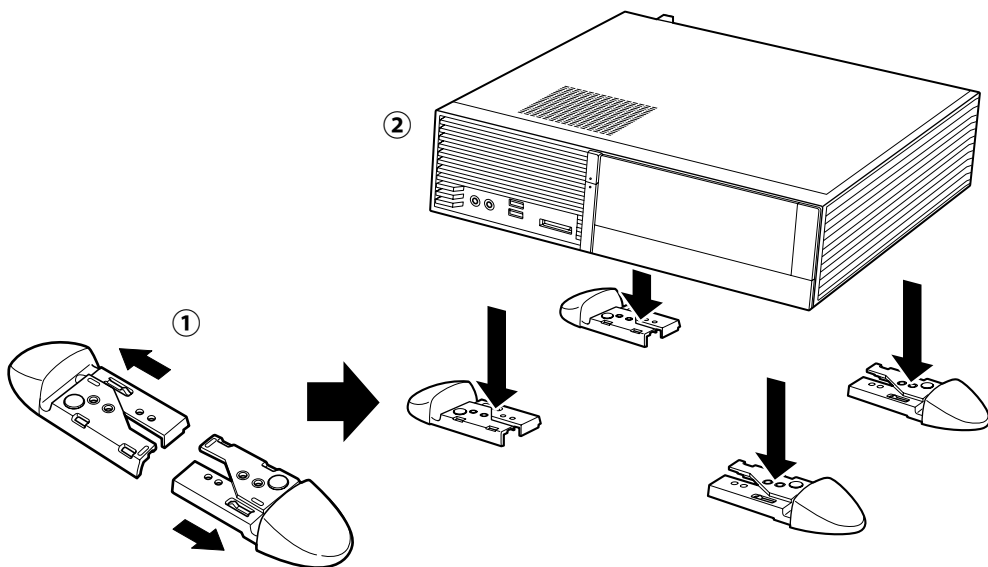
■縦置きの場合

- ① パソコン本体を上下さかさまにします。
本体に傷が付かないように、下に布などを敷いてください。
- ② パソコン本体底面にフットを取り付けます。
フット裏面のネジ穴と、パソコン本体底面のネジ穴を合わせ、ネジで固定します。



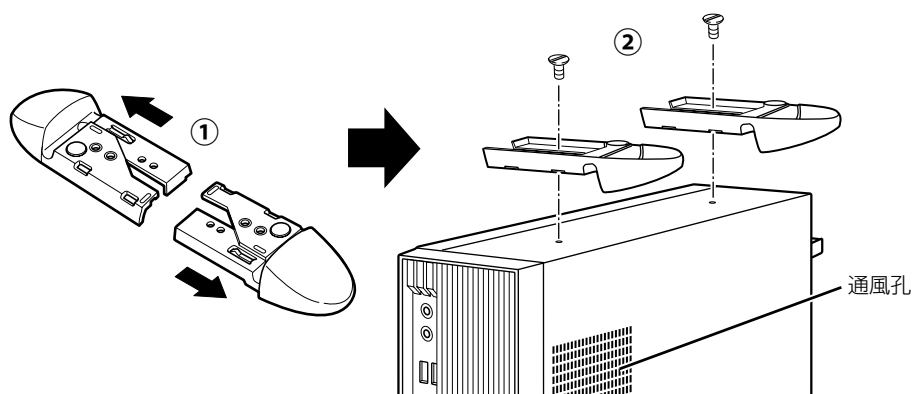
■横置きの場合

- ① フットを両手で持ち、両側に引っ張って外します。
- ② フットをパソコン本体の幅に合わせて置き、パソコン本体を載せます。



■縦置きで壁などに接して置く場合

- ① フットを両手で持ち、両側に引っ張って外します。
- ② フットの向きに注意し、パソコン本体底面に分解したフットを取り付けます。
フット裏面のネジ穴と、パソコン本体底面のネジ穴を合わせ、ネジで固定します。

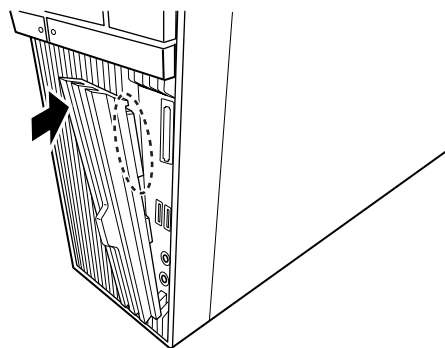


Point

- ▶ 縦置きで壁などに接して置く場合、次のことに注意してください。
 - ・ パソコン本体背面と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。
 - ・ 通風孔をふさがないように注意し、パソコン本体が転倒しないように通風孔がない側の側面を壁などに密着して置くようにしてください。

インターフェースカバーを取り付ける

- 1 インターフェースカバーの内側の突起が上になるように、パソコン本体前面のダイレクト・メモリスロットや USB コネクタなどがあるくぼみに取り付けます。



ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

ここでは 20 型／24 型ワイド液晶ディスプレイを選択した場合の接続方法を説明します。

Point

- ▶ 本パソコンではディスプレイを 2 台接続して、同時表示や、マルチモニター機能を使用することができます。ただし、セットアップが終了するまでは、ディスプレイは 1 台のみパソコンに接続して操作してください。セットアップ終了後に 2 台目のディスプレイを接続してください。[Web 補足情報]

1 ディスプレイのベーススタンドを取りつけます。取り付け方法については、ディスプレイに添付の取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン本体背面へケーブルを接続します。

① DVI ケーブルのコアのある方のコネクタを接続します。

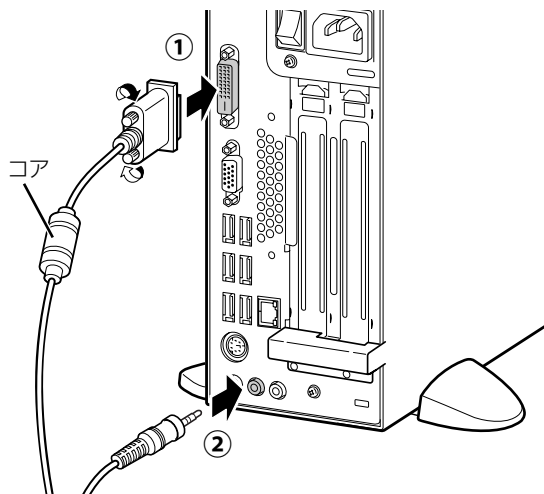
コネクタと差し込み口の形状を確認して奥までしっかりと差し込みます。

接続した後にネジを締めます。

なお、AMD Radeon HD 7570 搭載機種では、コネクタの位置が異なります。コネクタの位置は「パソコン本体背面」(→ P.55) をご覧ください。

② ラインアウト端子(⚡)に、オーディオケーブルのプラグを接続します。

オーディオケーブルを接続しないと、パソコンの音が正しく聞こえません。

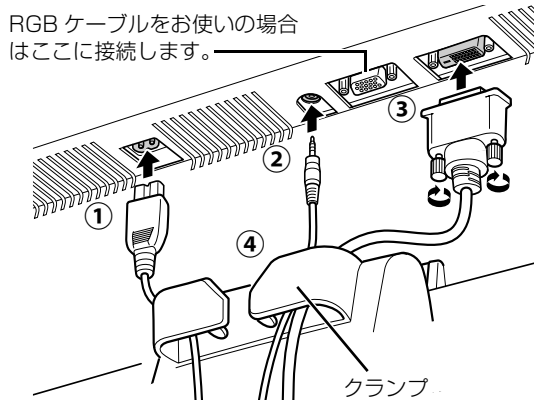


RGB ケーブルなど、DVI ケーブル以外のケーブルをお使いになる場合は、「パソコン本体背面」(→ P.55) をご覧になり、それぞれのケーブルにあったコネクタに接続します。

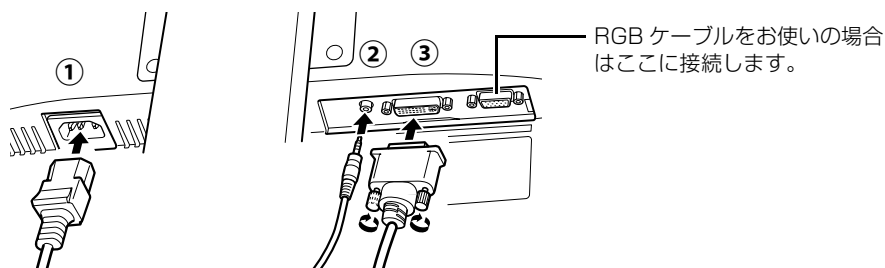
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

3 ディスプレイ背面へ、添付のディスプレイ用電源ケーブル、オーディオケーブル、および DVI ケーブルを接続します。

■24 型ワイド液晶ディスプレイの場合



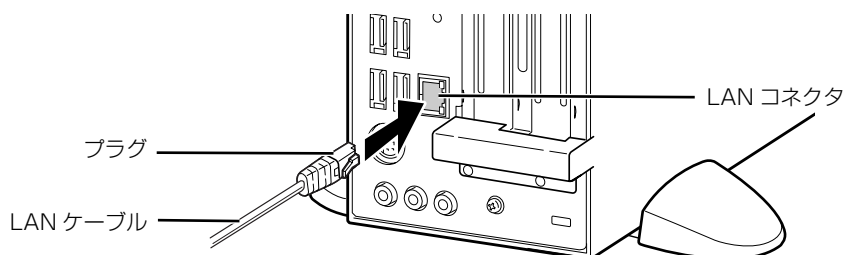
■20 型ワイド液晶ディスプレイの場合



- ① ディスプレイ用電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに接続します。
- ② オーディオケーブルを、ディスプレイ背面のオーディオ入力端子に接続します。
- ③ DVI ケーブルを、ディスプレイ背面の DVI-D コネクタに接続します。接続した後にネジを締めます。
- ④ 24型ワイド液晶ディスプレイの場合は、ディスプレイ背面に接続したケーブルを、クランプに入れます。

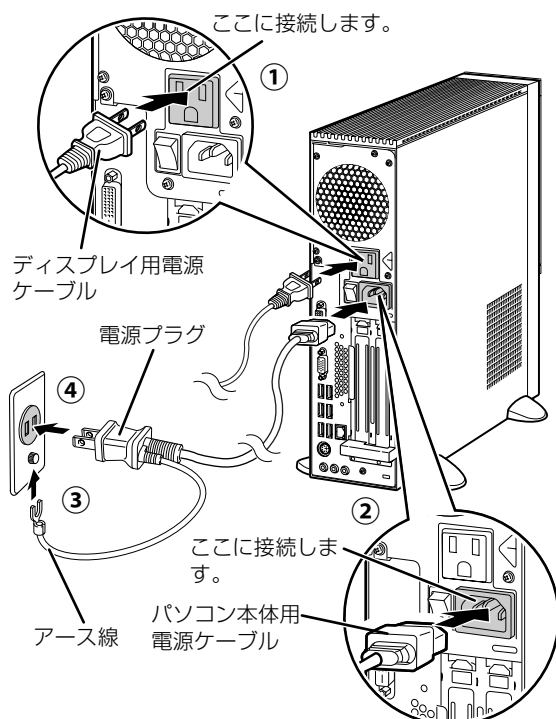
LAN ケーブルを接続する（有線 LAN をお使いになる場合）

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。



1 パソコンを電源に接続します。

- ① 20 型／24 型ワイド液晶ディスプレイを選択した場合は、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続します。
- ② パソコン本体用電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。
- ③ アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

Point

- ▶ ここで接続したケーブルが奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。
- ▶ AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合、ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続するときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。

Windows のセットアップをする

電源ボタンを押す前に、インターネットに接続する方法を確認してください。

■有線 LAN の場合

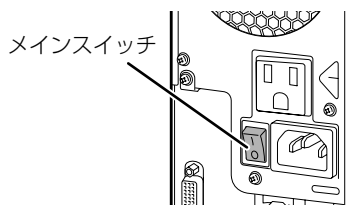
LAN ケーブルを LAN コネクタに接続していますか？

■無線 LAN の場合

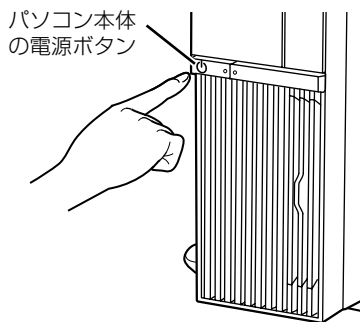
セットアップの途中で使用できるように、無線 LAN の SSID とパスワードを用意していますか？（→ P.24）。

1 パソコン本体背面のメインスイッチを「I」側に切り替えます。

一度「I」側に切り替えたら、以降はパソコンを起動するたびに切り替える必要はありません。

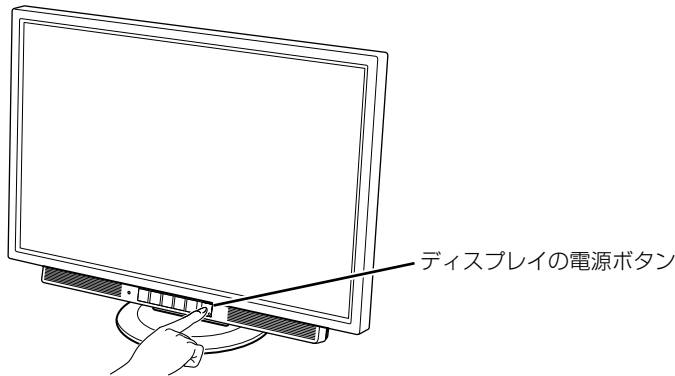


2 パソコン本体前面の電源ボタンを押します。



3 ディスプレイの電源ボタンを押します。

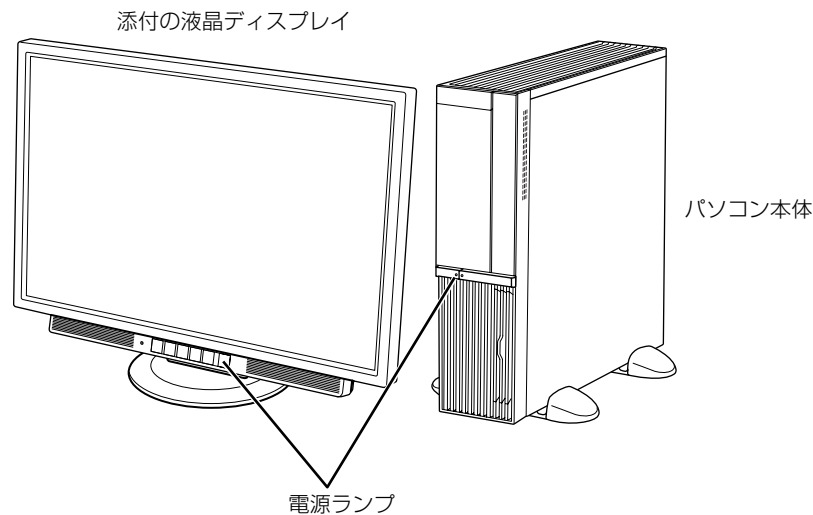
ディスプレイの電源ケーブルをパソコン本体背面に接続している場合、接続後に一度電源を入れると、以後はパソコンの起動に合わせて電源が入ります。パソコンを起動するたびに電源を入れる必要はありません。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

4 パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯していることを確認します。

画面にセットアップの注意事項が表示されます。



5 画面に表示される注意事項をよくご覧になり、**[Y]**を押します。

◆ セットアップの注意事項 ◆

これからセットアップを開始します。
下記注意事項をよくお読みになり、セットアップを開始してください。

- 時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上時間をとり、じっくりと作業をすることをお勧めします。
- 操作の途中で電源を切らないでください。
途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。
セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
- セットアップ前に周辺機器を接続しないでください。
別売りの周辺機器（プリンター、USBメモリ、メモリーカードなど）は、Windowsのセットアップが終わるまで接続しないでください。
接続している場合は、下記**[N]**を押し、外してからセットアップを開始してください。

次のいずれかのキーを押してください。

[Y] : セットアップを続行します。

[N] : セットアップを中止します。（後でセットアップ）。

※ **[N]**を押したあと、自動的に電源が切れます。

本画面はセットアップ完了後表示されなくなります。

[N]を押した場合、再度セットアップを開始するときは、電源を入れ直してください。

重要

- ▶ 「ライセンス条項」画面が表示されるまで数分かかることがあります。絶対に電源を切らないでください。

6 「ライセンス条項」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。



Point

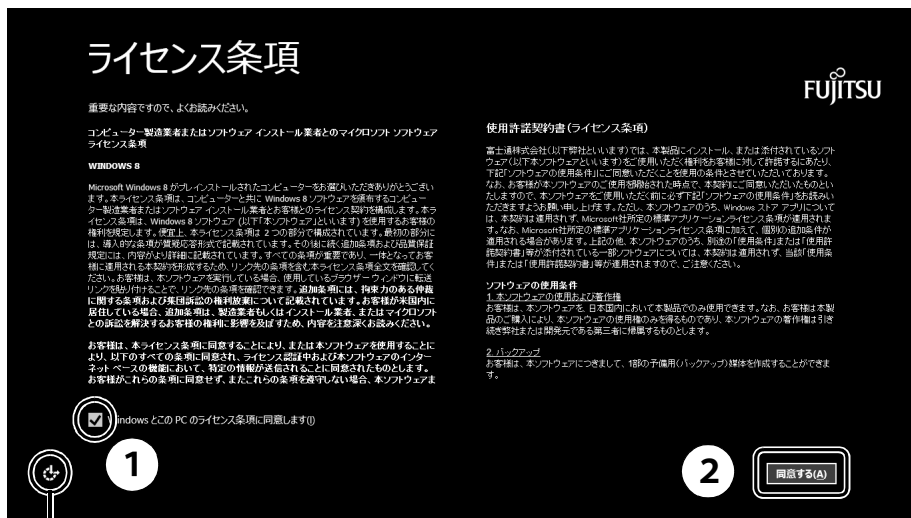
- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。フラットポイントやキーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタンを軽く押してください。

※ 電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。

電源が切れ、パソコンが使えなくなる場合があります。

7 「ライセンス条項」を確認し、同意します。

- ① ライセンス条項の内容を確認したら、クリックして ☒ にします。
ライセンス条項に同意しないと Windows をお使いになれません。
- ② 「同意する」をクリックします。




画面の文字を大きくしたい場合は、ここをクリックし、表示されたメニューから「拡大鏡」をクリックします。

(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

Point

▶ マウスでのクリック

セットアップでは、キーボードとマウスを使います。ここでは、マウスの基本的な使い方を説明します。

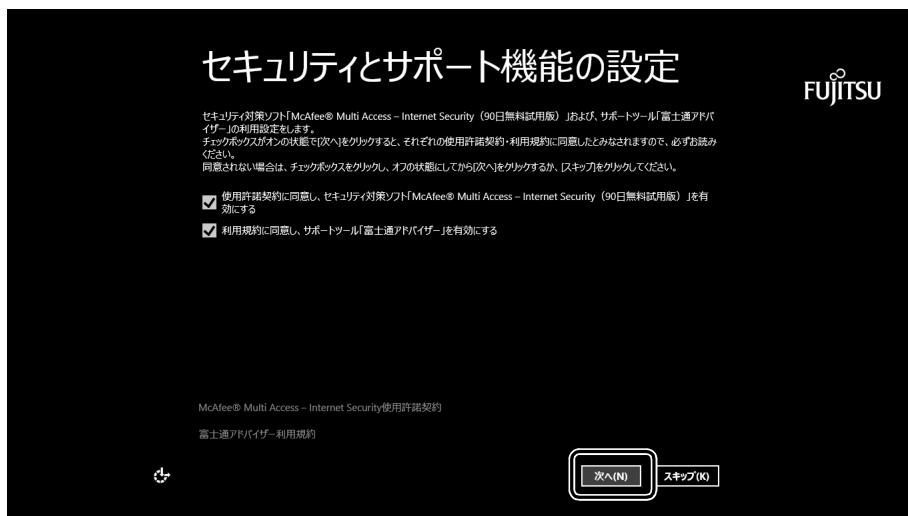
1. マウスを平らな場所に置いたまますべらせると、マウスの動きに合わせて、 (マウスポインター) が画面の上を動きます。



2. 目的の位置にマウスポインターを合わせ、左ボタンを**カチッと1回**押して、すぐに離します。この操作のことを、「**クリック**」といいます。
右ボタンを1回押すことを「右クリック」といいます。



8 セキュリティとサポート機能についての説明をよく読んで、「次へ」をクリックします。



9 お使いになるパソコンの名前（PC 名）を付けます。

① PC 名を入力します。

例：「fmv1」という名前にする場合は、キーボードから **[F]**、**[M]**、**[V]**、**[1]** と入力します。

② 「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ PC 名は、12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きな名前を入力してください。

10 ワイヤレス（無線 LAN）のアクセスポイントを選択します。

① 「セットアップを始める前のチェック」(→ P.24) で記入した SSID をクリックします。

② 「接続」をクリックします。





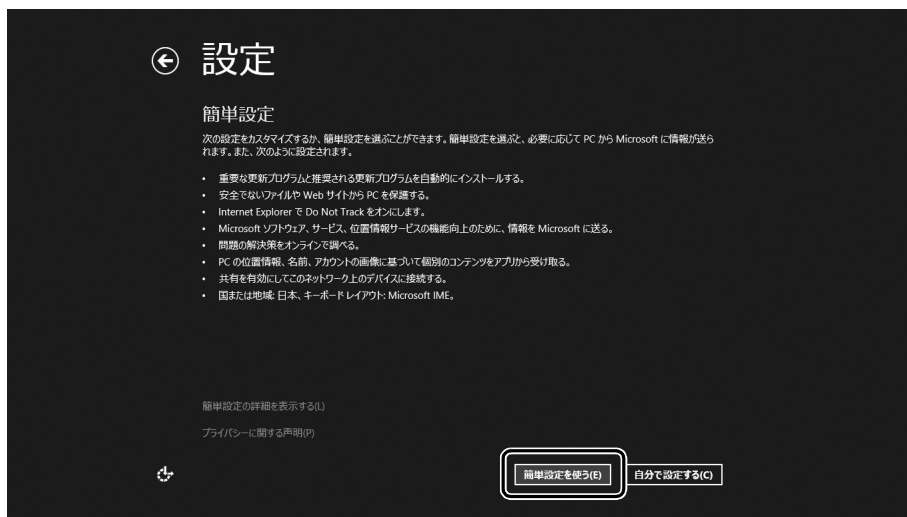
- ▶ 次の場合は「後でワイヤレスネットワークに接続する」をクリックします。手順 12 に進んでください。
 - ・有線 LAN を使う場合
 - ・インターネット環境が整っていない場合
- ▶ セキュリティのためSSIDが表示されないように設定している場合は、「非表示のワイヤレスネットワークに接続する」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。

11 ワイヤレス（無線 LAN）のパスワードを入力します。

- ①「セットアップを始める前のチェック」(→ P.24)で記入したパスワードを入力します。
- ②「接続」をクリックします。

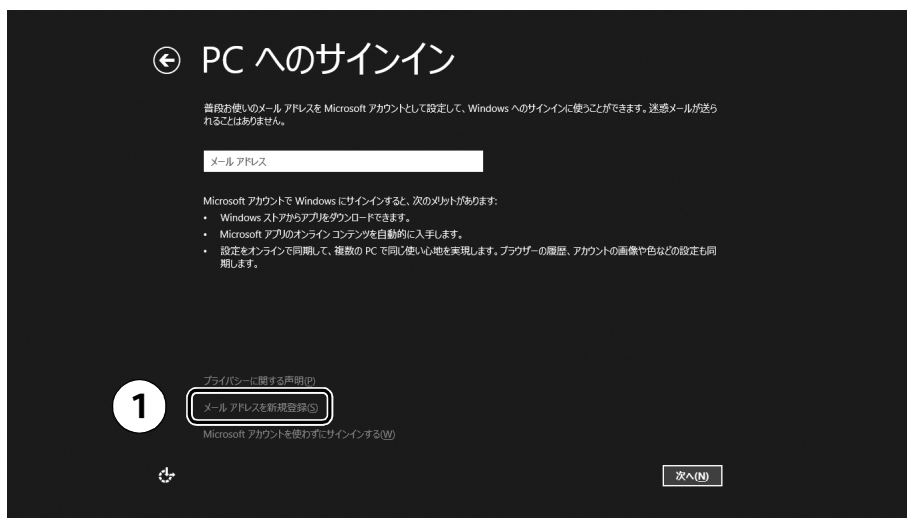


12 「簡単設定を使う」をクリックします。



13 パソコンへサインインするための Microsoft アカウント（電子メールアドレス）を設定します。

① 「メールアドレスを新規登録」をクリックします。



Point

▶ 次のような画面が表示された場合は、「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」(→ P.48) の手順に従って、セットアップを続けてください。



14 電子メールアドレスを新規登録するための情報を入力します。

- ① 電子メールアドレスを設定します。
半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) およびピリオド (.), ハイフン (-), 下線 (_) のみ使用できます。
- ② 「パスワード」を設定します。下段には設定したパスワードを再度入力してください。

【パスワードの作成例】

半角英字
↓
ab1-c23d4
半角数字
半角記号
8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) および半角記号を組み合わせで作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

次の欄に電子メールアドレスとパスワードを記入してください。

パスワードは絶対に忘れないようにしてください。
サインインのときに毎回入力が必要です。


※ 参照しやすいよう本書の巻末にも記入欄を用意しています。
※ 第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

- ③ 姓・名を入力します。
- ④ 郵便番号を半角数字で入力します。
- ⑤ 「次へ」をクリックします。

15 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを忘れても復元することができます。

①および、②～④のうち2つ以上を入力してください。


①  をクリックし、生年月日を選択します。

② 「日本」になっていることを確認し、2 段目に携帯電話のメールアドレス、または最初の0 と間のハイフン「-」を抜いた電話番号を入力します。

例：電話番号が「045-□□□-△△△△」の場合、「45□□□△△△△」と入力します。
(□△は数字を表しています。)

③ 以前から使用しているメールアドレスを入力します。

お持ちでない場合は②と④を入力してください。

④  をクリックし、秘密の質問を選択し、2 段目に答えを入力します。

⑤ 「次へ」をクリックします。

← セキュリティ情報の追加

この情報は、アカウントをより安全に保ちながら、パスワードを復元できるようにする目的でのみ使用されます。

生年月日

年

▼

月

▼

日

▼

1

携帯電話のメール アドレス
または電話番号

日本

▼

2

連絡用メール アドレス

3

秘密の質問

いずれかを選択してください

▼

4

答え

5

次へ(N)

キャンセル(C)

16 最終設定を行います。

- ① 画面に表示されている文字を入力します。
文字が読めない場合は「新規」をクリックします。新しい文字が表示されます。
- ② 「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ 文字の入力が失敗した場合、「入力した文字が画面の文字と一致しません」というメッセージが表示され、新しい文字が表示されます。表示されている文字を再度入力してください。
- ▶ 入力したメールアドレスが、すでに他の人に使用されていた場合、手順 14 に戻ります。入力した情報はそのまま残りますが、手順 16 はやり直しになります。

アカウント取得についてのお問い合わせ

手順 14 ～ 16 の Microsoft アカウントを取得する操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 パーソナルサポート窓口

※お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金／ 9:30-12:00、13:00-19:00（土・日・祝祭日および指定休業日を除く）

マイクロソフト コミュニティ

URL：http://answers.microsoft.com/ja-jp/

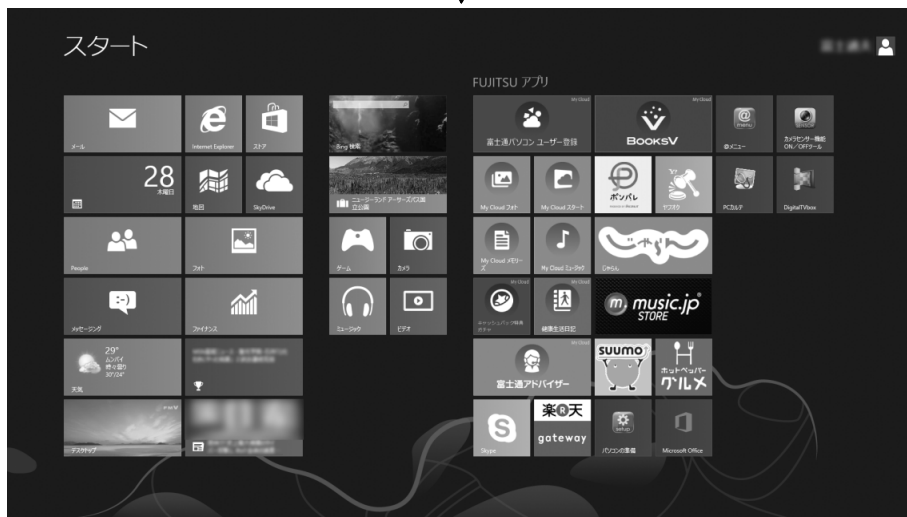
17 Windows のセットアップが完了しました。そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。

スタート画面が表示されるまでお待ちください。

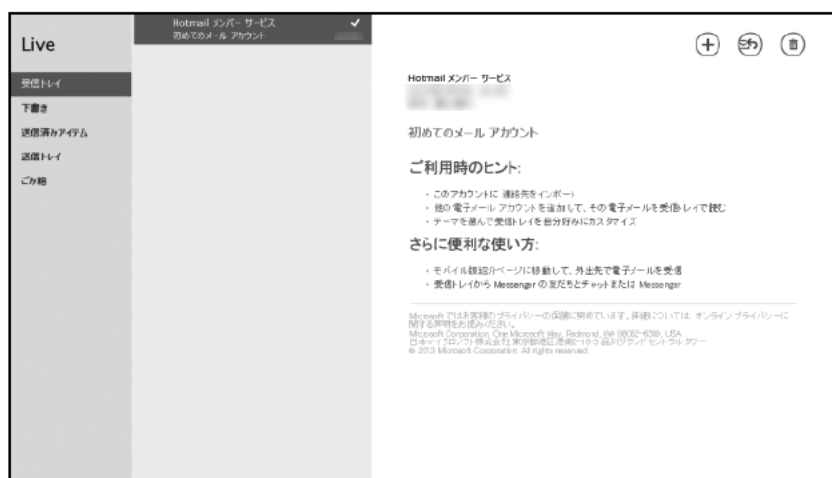


画面が何度か変化します



18 スタート画面で画面左上にある「メール」をクリックします。

Microsoft アカウントとしてお使いのメールアドレスで、メールを送受信できるようになります。



プロバイダーから提供されたメールアドレスなどでメールを使うには

Windows ストア アプリの「メール」ではお使いになれません。

「Outlook」、または「Windows Live メール」をお使いください。

使い方については、「富士通アドバイザー」の「メールの使い方」をご覧ください(→ P.46)。

「Outlook」について、ご不明な点がある場合は、次のお問い合わせ窓口をご利用ください。

PC コンシェルジュサービス【有料】(富士通株式会社提供)

電話：0120-99-5462 (携帯電話からの場合：045-514-2262)

受付時間：9:00 ～ 21:00

URL：http://azby.fmworld.net/concierge/

日本マイクロソフト株式会社 技術サポート窓口

電話：0120-54-2244

受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、

土／ 10:00 ～ 17:00 (日・祝祭日および指定休業日を除く)

URL：http://support.microsoft.com/contactus/

19 パソコン本体の電源ボタン（）を押します。

Windows が終了します。



- ▶ 電源ボタンを 4 秒以上押すと、パソコンの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。詳しくは、「Windows をスタートする／終了する」（→ P.66）をご覧ください。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

パソコンを快適にお使いいただくための準備をする

パソコンを最新の状態にアップデートするなど、パソコンを使うために知っておいていただきたいことや、「Word」や「Excel」を使うための準備などについてご案内します。（「Word」、「Excel」は Office 搭載機種のみお使いになれます。）

1 電源ボタン（）を押します。

ロック画面が表示されます。

2 を押します。

パスワードを入力する画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、 をクリックします。

「Windows をセットアップする」の手順 14 で記入したパスワードです。
スタート画面が表示されます。

4 スタート画面が表示されたら、「富士通アドバイザー」をクリックします。



5 富士通アドバイザーの画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。



6 「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか？」と表示されたら、「許可」をクリックします。

この後は、画面の指示に従って操作を進めます。

■ 次のお知らせが表示されたら、できるだけ早く、クリックしてお読みください

● ワード・エクセルをお使いになる前に（Office 搭載機種のみ）

Office をインストールします。

● パソコンを最新の状態にする

セキュリティ対策アプリや Windows を最新の状態にします。

● 使用上のご注意

このパソコンをお使いになるうえで知っておいていただきたい内容です。

● Windows 8 の使い方

Windows の基本操作や、パソコンの音量や画面の明るさの調整方法などをご紹介します。



- ▶ お知らせが表示されるまでに時間がかかる場合があります。お知らせが表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ▶ 「富士通アドバイザー」は、このほかにも、パソコンを快適にお使いいただくためのお知らせを配信します。定期的にご確認ください。

インターネットに接続せずにセットアップしたときは

ここでは、セットアップ中にインターネットに接続しなかった場合、どのようにセットアップを完了したら良いか説明します。操作の流れは次のようになります。

Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する (→ P.48)

インターネットに接続する (→ P.49)

Microsoftアカウントに切り替える (→ P.51)

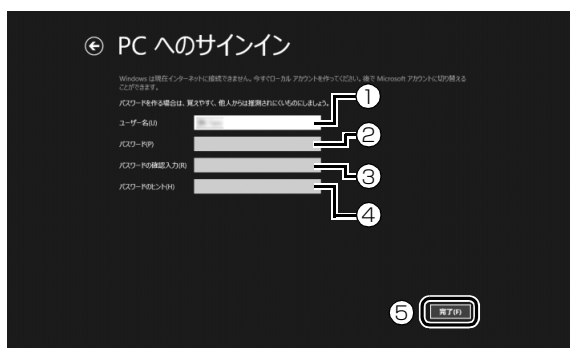
メールの設定をする
(「Windows のセットアップをする」手順 18)

Windows を終了する
(「Windows のセットアップをする」手順 19)

パソコンを快適にお使いいただくための準備をする (→ P.46)

Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する

「Windows のセットアップをする」の手順 13 で次のような画面が表示された場合の操作方法です。



- ①「ユーザー名」を入力します。
 - ・「Windows のセットアップをする」の手順 9 で入力したコンピューター名と同じ名前は入力できません。
 - ・ 12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きな名前を入力してください。
- ②「パスワード」を入力します。
 - 12 文字以内の半角英数字 (a ~ z, A ~ Z, 0 ~ 9) で好きなパスワードを入力してください。
- ③ ②で入力したものと同じものを入力します。
- ④ 自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。かなも漢字も使用できます。
- ⑤「完了」をクリックします。

Windows のセットアップが完了しました。
スタート画面が表示されるまでお待ちください。

インターネットに接続する

このパソコンをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。インターネットの設定方法については、ご契約のプロバイダーの指示に従ってください。

Point

- ▶ データ通信カードやアダプターなどをお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信カードやアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。データ通信カードやアダプターに関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

■有線 LAN でインターネットに接続する

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。

■無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線LANアクセスポイントと内蔵無線LANを使って、無線 LAN でインターネットに接続する方法を説明します。

重要

- ▶ お使いのパソコンに無線LANが搭載されているか、「仕様一覧」(→P.170) をご覧になり、確認してください。
無線LANが搭載されていない場合は、有線LANまたは別売の無線LANアダプターをお使いください。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線LANアクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- ▶ 無線LANアクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

Step2 無線 LAN アクセスポイントの設定を記入する

無線LANアクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。パソコンに無線LANの接続設定をするときに、必要になります。

記入後は第三者に漏れないよう注意してください。無線LANアクセスポイントの設定情報がわからない場合は、**無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。**

●SSID (ネットワーク名)





無線LANアクセスポイントの名前のようなものです。パソコンから接続する無線LANアクセスポイントを識別するために利用されます。

●パスワード



無線LANアクセスポイントにセキュリティをかけるときに設定します。

Step3 無線 LAN の電波を発信する (LIFEBOOK の場合のみ)

- 1 「チャーム」を表示し、 (設定) をクリックします。
 『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 「設定チャーム」で「PC 設定の変更」をクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

3 次の画面の操作をします。



- ①「ワイヤレス」をクリックします
- ②「ワイヤレスデバイス」の「Wi-Fi」の (オフ) をクリックして (オン) にします。

重要

- ▶ パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより5GHz帯の電波を停止する必要があります。

Step4 パソコンの設定をする

Windows 8の標準機能を使って無線LANの設定を行う方法を説明します。

- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。
無線LANアクセスポイントの電源の入れ方については、無線LANアクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 2 「チャーム」を表示し、 (設定) をクリックします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 3 「設定チャーム」で「ワイヤレス」アイコンをクリックします。



4 次の画面の操作をします。



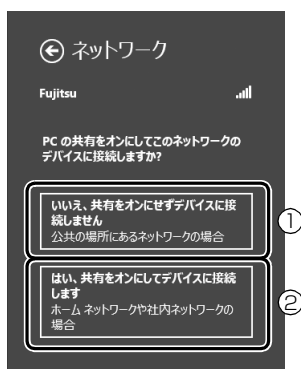
- ① Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの SSID (ネットワーク名) を選択します。
- ②「自動的に接続する」の をクリックして にします。
- ③「接続」をクリックします。

5 次の画面の操作をします。



- ① Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力します。
- ②「次へ」をクリックします。

6 PC の共有設定について選択します。



- ① 公共の場所にあるネットワークへ接続する場合はこちらをクリックします。
- ② ホームネットワークや社内ネットワークへ接続する場合はこちらをクリックします。

7 正しく設定できたか確認します。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶ 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中です」にならなかった場合は、もう一度、Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定がわからない場合は、無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- ▶ プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

8 すべてのウィンドウを閉じます。

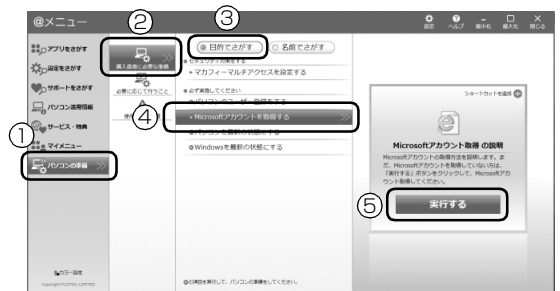
これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

Microsoft アカウントに切り替える

Windows 8 では Microsoft アカウントでサインインすることで、様々な機能やサービスを快適に利用できます。インターネットに接続したら、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えてください。「@メニュー」で切り替え方法を確認できます。

1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

2 次の画面の操作をします。



①「パソコンの準備」をクリックします。

②「購入直後に必要な準備」をクリックします。

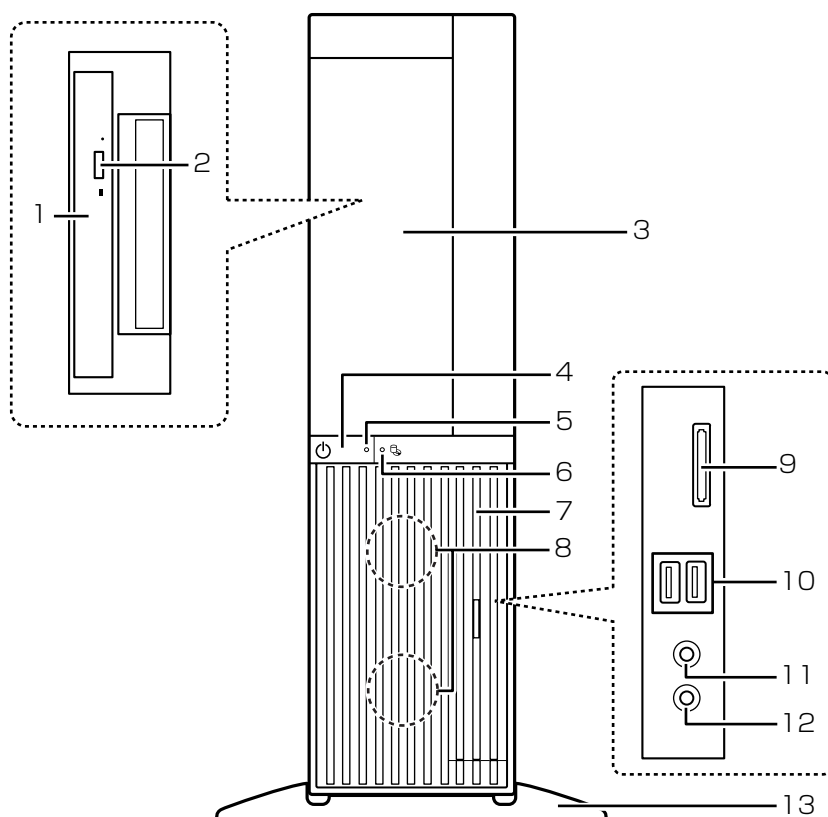
③「目的でさがす」をクリックします。

④「Microsoft アカウントを取得する」をクリックします。

⑤「実行する」をクリックします。

➡ この後は、「Windows のセットアップする」の手順 18、手順 19、および「パソコンを快適にお使いいただくための準備をする」(→ P.46)を行ってください。

パソコン本体前面



1 BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ [注 1] /
スーパーマルチドライブ [注 2]

ディスクの読み込み／書き込みをします
(→ P.85)。

2 CD/DVD 取り出しボタン

ディスクをセットしたり取り出したりするときに
使用します (→ P.89)。

3 フラップ

BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ [注 1] ま
たはスーパーマルチドライブ [注 2] を使用すると
きに開きます。

4 電源ボタン (⏻)

Windows をスタート／終了します (→ P.66)。

5 電源ランプ

電源の状態を表示します。(→ P.68)

6 ディスクアクセスランプ (💡)

内蔵ハードディスクや CD、DVD、Blu-ray Disc
[注 1] にアクセスしているときに点灯します。

7 インターフェースカバー

突起部分をつまんで手前に引くことで、外すこと
ができます。

メモリーカード、USB コネクタ、マイク、ヘッ
ドホンを使用するときに外します。

ご購入時はカバーが外れています。お使いになる
前に取り付けてください (→ P.29)。

8 無線 LAN アンテナ・Bluetooth ワイヤレステク
ノロジー兼用アンテナ [注 3]

無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー
兼用アンテナのアンテナが搭載されています。無
線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーに
ついて、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。

Web『補足情報』

9 ダイレクト・メモリースロット

SD メモリーカードを差し込みます (→ P.92)

10 USB3.0 コネクタ (●)

USB 規格の周辺機器を接続します。

- ・ 接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
- ・ USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。

11 マイク端子 (♂)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のパソコン用マイクを接続します。

12 ヘッドホン端子 (♀)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。

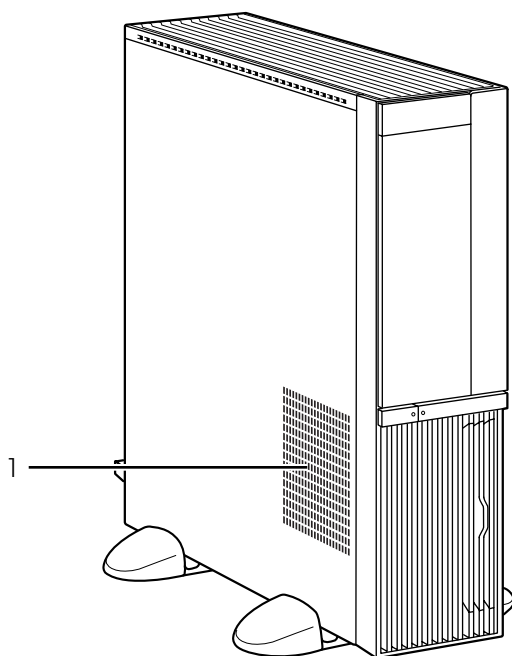
13 フット (設置台)

パソコンの転倒防止のため、パソコンに取り付けます (→ P.27)。

注 1 : BD-XLTM 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

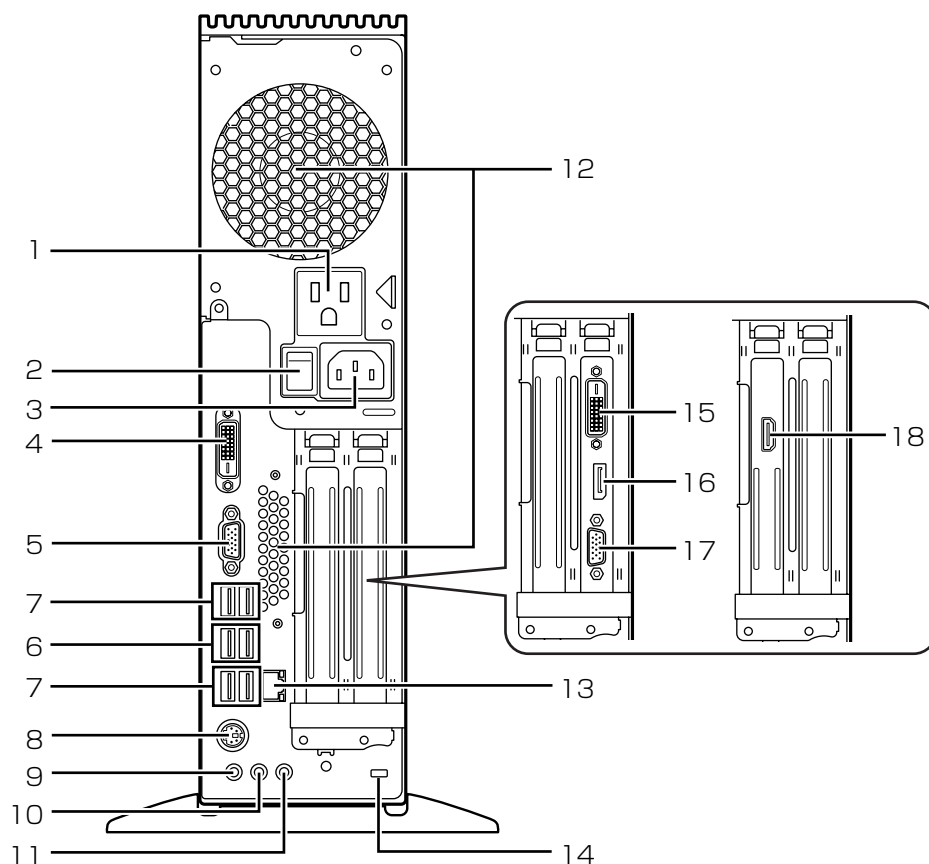
注 2 : スーパーマルチドライブ搭載機種のみ

注 3 : 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載機種のみ



1 通風孔

パソコン本体内部に空気を取り込むことで、パソコン本体内部の熱を逃がすための開孔部です。



1 アウトレット

ディスプレイの電源ケーブルを接続します。
ディスプレイの電源ケーブル以外は、接続しないでください。また、AMD Radeon HD 7570 搭載機種で、ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続する場合も、このアウトレットには接続せず、コンセントに接続してください。

2 メインスイッチ

パソコン本体の電源を完全に切る場合に「オフ」にします。

「I」側が「オン」で「O」側が「オフ」です。

3 インレット

パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

4 DVI-D コネクタ (DVI) [注 1]

ディスプレイを接続します。

5 アナログ RGB コネクタ (RGB) [注 1]

ディスプレイを接続します。

6 USB3.0 コネクタ (USB3.0)

USB 規格の周辺機器を接続します。

- ・ 接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
- ・ USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。

7 USB2.0 コネクタ (USB2.0)

USB 規格の周辺機器を接続します。

- ・ 接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
- ・ USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。
- ・ USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。

8 PS/2 コネクタ

9 マイク端子 (🎤)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のパソコン用マイクを接続します。

10 ラインアウト端子 (🔊)

オーディオ機器などの音声入力端子と接続します。

11 ラインイン端子 (🔊)

オーディオ機器などの音声出力端子と接続します。

12 通風孔

パソコン本体外部に空気を排出して熱を逃がすための開孔部です。

13 LAN コネクタ (🌐)

LAN ケーブルを接続します。

14 盗難防止用ロック取り付け穴

盗難防止用ケーブルを接続します。

15 DVI-D コネクタ (DVI) [注 2]

ディスプレイを接続します。

16 DisplayPort コネクタ (DP) [注 2]

ディスプレイを接続します。

17 アナログ RGB コネクタ (VGA) [注 2]

ディスプレイを接続します。

18 HDMI 出力端子 (HDMI) [注 3]

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

注 1 : AMD Radeon HD 7570 非搭載機種のみお使いになれます。

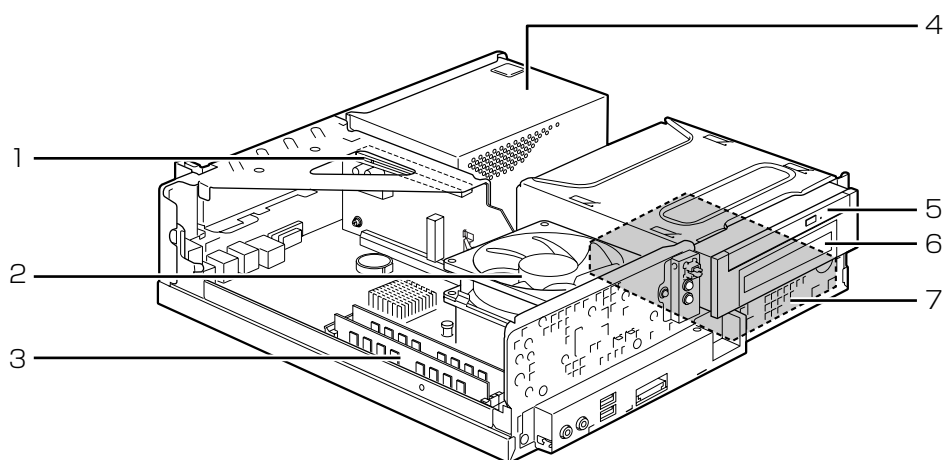
AMD Radeon HD 7570 搭載機種では、このコネクタにカバーが付いています。

注 2 : AMD Radeon HD 7570 搭載機種のみお使いになれます。

AMD Radeon HD 7570 非搭載機種では、このコネクタは付いていません。

注 3 : HDMI インターフェース搭載機種でお使いになれます。

HDMI インターフェース非搭載機種では、このコネクタは付いていません。



1 拡張スロット

PCI Express × 16 準拠のグラフィックカード、PCI Express × 1 準拠の拡張カードを搭載できます (→ P.101)。

AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合は、すでにPCI Express × 16 準拠のグラフィックカードが取り付けられています。

HDMI インターフェース搭載機種の場合は、PCI Express × 1 準拠の拡張スロットは使用できません。

2 CPU ファン

パソコン本体内部の温度を下げるためのファンです。

3 メモリスロット

メモリが取り付けられています (→ P.98)。

4 電源ユニット

5 BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ [注 1] またはスーパーマルチドライブ [注 2]

ディスクの読み込み／書き込みをします (→ P.85)。

6 内蔵ハードディスク

Blu-ray Disc ドライブ [注 1] またはスーパーマルチドライブ [注 2] の下に2台目のハードディスクドライブが搭載されています。

7 内蔵ハードディスク

1 台目のハードディスクドライブ、または、SSD (フラッシュメモリディスク) [注 3] が搭載されています。

注 1 : BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

注 2 : スーパーマルチドライブ搭載機種のみ

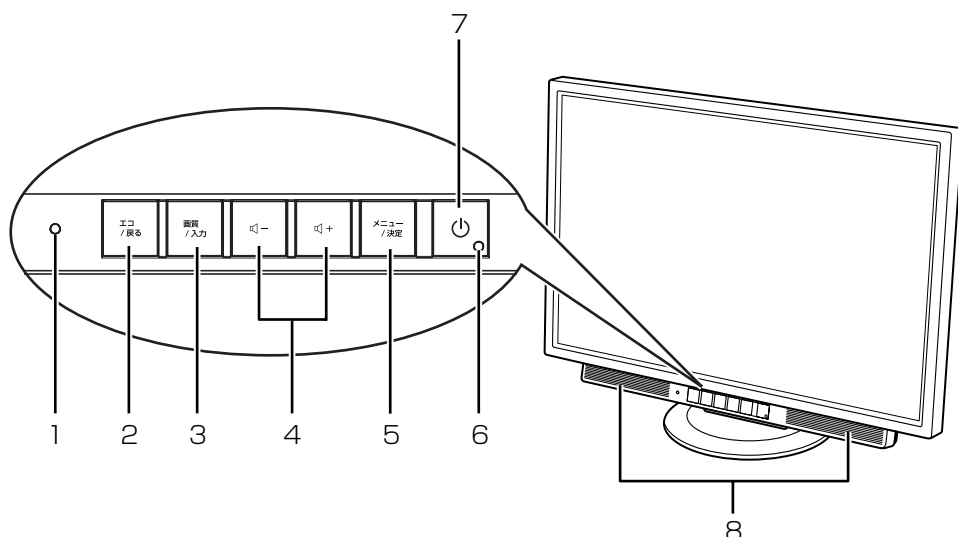
注 3 : SSD (フラッシュメモリディスク) 搭載機種のみ

液晶ディスプレイ

20 型／24 型ワイド液晶ディスプレイを選択した場合のみ

24 型ワイド液晶ディスプレイ

■前面



1 明るさセンサー

LED エコモードを「オート／インテリジェントオート」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

2 エコ/戻るボタン

LED エコモードのオフ／オート／インテリジェントオート／オンを切り替えます。

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニュー画面に戻ったりするときに使用します。

3 画質/入力ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。

また、入力切り替えをするときに使用します。

4 -/+ボタン (音量ボタン) (🔊)

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、スピーカの音量を調節します。

5 メニュー/決定ボタン

メニュー画面を表示したり、調整項目を選択したりするときに使用します。

6 電源ランプ

ディスプレイの電力状態を表します。詳しくは **Web** ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

7 電源ボタン (🔌)

ディスプレイの電源を入れたり切ったりします。

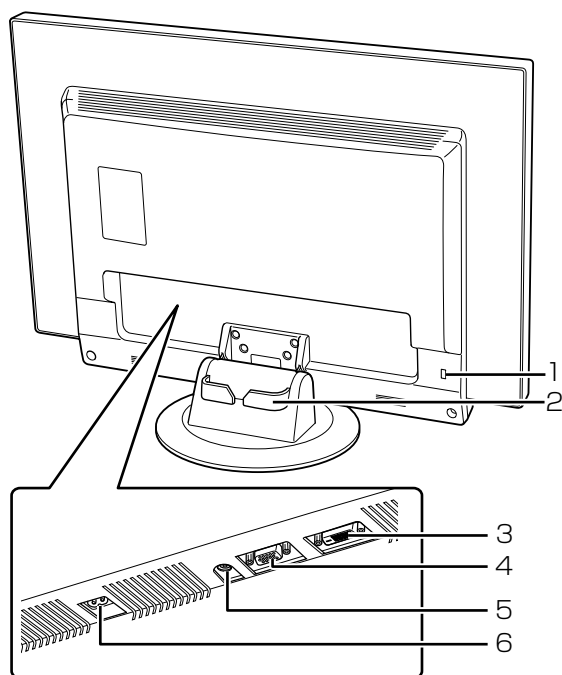
8 スピーカー

音声を出力します。

重要

- ▶ LED エコモードを「オート／インテリジェントオート」に設定した場合、物を置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できず画面が必要以上に暗くなってしまう。
明るさセンサーの前には物を置かないでください。

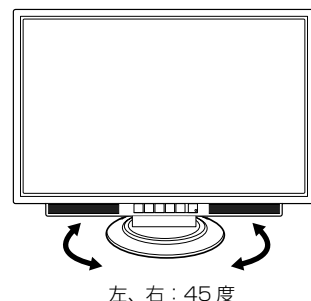
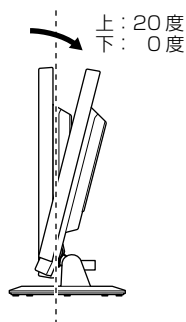
■背面



- 1 盗難防止用ロック取り付け穴
盗難防止用ケーブルを接続します。
- 2 ケーブルクランプ
ディスプレイに接続したケーブルを通します。
- 3 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) (DVI-D)
パソコン本体と接続します。
- 4 アナログ RGB コネクタ (RGB)
パソコン本体のアナログ RGB コネクタと接続します。
このパソコンとの接続には使用しません。
- 5 オーディオ入力端子 (AUX)
パソコン本体のラインアウト端子と接続します。
- 6 電源コネクタ (AC-IN)
ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

■画面の角度調節について

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。



⚠ 注意

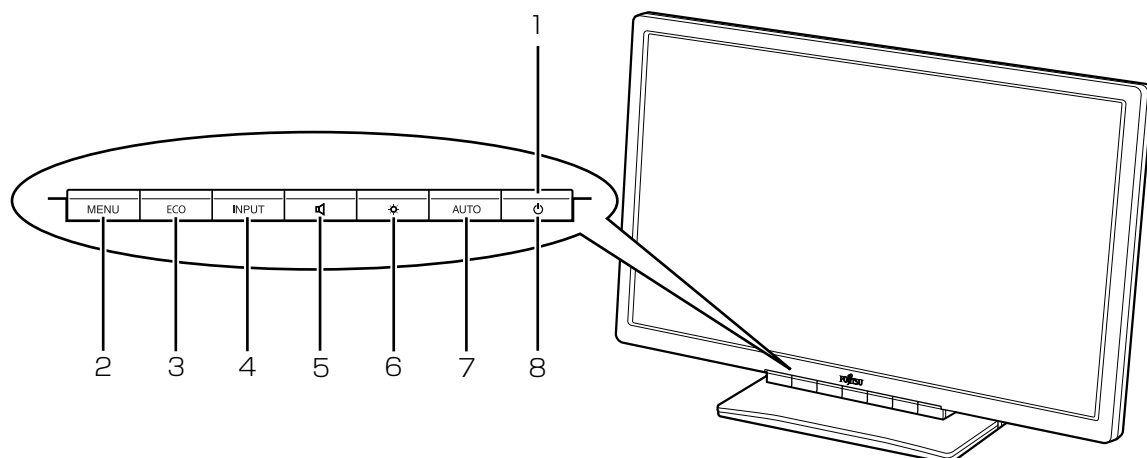
- ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とベーススタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

添付の液晶ディスプレイの詳細なマニュアルをインターネットで公開しています。あわせてご覧ください。

液晶ディスプレイのマニュアルを表示する手順は、「■本文中の記号」(→ P.11)の「Web」の説明をご覧ください。

20 型ワイド液晶ディスプレイ

■前面



1 電源ランプ

ディスプレイの電力状態を表します。

詳しくは **Web** ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

2 MENU ボタン

メニュー画面を表示したり、調整項目を選択したりするときに使用します。

3 ECO ボタン

メニュー画面で各項目を変更するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、LED エコモードのオン／オフを切り替えます。

4 INPUT ボタン

メニュー画面で各項目を変更するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、入力を切り替えます。

5 スピーカーボタン (🔊)

メニュー画面で各項目や設定値を変更するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、音量調整の画面が表示されます。

6 明るさボタン (☀️)

メニュー画面で各項目や設定値を変更するときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、明るさ調整の画面が表示されます。

7 AUTO ボタン

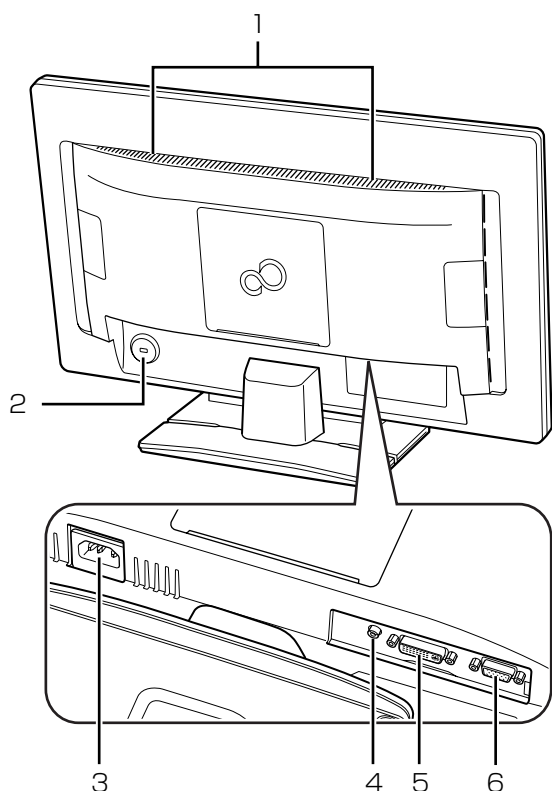
メニュー画面を消したり、調整項目、設定値を取り消したりするときに使用します。

メニュー画面が表示されていないときは、自動調整が実行されます。

8 電源ボタン (🔌)

ディスプレイの電源を入れたり切ったりします。

■背面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 盗難防止用ロック取り付け穴

盗難防止用ケーブルを接続します。

3 電源コネクタ (POWER)

ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

4 オーディオ入力端子 (AUDIO)

パソコン本体のラインアウト端子と接続します。

5 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) (DVI)

パソコン本体と接続します。

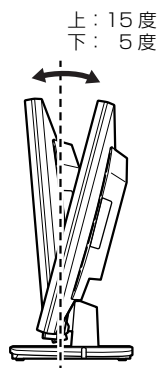
6 アナログ RGB コネクタ (VGA)

パソコン本体のアナログ RGB コネクタと接続します。

このパソコンとの接続には使用しません。

■画面の角度の調節について

ディスプレイの上下の角度を調節するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。



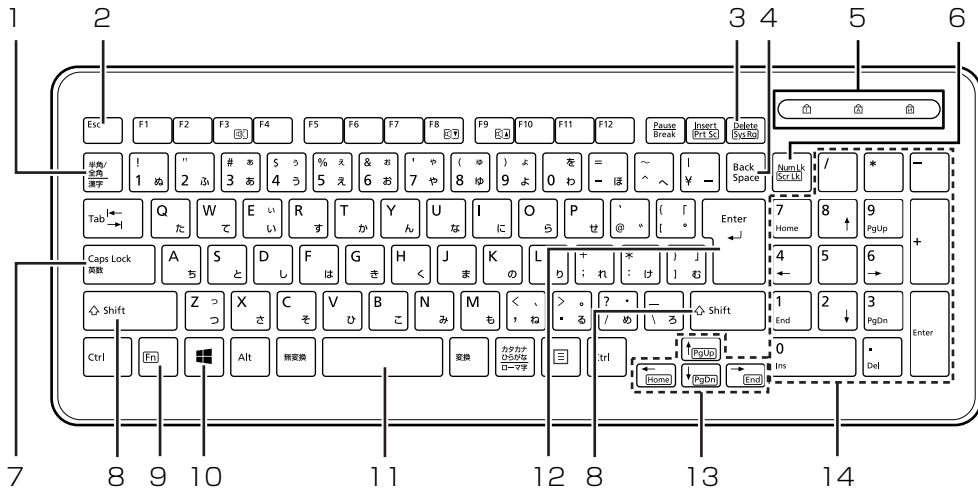
⚠ 注意

- ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 上図に示す範囲を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

添付の液晶ディスプレイの詳細なマニュアルをインターネットで公開しています。あわせてご覧ください。液晶ディスプレイのマニュアルを表示する手順は、「■本文中の記号」(→ P.11)の **Web** の説明をご覧ください。

キーボード

■USB キーボード添付機種の場合



1 半角／全角キー

キーを押すごとに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

2 Esc キー

現在の作業を取り消します。

3 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

4 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

5 状態表示ランプ

パソコンの状態を表示します。

6 NumLK キー

テンキーの機能を切り替えます。

が点灯しているときは、テンキーで数字や記号を入力できます。

7 Caps Lock / 英数キー

を押しながら を押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

8 Shift キー

を押しながら記号の刻印されているキーを押すと、そのキーの上段に刻印されている記号を入力できます。

9 Fn キー

このキーを押しながら で囲まれたキー (など) を押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

+

音声出力の ON/OFF を切り替えます。

+

音量を小さくします。

+

音量を大きくします。

+

カーソルを行の最初に移動します。

+ +

文章の最初に移動します。

+

前の画面に切り替えます。

+

次の画面に切り替えます。

+

カーソルを行の最後に移動します。

+ +

文章の最後に移動します。

10 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

11 空白 (Space) キー

空白を入力します。

12 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

13 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

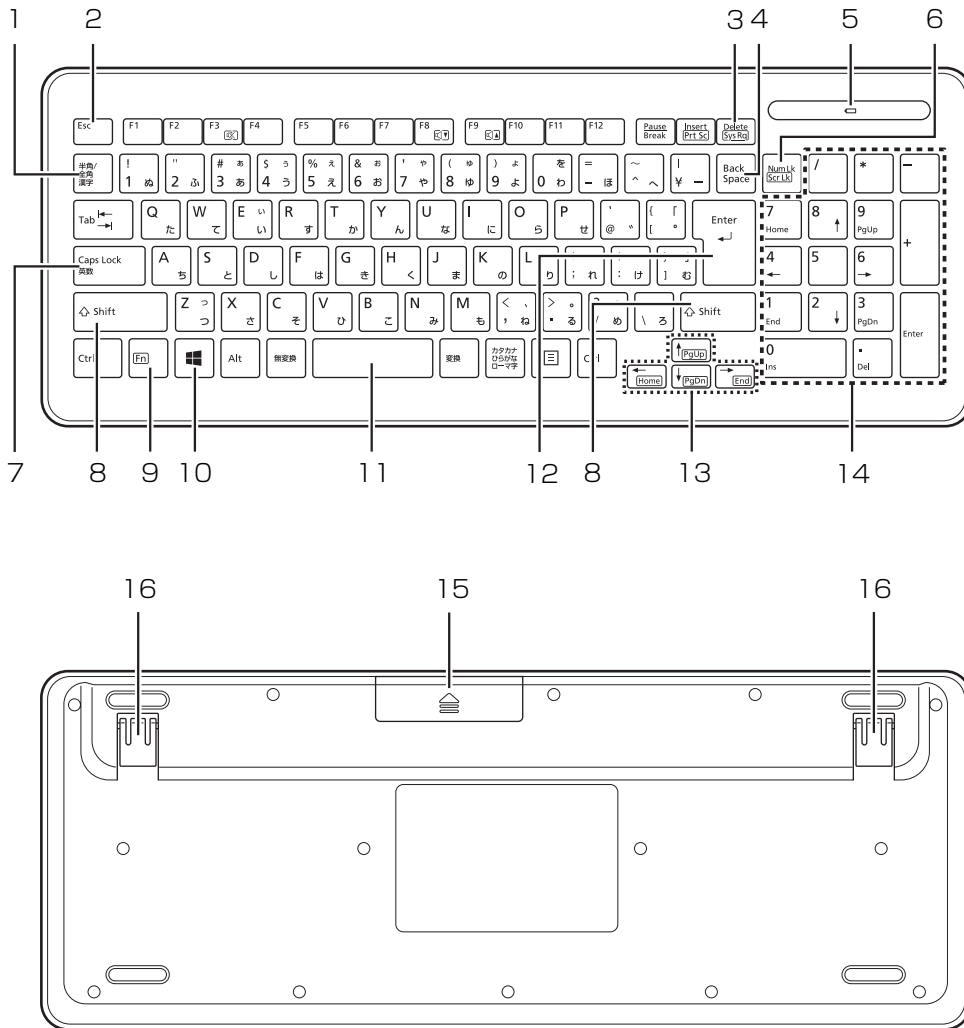
14 テンキー

数字や記号を入力します。

重要

- ▶ キーボードは、このパソコン専用です。
誤動作や故障の原因となる場合がありますので、他の機種のパソコンでご使用にならないでください。
- ▶ キーボードのキーを故意に取り外さないようにしてください。けがをしたり、故障の原因となります。

■ワイヤレスキーボード添付機種の場合



1 半角／全角キー

キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

2 Esc キー

現在の作業を取り消します。

3 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

4 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

5 状態表示ランプ

キーボードの電池の消耗状態やパソコンとの認識状態を表示します。

6 NumLK キー

テンキーの機能を切り替えます。


7 Caps Lock ／英数キー



[Shift] を押しながら **[CapsLock 英数]** を押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。


8 Shift キー

[Shift] を押しながら記号の刻印されているキーを押すと、そのキーの上段に刻印されている記号を入力できます。

9 Fn キー

このキーを押しながら□で囲まれたキー（ など）を押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

 +  音声出力のON/OFFを切り替えます。



 +  音量を小さくします。

 +  音量を大きくします。

 +  カーソルを行の最初に移動します。

 +  + 文章の最初に移動します。



 +  前の画面に切り替えます。

 +  次の画面に切り替えます。

 +  カーソルを行の最後に移動します。

 +  + 文章の最後に移動します。



10 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

11 空白 (Space) キー

空白を入力します。

12 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

13 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

14 テンキー

数字や記号を入力します。

15 電池ボックス

単 4 形電池を 2 本入れます。

16 高さ調整用フット

フットを起こすとキーボードに角度をつけることができます。

重要

- ▶ キーボードは、このパソコン専用です。
誤動作や故障の原因となる場合がありますので、他の機種のパソコンでご使用にならないでください。

Point

- ▶ 「キーボード状態表示ツール」を使うと、
【Num LK】キー、【Caps Lock】キー、【Scr Lk】キーを押したときに、押されたキーの状態を画面に表示することができます。この機能をお使いになる場合は、「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>)▶「サポートサービス」▶「機種別サポート情報・ダウンロード」から「キーボード状態表示ツール」をダウンロードしてください。インストール方法や使い方については、ダウンロードファイルにあるReadme.txtをご覧ください。

Windows をスタートする／終了する

Windows をスタートする

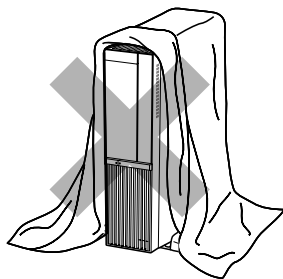
⚠ 注意

- ❌ 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

重要

▶ 電源を入れるときの注意

- ・ ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
- ・ 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・ 液晶ディスプレイは、必ずパソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込む前に接続しておいてください。パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後にディスプレイを接続すると、正常に動作しないことがあります。
- ・ パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良、故障、または破損の原因になることがあります。



- ・ 電源を入れた後は、Windows がスタートするまで電源を切らないでください。途中で電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。

・ 電源を入れてから Windows がスタートするまでは、キーボードやマウスなどで操作しないでください。正常にスタートできない場合があります。

- ▶ 電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **[↑]** **[↓]** **[←]** **[→]** や **[Shift]** のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

1 パソコンに液晶ディスプレイなどの機器を接続します。

2 電源ケーブルをコンセントに接続します。

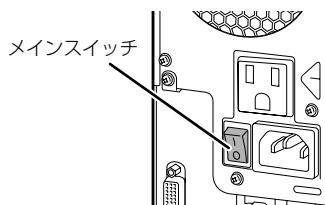
パソコンに接続されている機器の電源ケーブルを接続した後に、パソコン本体の電源ケーブルを接続してください。

ディスプレイの電源ケーブルが、パソコン本体のアウトレットに接続されていることを確認してください。

Point

- ▶ AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合、ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続するときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。

3 パソコン本体背面にあるメインスイッチを「|」側に切り替えます。



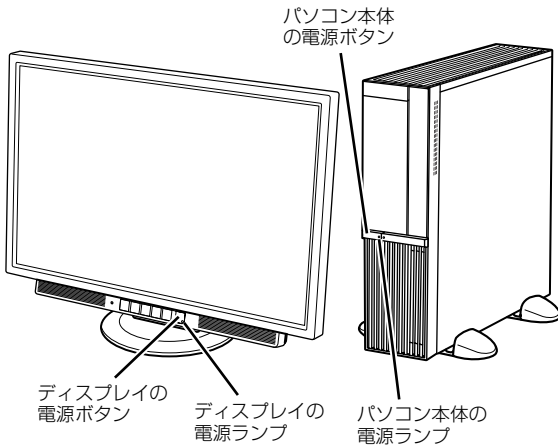
（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

重要

- ▶ 電源ケーブルをコンセントに接続し、メインスイッチを「I」側に切り替えると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

4 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

5 パソコン本体の電源ボタンを押します。



(イラストは機種や状況により異なります)

パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯し、しばらくするとロック画面が表示されます。ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、ディスプレイの電源ボタンを押してください。

6 **[Enter]** を押します。

パスワードを入力する画面が表示されます。

7 パスワードを入力し、**[→]** をクリックします。

スタート画面が表示されます。

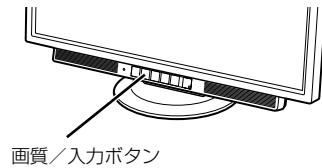
Point

▶ Windows がスタートしない場合

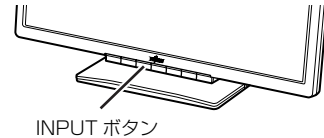
このパソコンに添付のディスプレイは、デジタルとアナログの2種類の入力に対応しています。電源を入れてもWindowsがスタートしない場合は、入力が切り換わってしまった可能性があります。その場合は、「デジタル入力」に切り換えてください。

切り替えるときは、次のボタンを押してください。

■ 24 型ワイド液晶ディスプレイの場合



■ 20 型ワイド液晶ディスプレイの場合



入力を切り替えても Windows がスタートしない場合は、「起動・終了」(→ P.130) をご覧ください。

- ▶ 手順 7 で入力するパスワードは、Windows のセットアップのときに入力したパスワードです。パスワードについて詳しくは、「すべてのアプリ画面」の「ヘルプとサポート」をクリックして Windows のヘルプを表示し、「パスワード」で検索して「パスワードを変更する」をご覧ください。

「アプリ画面」の表示方法は、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。

Windowsを終了する

重要

- ▶ Windowsを終了する前に、作業中のデータがある場合は保存してください。また、CD/DVDドライブにディスクが入っている場合は取り出してください。
- ▶ 次のような場合は、「パソコンの電源を完全に切る」(→ P.162) をご覧になり、電源を切ってください。
 - ・メモリを交換する
 - ・拡張カードを取り付ける／取り外す
 - ・パソコン本体内部や通風孔のお手入れをする
 - ・トラブル解決ナビを起動する
 - ・BIOS セットアップを起動する
 - ・ディスプレイを交換するとき
- ▶ Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。

パソコンの電源ボタンで電源を切る場合、電源ボタンは押し続けしないでください。電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的に電源が切れてしまいます。

Point

- ▶ ディスプレイの電源について
ディスプレイの電源をパソコン本体のアウトレットに接続している場合は、パソコン本体の電源を切るとディスプレイの電源も切れます。
- ▶ パソコンの電源が切れない場合
マウスやキーボードが操作できないなど、電源を切る操作ができないときは、「起動・終了」(→ P.130) をご覧ください。
- ▶ パソコンを長期間お使いにならない場合は、パソコン本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えてください。

しばらくすると Windows が終了します。

2 パソコンに接続されている機器の電源を切りま

す。

電源ランプの状態

パソコン本体の電源ランプは、パソコンの状態によって次のように動作します。

電源ランプの状態	パソコンの状態
白色点灯	パソコンの電源が入っている
オレンジ色点灯	スリープ
消灯	・ 休止状態 ・ パソコンの電源が切れている

スリープにする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。

待機状態にはスリープと休止状態があります。ここでは、パソコンをスリープにする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

Point


- ▶ スリープとは
Windows を終了せずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

パソコンをスリープにするときの注意


次の場合は、いったんパソコンの電源を切り、電源を入れ直してください。

- パソコンを長期間使わないとき
- パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき
- Web カメラを使用するアプリを起動中は、一定時間パソコンを操作しない場合に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません

スリープにする

- 1 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示します。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 そのまま真下にマウスポインターを移動させて「設定」をクリックします。
- 3 「電源」▶「スリープ」の順にクリックします。
ディスプレイの表示が消えスリープになります。
スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

スリープから復帰する

- 1 パソコン本体の電源ボタンを押します。
ロック画面が表示されます。
- 2 **Enter** を押します。
パスワードを入力する画面が表示されます。
- 3 パスワードを入力し、をクリックします。
スタート画面が表示されます。

Point

- ▶ スリープにした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。
必ず、10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。

パソコンの節電

このパソコンでは、次のような設定を行うことで消費電力を抑え、節電することができます。

- 画面の明るさ調節

画面を暗くすることで節電できます（→ P.85）。

- 電源プラン

電源プランを「省電力」に変更することで節電できます。

- スリープ／休止状態

パソコンを使用していないとき、自動的にスリープ／休止状態に移行するまでの時間を短くすることで節電できます。



- ▶ 各機能の使い方については、次のマニュアルをご覧ください。

Web『補足情報』

マウス

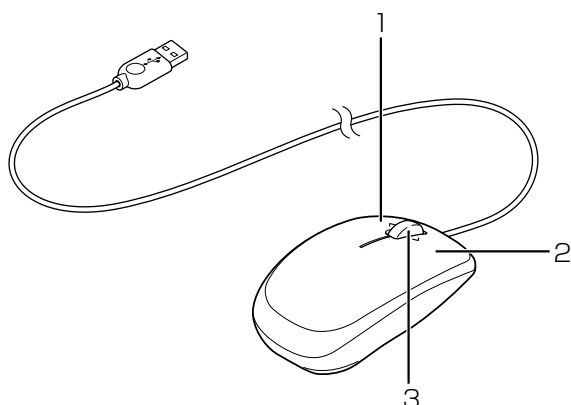
光学式マウスは、底面からの光により照らし出されている陰影を検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使うことができます。

マウスをお使いになるうえでの注意

- オプティカル（光学）センサーについて
 - ・マウス底面から発せられている赤い光は、目に悪い影響を与えることがあります。直接見ないようにしてください。
 - ・センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
 - ・発光部分を他の用途に使わないでください。
- 光学式マウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- 光学式マウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。

各部の名称と働き

■USB マウス (USB マウス添付機種のみ)



(イラストは機種や状況により異なります)

1 左ボタン

クリックするとき押します。

2 右ボタン

右クリックするとき押します。

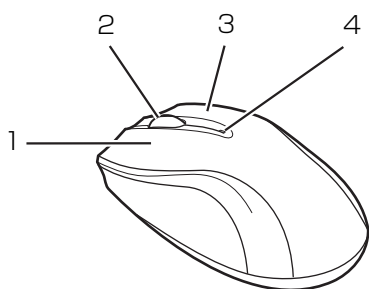
3 スクロールホイール

- ・ホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。スタート画面の場合は、左右にスクロールします。
- ・ホイールを左右に倒すと、「エクスプローラー」や Web ブラウザーの「戻る」、「進む」と同じ動作をします。

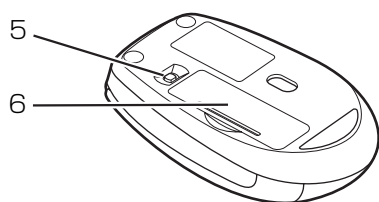
■ワイヤレスマウス

(ワイヤレスマウス添付機種のみ)

●表面



●裏面



1 左ボタン

クリックするとき押します。

2 スクロールホイール

このホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。

3 右ボタン

右クリックするとき押します。

4 ステータスランプ

マウスの電源を入れたときに、電池が消耗していない場合は、約 10 秒間緑色に点灯します。電池が消耗している場合は、赤色に点滅します。赤色に点滅したら、電池を交換してください (→ P.74)。

また、電池を交換した際に、パソコンと再認識させる際の操作では、緑色に点滅します (→ P.75)。

5 電源スイッチ

マウスの電源を入れたり切ったりします。

6 電池ボックス

単 3 形電池を 1 本入れます。


マウスの使い方

ここでは、このパソコンに添付されているマウスの使い方について説明します。

Point

▶ マウスの設定について

マウスの設定は次の手順で表示する設定画面で変更できます。ただし、設定項目によっては設定が反映されない場合があります。

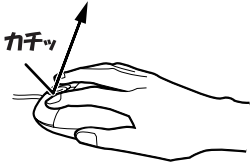
1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
2. 「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。
3. 「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。

▶ スクロールホイールを押したときの動作はお使いの状況により異なります。

▶ スクロール機能やホイールを左右に倒したときの機能は、使用するアプリによって動作が異なったり、お使いになれないことがあります。

■クリック

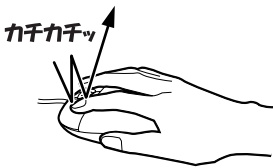
左ボタンをカチッと1回押して、すぐ離すことです。また、右ボタンを1回カチッと押すことを「右クリック」といいます。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

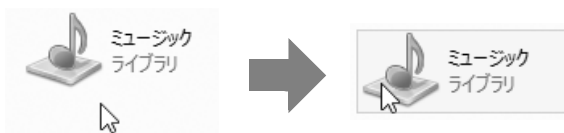
■ダブルクリック

左ボタンをカチカチッとすばやく2回クリックすることです。



■ポイント

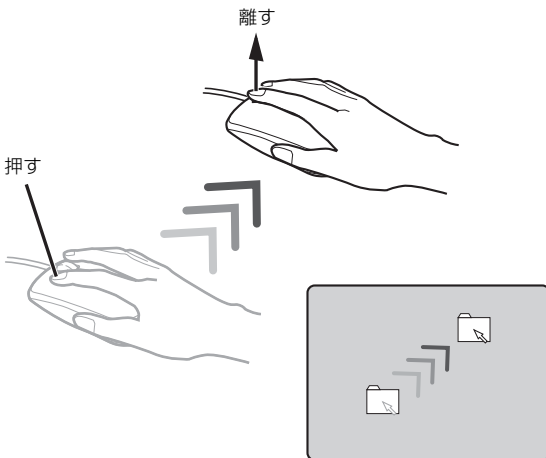
マウスポインター(☞)をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター(☞)で掴むようにして移動させることです。

マウスポインター(☞)を任意の位置に移動し、左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。



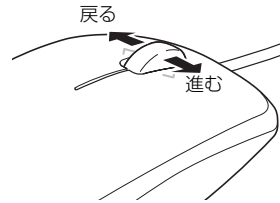
■スクロール

スクロールホイールを回して、画面の表示を動かすことです。



■スクロールホイールを左右に倒す (USB マウスのみ)

スクロールホイールを左右に倒すと、「エクスプローラー」や Web ブラウザーの「戻る」、「進む」と同じ動作をします。



Point

- ▶ スクロールホイールを左右に倒したときの動作を「チャーム表示」や「起動中アプリ切り換え」に設定できます。

詳しくは、[Web『補足情報』](#)をご覧ください。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス添付機種のみ

このパソコンに添付のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項や、電池の交換方法について説明します。

使用に適した配置

このパソコンに添付されているキーボードやマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。

信号を受けるワイヤレスレシーバーは、パソコン本体の USB コネクタにあらかじめ接続しておきます (→ P.25)。

キーボードおよびマウスは、次のような場所でお使いください。

- 机の上など平らで安定した場所
- パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースがとれる場所
- ワイヤレスレシーバーから最大 3m の範囲

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意

このパソコンに添付されているキーボードとマウスを使うときの注意事項について説明します。

- 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、キー入力やカーソルの動きが遅くなるなど、キーボードやマウスがうまく動作しないことがあります。ワイヤレスレシーバーの位置を変えたりパソコン本体の設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
 - ・キーボードやマウスとワイヤレスレシーバーとの距離が離れすぎている場合
 - ・パソコン本体とキーボードやマウスとの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
 - ・キーボード、マウス、およびパソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
 - ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
 - ・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合

- ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
(パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など)
- ・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
- ・ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合
- ・ワイヤレスレシーバーを本体前面の USB コネクタに接続して無線 LAN を使用する場合
- ・ワイヤレスレシーバー近くの USB コネクタに、USB3.0 機器を接続した場合

- キーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 9 分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰するとき、最初に押したキーが無効になることがあります。これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。

●1.5V のアルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池をお使いください。

- ・マンガン乾電池などは、お使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また故障の原因となる場合があります。
- ・充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合は、電池に添付されているマニュアルをご覧ください。

●ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。

すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。

●電池の寿命の目安は、毎日 3.5 時間の使用で、キーボードは約 6ヶ月、マウスは約 3ヶ月です。

ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。特にマウスの電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。

●パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。

パソコン本体の電源が入ってなくても、キーボードやマウスが動作していると電池が消費されます。また、キーボードやマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。

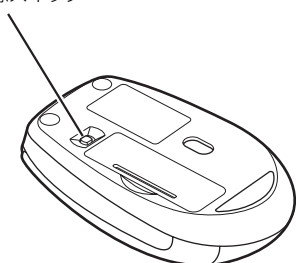
●長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

キーボードやマウスは、使用せずに放置していても、電池は消耗します。長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

●電池の消耗を抑えるためには

マウスを使用しないときは、電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

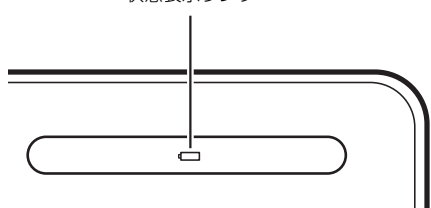
電源スイッチ



●キーボードの電池の消耗状態は、状態表示ランプをご覧ください。状態表示ランプが約 2 分オレンジ色に点滅した場合はお早めに新しい電池に交換してください（表示は目安です）。

キー入力があると、再度点滅を開始します。

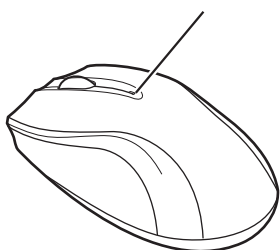
状態表示ランプ



●マウスの電池の消耗状態は、ステータスランプをご覧ください。ステータスランプが約 2 分赤色に点滅した場合はお早めに新しい電池に交換してください（表示は目安です）。

マウス入力があると、再度点滅を開始します。

ステータスランプ



電池を交換する

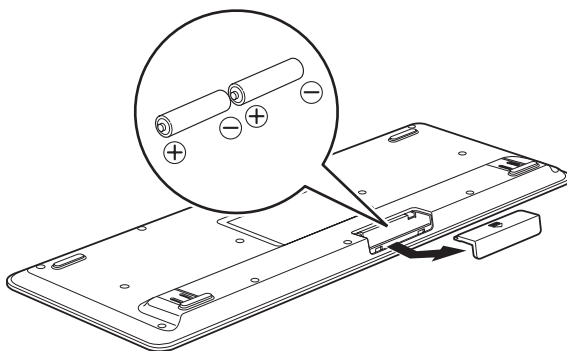
⚠ 注意

- ❌ 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ❌ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用せずに、2 本の新品電池と交換してください。電池の液もれや破裂などにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ❗ 使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。
- ❗ 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。液もれ、破裂の原因になります。

1 キーボードとマウスを裏返して電池ボックスのふたを開け、電池を取り出した後、新しい電池を入れます。

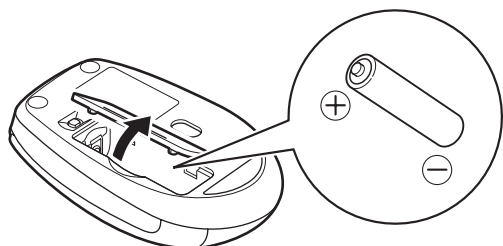
■ワイヤレスキーボード

単 4 形電池（2 本）



■ワイヤレスマウス

単 3 形電池 (1 本)



マウスは、電源を入れたときに表面のステータスランプが約 10 秒間緑色に点灯します。

2 電池ボックスのふたを閉めます。



- ▶ 電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

キーボードやマウスをパソコンに再認識させる

通常お使いの場合は、キーボードやマウスをパソコンに一度認識させれば、再認識させる必要はありません。ただし、次のような場合は、キーボードやマウスを再度パソコンに認識させて、正常に動作するようにしてください。

- キーボードやマウスが正しく動作しない場合
 - 近くで使っているパソコンのキーボードやマウスによって、このパソコンが誤動作する場合
 - 2 台以上のパソコンを使用している場合
- ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、電波の混信や誤動作を避けるため、パソコンと 1 対 1 で設定する必要があります。

重要

- ▶ パソコンに再認識させるときの注意
 - ・ パソコンを設置している環境を確認してください。
 - ・ キーボードとマウスの両方とも再認識させてください。

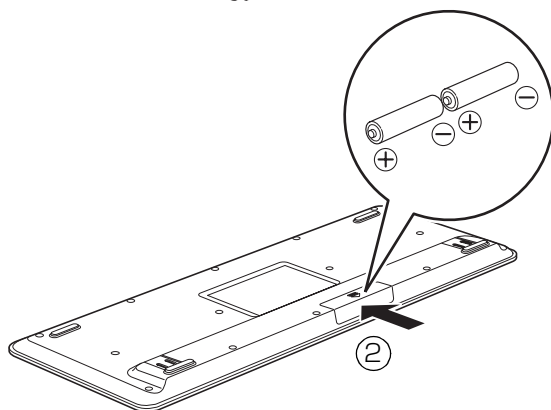
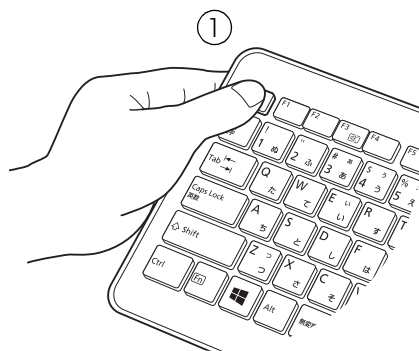


- ▶ 電池の交換などで電池を取り出した場合は、キーボードやマウスがパソコンに認識された状態になっています。再認識させる必要はありません。

■キーボードをパソコンに再認識させる

1 パソコンの電源を切ります (→ P.162)。

2 ①キーボードの [Esc] キーを押しながら、②単 4 形乾電池を入れ直して電池ボックスのふたを閉めます。



状態表示ランプがオレンジ色に点滅します。

3 パソコンの電源を入れます (→ P.66)。

キーボードの状態表示ランプの点滅が止まります。

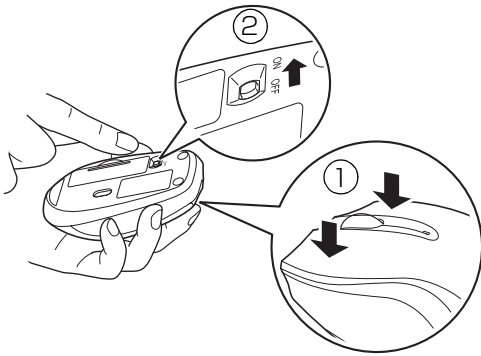
10 秒ほど経過するとランプが消えます。

点滅が止まらない場合は、いったん電池を出し、もう一度手順 1 から操作してください。

これでキーボードがパソコンに認識されました。続いて、マウスをパソコンに認識させましょう。

■マウスをパソコンに再認識させる

- 1 パソコンの電源を切ります (→ P.162)。
- 2 ①左ボタンと右ボタンを押しながら、②電源スイッチを ON側にして、電源を入れます。



マウス表面にあるステータスランプが緑色に点滅します。

- 3 パソコンの電源を入れます (→ P.66)。
マウス表面にあるステータスランプの点滅が止まります。
10 秒ほど経過するとランプが消えます。
点滅が止まらない場合は、いったん電池を出し入れし、もう一度手順 1 から操作してください。

これでマウスがパソコンに認識されました。

ワイヤレスタッチパッド

ワイヤレスタッチパッドを選択した場合のみ

ワイヤレスタッチパッドは、指先の操作でマウスポインターを動かしたり、画面やウィンドウの表示を切り替えたりすることができるポインティングデバイスです。

使用に適した配置

ワイヤレスタッチパッドは Bluetooth ワイヤレステクノロジーでパソコンに電波を送ります。電波を受ける Bluetooth ワイヤレステクノロジーのアンテナは、無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジーを選択した場合にのみパソコン本体に搭載されています。ワイヤレスタッチパッドは次のような場所でお使いください。

- 机の上など平らで安定した場所
- パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースがとれる場所
- ワイヤレスタッチパッドの操作範囲は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーのアンテナから最大 3m

ワイヤレスタッチパッドをお使いになるうえでの注意

- 電池の残量が少なくなると、ステータスランプが赤の点滅に変わります。点滅したら電池を交換してください。
- ワイヤレスタッチパッドを使用する場合は、Windows にデバイスを追加する必要があります。
- リカバリした場合や本体またはワイヤレスタッチパッドを修理した場合は、ワイヤレスタッチパッドの接続を再度行う必要があります。
- ワイヤレスタッチパッドは電池の消耗を抑えるため、操作しない状態が約 30 分続くとスリープモードに入ります。スリープモードから復帰する場合は、ワイヤレスタッチパッドを 1 秒以上操作してください。
- 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスタッチパッドがうまく動作しないことがあります。

パソコン本体の設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。

- ・パソコン本体とワイヤレスタッチパッドの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合

- ・ワイヤレスタッチパッドやパソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
- ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
- ・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
- ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
- ・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
- ・ワイヤレスタッチパッドを使用したパソコンを近くで使用している場合
- ・フロント USB コネクタに、USB3.0 機器やワイヤレスレシーバーを接続した場合

●1.5V のアルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池をお使いください。

- ・マンガン乾電池などは、お使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また故障の原因となる場合があります。
- ・充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合は、電池に添付されているマニュアルをご覧ください。

●ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。

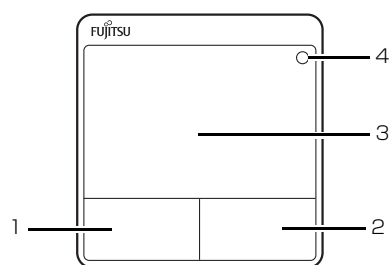
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。

●電池の寿命の目安は、毎日 3.5 時間の使用で、ワイヤレスタッチパッドは約 3ヶ月です。

ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。特にワイヤレスタッチパッドの電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。

各部の名称と働き

■表面




1 左ボタン

クリックするとき押します。

2 右ボタン

右クリックするとき押します。

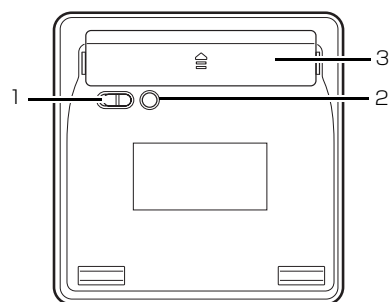
3 操作面

マウスポインター（) を操作します

4 ステータスランプ

ワイヤレスタッチパッドの電源を入れたときに、電池が消耗していない場合は、緑色に点灯します。「CONNECT」ボタンを押した場合は、緑色に点滅します。電池が消耗している場合は、赤色に点滅します。

■裏面



1 電源スイッチ

ワイヤレスタッチパッドの電源を入れたり切ったりします。

2 CONNECT ボタン

パソコンに認識させるときに押します。

3 電池ボックス

単 3 形電池を 2 本入れます。

Point

- ▶ ワイヤレスタッチパッドを長時間使わないときは、ワイヤレスタッチパッドの裏面にある電源スイッチを OFF 側にしておくと電池が長持ちします。

ワイヤレスタッチパッドを準備する

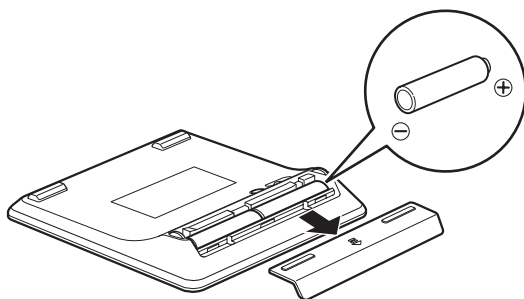
警告

- 乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。
- 充電式電池はお使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また、故障の原因となる場合があります。

注意

- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用せずに、2本の新品電池と交換してください。電池の液もれや破裂などにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。液もれ、破裂の原因になります。


- 1 裏返して電池ボックスの合マークを指で押さえてふたを開け、添付の単3形乾電池を入れます。

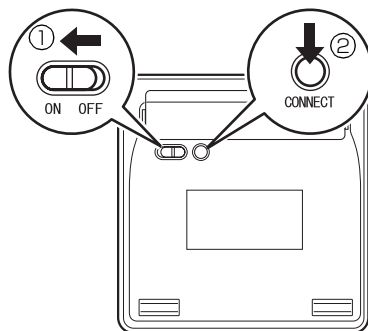


- 2 電池ボックスのふたを閉めます。

■デバイスへの追加

ワイヤレスタッチパッドを動作可能にするための設定です。マウス、または、キーボードで操作してください。

- 1 マウスポインターを右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、 (設定) をクリックします。
- 2 「PC 設定の変更」をクリックします。「PC 設定」が表示されます。
- 3 ワイヤレスタッチパッドを裏返して次のように操作します。
 - ① 「電源スイッチ」を「ON」側にして、電源を入れます。
 - ② 「CONNECT」ボタンを押します。



- 4 ワイヤレスタッチパッドを表にしてステータスランプが緑色に点滅していることを確認します。ステータスランプが点滅していない場合は、再度、「CONNECT」ボタンを押してください。
- 5 「デバイス」をクリックします。
- 6 「デバイスの追加」をクリックします。「デバイスの選択」が表示されます。
- 7 「FUJITSU TOUCH PAD」をクリックします。

8 「デバイス」に「FUJITSU TOUCH PAD」が追加されていることを確認します。


9 「PC 設定」を閉じます。

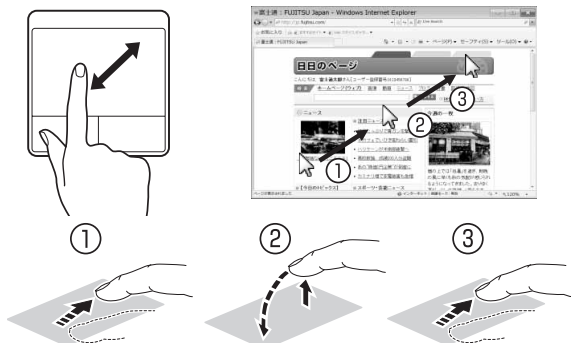
ワイヤレスタッチパッドの機能と操作方法について

ここでは、ワイヤレスタッチパッドの機能と操作方法について説明します。なお、各機能はアプリにより異なります。

■マウスポインター（)を移動させる

操作面を指先でなぞります。

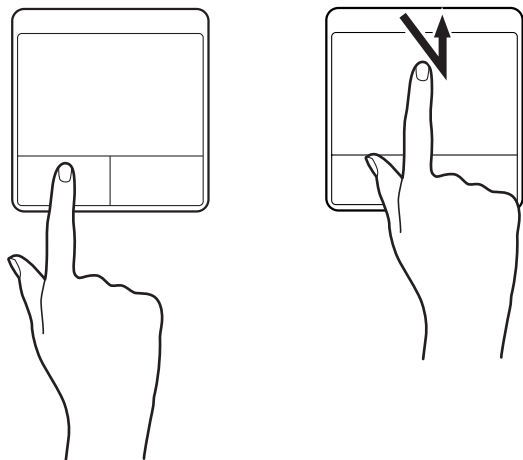
指が操作面の端まできたら、いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインター（)は動きません。



指を離している間はマウスポインターは動きません。

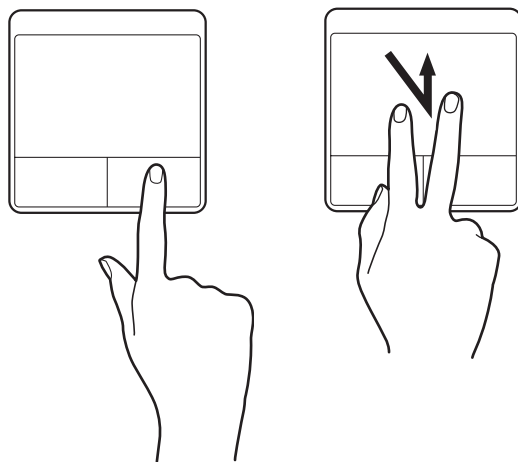
■クリック

左ボタンを 1 回押してすぐに離すか、操作面を 1 回軽くたたく（タップする）ことです。



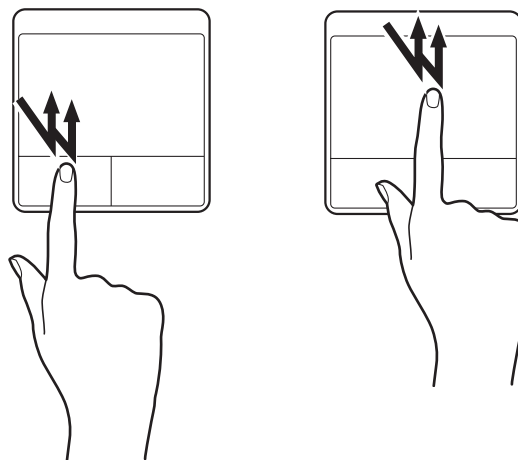
■右クリック

右ボタンを 1 回押してすぐに離すか、操作面を 2 本指で 1 回軽くたたく（タップする）ことを「右クリック」といいます。




■ダブルクリック

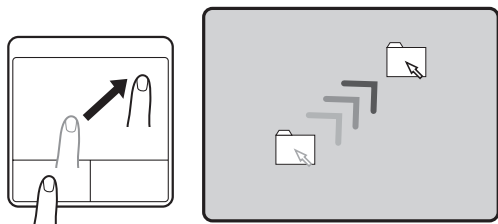
左ボタンを 2 回連続して押すか、操作面を 2 回連続して軽くたたく（タップする）ことです。




■ドラッグ

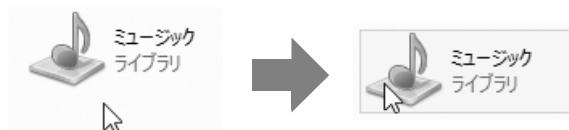
アイコンやウィンドウを、マウスポインター（）でつかむようにして移動させることです。

左ボタンを押したまま操作面をなぞり、希望の位置で指を離します。または、操作面を素早く 2 回タップし、2 回目のタップのときに指を操作面上から離さずになぞり、希望の位置で指を離します。



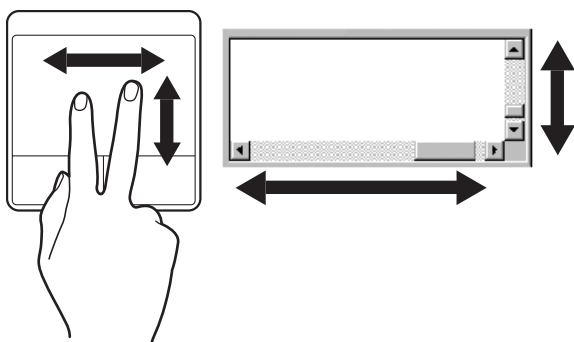
■ポイント

マウスポインター（）をアイコンやメニューなどに合わせることで、ポイントすることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



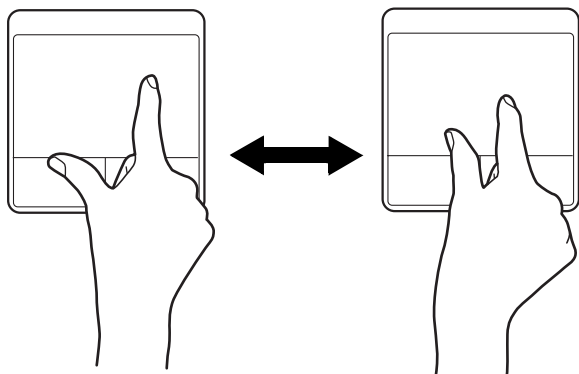
■画面を動かす。

操作面を2本指で上下になぞることで画面が縦に動き、左右になぞることで横に動きます。



■拡大／縮小

操作面で、2本の指でつまんだりひらいたりします。つまむと画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、ひらくと拡大表示されます。

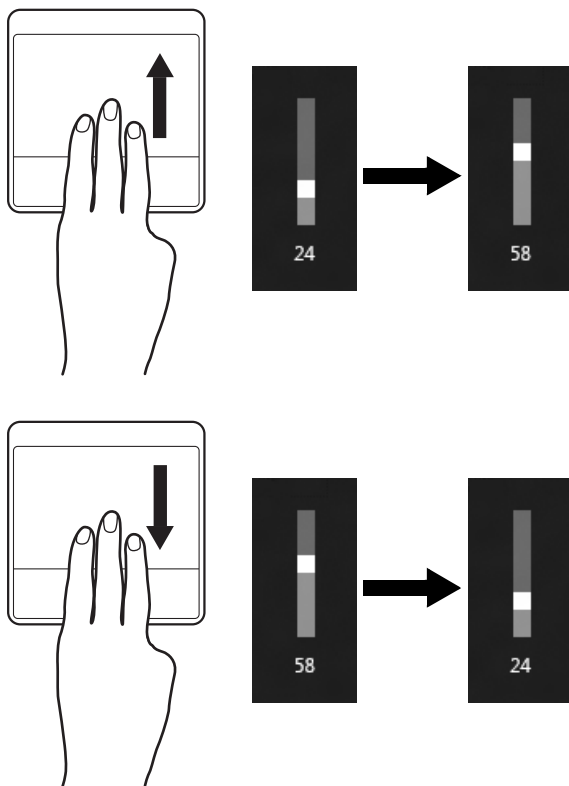


■音量を調節する

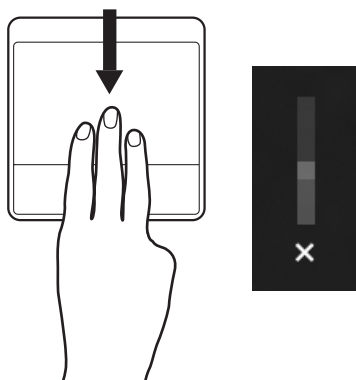
操作面を3本指で上下になぞることで音量を調節できます。

上へ動かす：音量を上げる

下へ動かす：音量を下げる



操作面を3本指で1回押すことで、消音（ミュート）になります。もう一度操作すると、音が出るようになります。

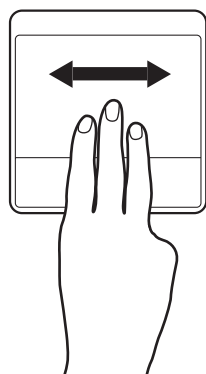


■ブラウザーなどのページを戻る／進める

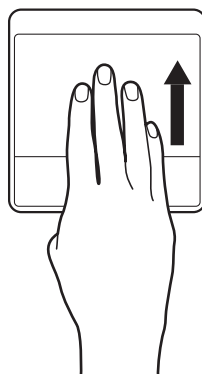
操作面を3本指で左になぞるとページが1ページ戻り、右になぞると1ページ進みます。

右へ動かす：進む

左へ動かす：戻る

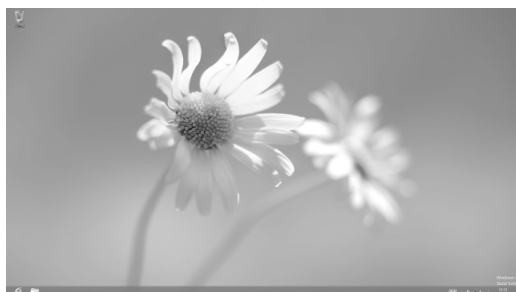
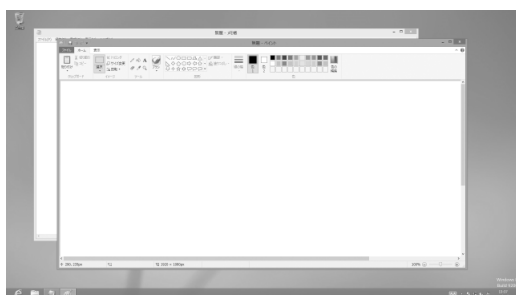
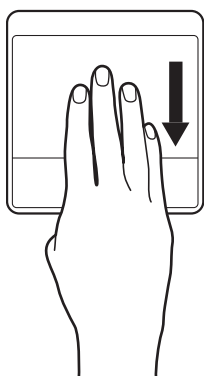


■起動中のアプリケーションの表示を変更する
複数アプリケーションを起動している場合に操作面を4本指で上になぞると別のアプリケーションを表示することができます。



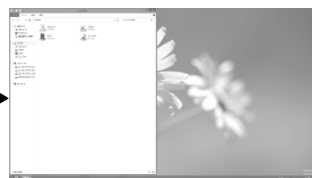
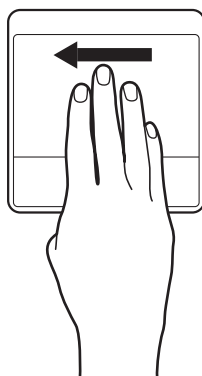
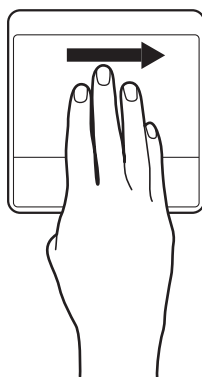
■デスクトップ画面を表示する

操作面を4本指で下になぞるとすべてのウィンドウが最小化されデスクトップ画面を表示します。



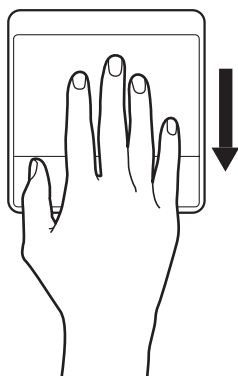
■ウィンドウを移動する

アクティブなウィンドウが表示されている場合に操作面を4本指で右になぞるとウィンドウが画面の右側に表示されます。また、左になぞると画面の左側に表示されます。



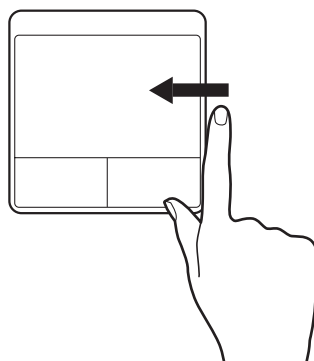
■スタート画面を表示する

操作面を5本指で下になぞるとスタート画面を表示することができます。



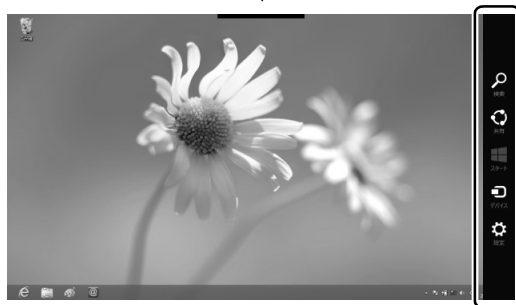
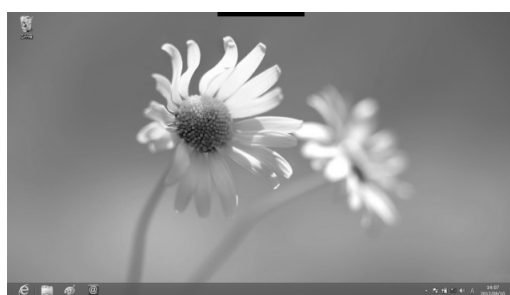
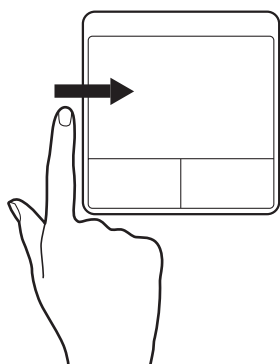
■チャームを表示する

1本指を左端の枠の外から中へスワイプするとチャームが表示されます。



■アプリを切り替える

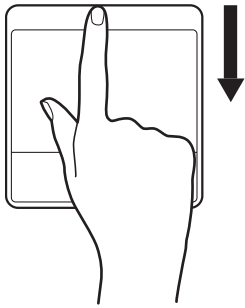
1本指を左端の枠の外から中へスワイプすると起動中のアプリが切り替わります。



チャーム

■アプリバーの表示

1 本指を上端の枠の外から中へスワイプすると、アプリバーが表示されます。



アプリバー

音量

ここでは、キーボードから音量を調節する方法について説明します。

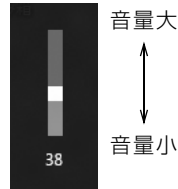
■キーボードで調節する

- 音量を小さくする

[Fn] を押しながら、**[F8]** を押します。

- 音量を大きくする

[Fn] を押しながら、**[F9]** を押します。



(イラストは機種や状況により異なります)


- 音を消す

[Fn] を押しながら、**[F3]** を押します。



(イラストは機種や状況により異なります)

もう一度押すと、音が出るようになります。

音量はデスクトップ画面右下の通知領域にある  でも調節できます。

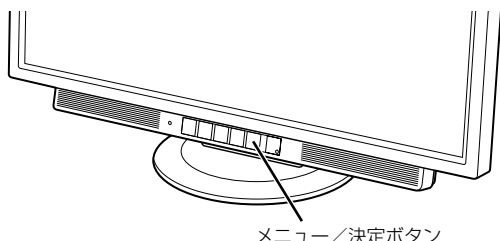
画面の明るさ

液晶ディスプレイで、画面の明るさを調節することができます。

20 型／24 型ワイド液晶ディスプレイを選択した場合は、ここの説明をお読みください。ディスプレイが添付されていない機種の場合は、お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

■24 型ワイド液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイのメニュー／決定ボタンを押すと、画面の明るさを調節するメニュー画面が表示されます。このメニュー画面でお好みの明るさに調節してください。

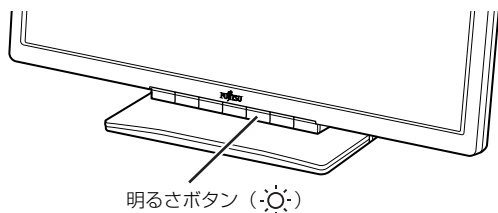


Point

- ▶ 24型ワイド液晶ディスプレイの場合、エコ／戻るボタンで、周囲の明るさを検知して画面の明るさを調整したり、常に一定の明るさに固定したりすることができます。

■20 型ワイド液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイの明るさボタン (☼) を押すと、画面の明るさを調節するメニュー画面が表示されます。このメニュー画面でお好みの明るさに調節してください。



CD/DVD ドライブ

このパソコンでは、CD や DVD、Blu-ray Disc (BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ) などのディスクの再生や読み出し／書き込みを行うことができます。

著作物の録音や複製に関する注意

- 音楽や画像などの著作物は、著作権法で保護されています。録音・複製（データ形式の変換を含む）などは、お客様個人またはご家庭内で楽しむ目的のみ、行うことができます。音楽や画像をネットワーク上で配信するなど、上記目的を超える場合は、著作権者の許諾が必要です。
- 著作権を保護されたディスクはコピーできません。ディスクの種類によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。このパソコンでは、著作権保護として、デスクランブル機能および相互認証機能が用意されています。著作権を保護されたデータなどをコピーしても、再生できません。

ディスクをお使いになるうえでの注意

- ディスクの再生中や書き込み／書き換え中は、振動や衝撃を与えないでください。
 - ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触らないようにしてください。
 - ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などを付けないでください。
 - ディスクは両面ともラベルを貼らないでください。
 - ディスクの表面にボールペンや鉛筆などの硬いもので字を書くと、ディスクに傷が付くおそれがあります。
 - コーヒーなどの液体をかけないでください。
 - 汚れたり水滴が付いたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
- シリコンクロスは使用しないでください。
ヘアードライヤーなどで乾燥させたり、自然乾燥をさせないでください。
ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。

- 使わないときは、ケースに入れて保管してください。
- 曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
- 高温・低温の場所に保管しないでください。

ディスクを再生するうえでの注意

- ディスクの再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
- デジタル放送を録画した DVD を初めて「WinDVD」で再生するときは、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。必ず「はい」をクリックしてください。
- ディスクによっては、正常に再生されなかったり、「WinDVD」の一部の機能が使用できない場合があります。
- 再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。
- 各ボタンを操作する間隔は、1 秒以上あけてください。
- 再生するディスクによっては、コマ落ちする場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のアプリは終了させてください。
- 著作権保護されたコンテンツ（一般的な市販 Blu-ray Disc のタイトルや Blu-ray Disc に録画したデジタル放送、AVCREC 形式で DVD に録画したデジタル放送など）は、アナログディスプレイでは再生できません（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）。



- ▶ DTS で記録された DVD-VIDEO は、このパソコンでは音声再生ができません（スーパーマルチドライブ搭載機種のみ）。

■「WinDVD」の更新について

このパソコンには、ディスクを再生するアプリ「WinDVD」が用意されています。「WinDVD」は常に最新の状態で更新してお使いください。

「WinDVD」を更新するには、サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「機種別サポート情報・ダウンロード」から、アップデートプログラム（随時提供）をダウンロードして、インストールしてください。

インストール手順については、アップデートプログラムに添付されている「Readme.txt」をご覧ください。

■AACs キーの更新について（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

Blu-ray Disc には、著作権保護技術のキーが働いています。

AACs キーは常に最新の状態で更新してお使いください。

更新方法については、下記の URL をご覧ください。

<http://www.fmworld.net/aacs/esprimo/>

ディスクに書き込み／書き換えをするうえでの注意

- 書き込み／書き換え中にディスク面に傷を検出した場合、書き込み／書き換えが中断されることがあります。
- ディスクへ正常に書き込み／書き換えができない場合は、書き込み／書き換え速度を落とすことで、できる場合があります。
- DVD プレーヤーで映像を見る目的で、DVD に書き込みをする場合、画像の解像度は 720 × 480 に設定することをお勧めします。
その他の解像度で作成されたファイルを DVD に保存すると、一部の DVD プレーヤーで再生できない場合があります。
- 「Roxio Creator」では DVD-RAM への書き込み／書き換えは行えません。

■書き込み／書き換えを行う前に

ディスクに、書き込み／書き換えを行う前に、次の操作をしてください。


- 他のアプリは終了させてください。
- ディスクに書き込み／書き換え中にスリープや休止状態にならないように、「電源オプション」ウィンドウで「コンピューターをスリープ状態にする」を、「なし」に設定してください。
設定の変更については、次のマニュアルをご覧ください。

Web『補足情報』

- ディスクに書き込み／書き換え中にディスプレイがスクリーンセーバーに移行しないように次の設定をしてください。

1. スタート画面で「デスクトップ」をクリックします。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

2. デスクトップ画面の何も無いところを右クリックします。
3. 表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
4. 「スクリーンセーバー」をクリックします。
5. 「スクリーンセーバー」の▼をクリックし、一覧から「(なし)」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。
7.  をクリックします。

■書き込み／書き換え中の操作について

ディスクに書き込み／書き換え中は、次の操作を行わないでください。

書き込み／書き換えに失敗したり、時間がかかる場合があります。

- Windows を終了する
- パソコン本体の電源を切る
- パソコンをスリープや休止状態にする
- 電源ボタンを押す
- CD/DVD 取り出しボタンを押す
- [Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押す
- ディスクを操作するボタンを押す
- 他のアプリを起動または操作する
- LAN などによるデータ転送をする

■一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは

一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- パケットライト方式でデータが書き込まれたディスクは、このパソコンでは読み込むことはできません。これらのディスクの読み出しや書き込みを行う方法については、ディスクを作成するときに使用したアプリのマニュアルをご覧ください。
- 一度フォーマットや書き込みをした後は、同じアプリを使って書き換え、追記を行ってください。
- DVD+RW や DVD-RW、CD-RW、BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL (BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL は BD-XL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ) に保存したファイルは、そのまま編集や更新することはできません。編集や更新をする場合は、次の手順で操作してください。
 1. デスクトップ画面でハードディスクにファイルをコピーします。

2. ファイルが読み取り専用になっていたら、「読み取り専用」の属性を外します。
「読み取り専用」の属性を外すには、対象のファイルを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
プロパティウィンドウで「全般」タブをクリックし、「読み取り専用」の☑をクリックして☐にし、「OK」をクリックします。
3. ファイルの編集や更新をし、再度ディスクへ書き込みを行います。

- このパソコンで書き込みをしたディスクは、別のパソコンやアプリで利用できない場合があります。

使えるディスク／使えないディスク

■使えるディスク

このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。



- ▶ お使いになるアプリによって使えるディスクが異なる場合があります。詳しくはお使いになるアプリのヘルプをご覧ください。

○：対応 ×：非対応

	読み出し (再生)	書き込み	書き換え
CD-ROM、音楽 CD、 ビデオ CD、フォト CD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-Audio	×	×	×
DVD-ROM、DVD-VIDEO	○[注2]	×	×
DVD-R (4.7GB)	○	○	×
DVD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-R DL (8.5GB)	○	○	×
DVD+R (4.7GB)	○	○	×
DVD+RW (4.7GB)	○	○[注1]	○[注1]
DVD+R DL (8.5GB)	○	○	×
DVD-RAM (2.6GB・5.2GB)	×	×	×
DVD-RAM (4.7GB・9.4GB)	○	○[注3]	○[注3]
BD-ROM[注4]	○[注5]	×	×
BD-R (25GB) [注4]	○	○	×
BD-R DL (50GB) [注4]	○	○	×

	読み出し (再生)	書き込み	書き換え
BD-RE (25GB) [注4][注6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]
BD-RE DL (50GB) [注4][注6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]
BD-R LTH TYPE[注4]	○	○	×
BD-R XL (100GB)[注4]	○	○	×
BD-RE XL (100GB) [注4][注6]	○	○[注1] [注3]	○[注1] [注3]

注1：次のディスクに書き込んだデータを削除するには、データをすべて消去する必要があります。

- ・CD-RW、DVD-RW、DVD+RWに書き込んだデータ
- ・BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XLにライティングアプリで書き込んだデータ

注2：DVD-VIDEOは、リージョン（地域）コードに[2]が含まれているか、もしくは[ALL]のものを再生できます。

注3：購入したDVD-RAMや、Blu-ray Disc (BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL)を使い始めるには、フォーマットを行う必要があります。ディスクのフォーマットについては、「ディスクをフォーマットする」(→P.91)をご覧ください。

注4：BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

注5：Blu-ray Discは、リージョン（地域）コードに[A]が含まれているか、もしくは[FREE]のものを再生できます。

注6：BD-RE Ver1.0には対応していません。

■推奨ディスク

次のディスクの使用をお勧めします。

下記以外のディスクをお使いの場合は、正常に書き込み／書き換えができない場合や再生できない場合があります。

なお、それぞれのディスクの詳しい仕様については、各メーカーのホームページなどをご覧ください。

(2013年5月現在)

	メーカー	メーカー型名
CD-R	太陽誘電 (That's)	CDR80WTY10SV、 CDR80WPY10BV
CD-RW	Verbatim (バーベイトム)	SW80QU5V1、 SW80QM5V1、 SW80QP5V1、 SW80EU5V1、 SW80EM5V1

	メーカー	メーカー型名
DVD-R	太陽誘電 (That's)	DR-47WTY50BNT、 DR-47WKY10SN、 DR-47WWY50BN、 DVD-R47XY10P
	Verbatim (バーベイトム)	DHR47J10V1、 DHR47JM10V1、 DHR47JP10V1
DVD-R DL	Verbatim (バーベイトム)	DHR85HP5V1 DHR85HP10V1
DVD-RW	Verbatim (バーベイトム)	DHW47RP1V1、 DHW47Y10V1
DVD+R	ソニー	10DPR47HPSH
DVD+R DL	Verbatim (バーベイトム)	DTR85HP5V1
DVD+RW	ソニー	5DPW47HPS
DVD-RAM	パナソニック	LM-HC47M (4.7GB、カートリッジ無)、 LM-HC47MW5 (4.7GB、カートリッジ無)、 LM-HB47MA (4.7GB、カートリッジ有、 取り出し可)、 LM-HB94M (9.4GB、カートリッジ有、 取り出し可)
	日立マクセル	DRM47PWC.S1P5S A (4.7GB、カートリッジ無)
BD-R[注]	Verbatim (バーベイトム)	DBR25RP10V1 (25GB)
	パナソニック	LM-BR25LDH5 (25GB)、 LM-BR25MDH5 (25GB)
BD-R DL [注]	パナソニック	LM-BR50LDH5 (50GB)、 LM-BR50MDH (50GB)
BD-RE[注]	パナソニック	LM-BE25DH (25GB)、 LM-BE25DH5A (25GB)
BD-RE DL [注]	パナソニック	LM-BE50DH (50GB)、 LM-BE50DHA (50GB)

注：BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

■使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）

このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。

円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。

異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

- 規格外の厚さの DVD 媒体

DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。

記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。

規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

- 規格外の厚さの Blu-ray 媒体（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

規格では媒体の厚さを 1.15mm ～ 1.3mm と規定しています。

記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。

規格外の Blu-ray 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。

- 市販のクリーニングディスク、レンズクリーナー
お手入れのときにお使いになると、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合がありますので、お使いにならないでください。

- 中心に穴の空いていないディスク

- 傷またはヒビの入ったディスク

傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内で破損する場合があります。

- カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM (Type1)

DVD-RAM は、カートリッジなしタイプ、またはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをお使いください。なお、カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM を、カートリッジから無理に取り出して使わないでください。

- BD-RE Ver1.0 規格の Blu-ray Disc (BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ)

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

ディスクのセット／取り出しは、パソコンの電源が入っている状態のときのみ可能です。

⚠ 注意

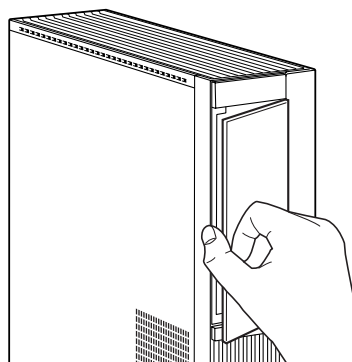


- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

■ディスクをセットする

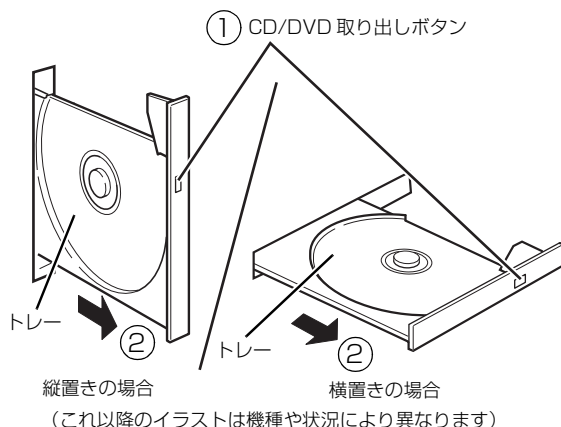
- 1 パソコン本体のフラップの端に指をかけて、直角になるまで開きます。

フラップは、開ききった状態で固定されます。



- 2 トレーを出します。

①CD/DVD取り出しボタンを押すと、トレイが少し飛び出します。②トレイを静かに引き出します。ディスクアクセスランプ点灯中でも操作が可能です。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

重要

- ▶ トレーを引き出すときの注意
 - ・ トレーは勢いよく引っ張り出さないでください。
 - ・ トレーは最後まで引き出してください。

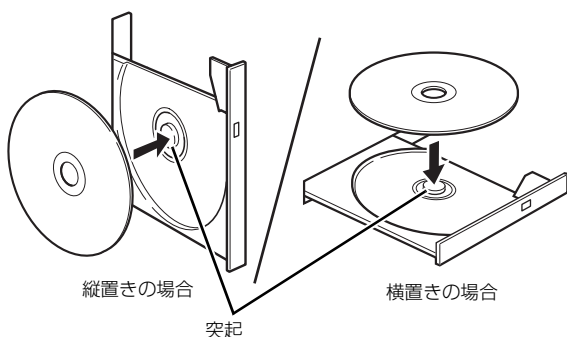
3 ディスクをセットします。

縦置きの場合は、ディスクのレーベル面を左（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を右）にしてディスクをセットします。

横置きの場合は、ディスクのレーベル面を上（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を下）にしてディスクをセットします。

トレーの中央の突起にディスクの穴を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりとめ込んでください。

きちんとはめ込まないと、再生できなかったり、ディスクが取り出せなくなったりすることがあります。



4 トレーを戻します。

カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。

ディスクをセットしてから、パソコンで使えるようになるまで、約 30 秒かかります。

ディスクによっては、セットすると自動的に起動するものもあります。

5 パソコン本体のフラップを閉じます。

CD/DVD ドライブのトレーを戻した後は、フラップを閉じてください。

■ディスクを取り出す

1 ディスクを使っているアプリがあれば終了します。また、ディスク内のファイルを開いている場合はファイルを閉じてください。

2 パソコン本体のフラップの端に指をかけて、直角になるまでフラップを開きます。

3 トレーを出します。

CD/DVD 取り出しボタンを押します。

ディスクアクセスランプ点灯中でも操作が可能です。

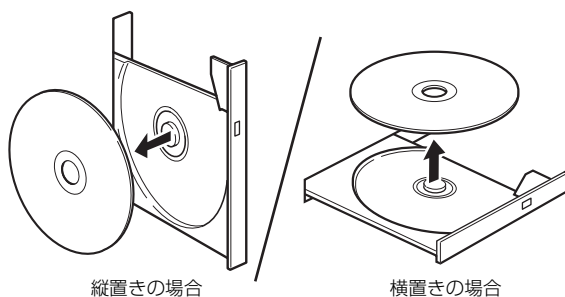
トレーが少し飛び出します。トレーを静かに引き出します。

重要

- ▶ トレーを引き出すときの注意
 - ・ トレーは勢いよく引っ張り出さないでください。
 - ・ トレーは最後まで引き出してください。

4 ディスクを取り出します。

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

5 トレーを戻します。

カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。

6 パソコン本体のフラップを閉じます。

CD/DVD ドライブのトレーを戻した後は、フラップを閉じてください。

ディスクが取り出せなくなった場合は、「CD/DVD」（→ P.136）をご覧ください。

ディスクをフォーマットする

次のディスクは、お使いになる前にこのパソコンで読み書きできるようにするフォーマット（初期化）を行う必要があります。

●DVD-RAM

●BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

ここでは、特定のアプリを使用せずに、「コンピューター」から DVD-RAM などに直接データを書き込んで使用する場合のフォーマットの方法を説明します。9.4GB の両面タイプの DVD-RAM については、片面ごとにフォーマットしてください。

特定のアプリを使用して、データの書き込み、書き換えをする場合は、お使いになるアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください、フォーマット形式を選択してください。

⚠ 注意



- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

重要

- ▶ バックアップナビでご利用になる場合は、Windows の「フォーマット」を使用しないでください。バックアップナビでのご利用方法は「[パソコンの状態]」をバックアップする場所（→ P.123）をご覧ください。

1 フォーマットするディスクをセットします。

2 デスクトップ画面の (PC) をダブルクリックします。

「PC」ウィンドウが表示されます。

3 ディスクのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「フォーマット」をクリックします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 「ファイルシステム」の ▼ をクリックして、フォーマット種別を選びます。



■ DVD-RAM の場合

「UDF 2.00」を選びます。

■ Blu-ray Disc の場合（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

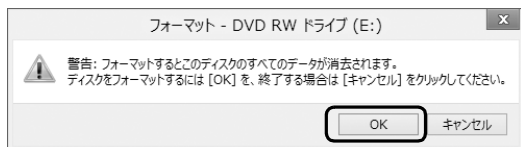
「UDF 2.50」を選びます。

Point

- ▶ 「ボリュームラベル」に入力した文字列がディスクの名前になります。ディスクに好きな名前を付けることができます。
- ▶ 「クイックフォーマット」を ☐ にすると、フォーマットに時間がかかる場合があります。

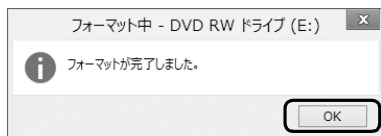
5 「開始」をクリックします。

- 6 フォーマットを確認するメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。



フォーマットが始まります。

- 7 「フォーマットが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。



- 8 「閉じる」をクリックします。

メモリーカード

ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。

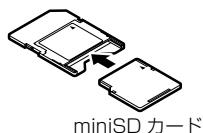
お使いになるうえでの注意

- メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- 次のメモリーカードをお使いになる場合はアダプターが必要です。

- ・miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード、microSDXC カード

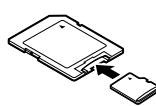
必ずアダプターに差し込んでからお使いください。そのままダイレクト・メモリースロットに挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプターごとに取り出してください。アダプターだけをダイレクト・メモリースロットに残すと、故障の原因となります。

miniSD カードアダプター



miniSD カード

microSD カードアダプター

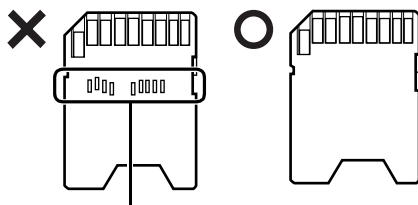


microSD カード
microSDHC カード
microSDXC カード

- 端子が露出しているminiSDカードアダプターは使用しないでください。

ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となります。

miniSD カードのアダプターは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。




端子が露出している

- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このパソコンでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使用できなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
- Windows の ReadyBoost には対応していません。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリスロットが対応しているメモリーカードと、その最大容量は次のとおりです。
なお、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

 [注]	<ul style="list-style-type: none"> ・SD メモリーカード (2GB) ・miniSD カード (2GB) ・microSD カード (2GB) ・SDHC カード (32GB) ・microSDHC カード (32GB) ・SDXC カード (128GB) ・microSDXC カード (64GB)
--	---

注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能 (CPRM [シーピーアールエム]) に対応しています。

メモリーカードを差し込む／取り出す

⚠ 注意



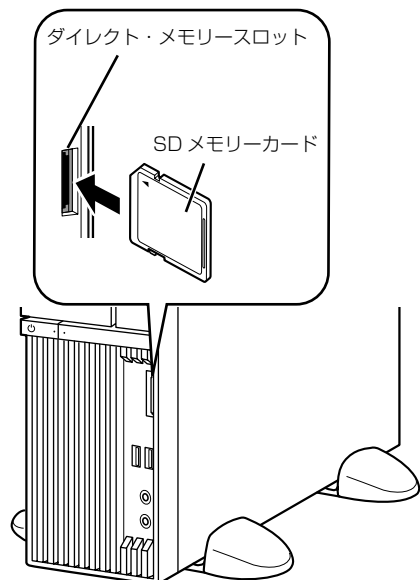
- メモリーカードをセットするとき、および取り出すときには、ダイレクト・メモリスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



- 取り外したメモリーカードは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
お子様が口に入れたり、誤って飲み込むとけがや窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

■メモリーカードを差し込む

- 1 インターフェースカバーを外し、メモリーカードをダイレクト・メモリスロットにセットします。
アダプターが必要なメモリーカードは、必ずアダプターに差し込んだ状態でセットしてください。



※製品名のある面を左側にして、まっすぐにセットします。
※複数のメモリーカードを同時に使用することはできません。

(イラストは機種や状況により異なります)

重要




- ▶ 書き込み禁止の状態のメモリーカードにファイルの書き込みや削除を行った場合、エラーメッセージの表示に時間がかかることや、メモリーカードの内容の一部が正しく表示されないことがあります。その場合は、書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。
- ▶ Windows が起動している状態でデジタルカメラで撮影した写真が入ったメモリーカードを差し込むと、写真データを取り込むためのアプリ「マイフォト」が自動的に起動します。



■メモリーカードを取り出す

重要

- ▶ ダイレクト・メモリスロットからメモリーカードを取り出す場合は、次のことに注意してください。
 - ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
 - ・メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
 - ・ダイレクト・メモリスロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
 - ・必ずメモリーカードを一度押して、少し飛び出した状態にしてから引き抜くようにしてください。そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

- 1 メモリーカードにアクセスしていないことを確認します。
ファイルのコピー、移動、削除などが終了していることを確認してください。

- 2 デスクトップ画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたまたは（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックします。

メモリーカードによっては、または（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧ください。

- 3 「nnn の取り出し」をクリックします。
nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。
- 4 「nnn はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。
メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。飛び出したメモリーカードを引き抜きます。
- 5 インターフェースカバーを付けます。

周辺機器の取り扱い

メモリなどの周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。



▶ 周辺機器とは

メモリ、プリンター、デジタルカメラなど、パソコン本体に取り付ける装置の総称です。

警告



- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

●周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

●周辺機器に添付のドライバーがお使いのWindowsに対応しているか確認してください

お使いになる周辺機器のドライバーがお使いのWindowsに対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いのWindowsに対応したものをご用意ください。

●一度に取り付ける周辺機器は1つだけにしてください

一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

●コネクタの向きを確認してください

周辺機器を接続する場合は、まっすぐに接続してください。

●マイク端子／ヘッドホン端子／ラインイン端子／ラインアウト端子への接続について

次のような場合には、あらかじめ音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンは使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

- ・パソコン本体の電源を入れるとき、切るとき
- ・マイク端子、ヘッドホン端子、ラインイン端子、およびラインアウト端子にケーブルを接続するとき

●周辺機器の電源について

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

●パソコン本体前面に周辺機器を取り付ける場合、インターフェースカバーは取り外した状態でお使いください

メモリーカードなどをセットした状態で無理に取りつけようとすると、メモリーカードが破損するおそれがあります。

■パソコン本体内部に取り付ける場合の注意

●パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください

パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。安全のため、マニュアル内に電源プラグを抜くように指示がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコン本体の電源の切り方については、「Windowsを終了する」(→ P.68)をご覧ください。

●電源を切った直後は作業をしないでください

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。

●フット（設置台）を取り外した後は、柔らかい布の上などで作業してください

固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

●内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください

傷を付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

●静電気に注意してください

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体にたまった静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れるなどして静電気を放電してください。

●基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

●ドライバーを用意してください

パソコン本体の本体カバーや金具などの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。

ネジ頭のサイズに合った2番のドライバーをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジ頭をつぶすおそれがあります。

本体カバーを取り外す／取り付ける

メモリなどパソコン内部に周辺機器を取り付ける場合に必要な本体カバーの取り外し方と取り付け方について説明します。

⚠ 警告



- 本体カバーの取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・けが・火災または故障の原因となります。



- 本体カバーを開ける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらくたってから本体カバーを開けてください。

落雷が起きた場合に感電の原因となります。



- 取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- 本体カバーの取り付けや取り外しおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が機器から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

⚠ 注意

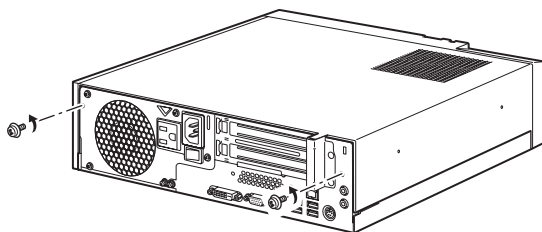
- 本体カバーの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。
- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

Point

- ▶ 本体カバーを取り外す／取り付けるときの注意
周辺機器を取り付けるときは、フット（設置台）を取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

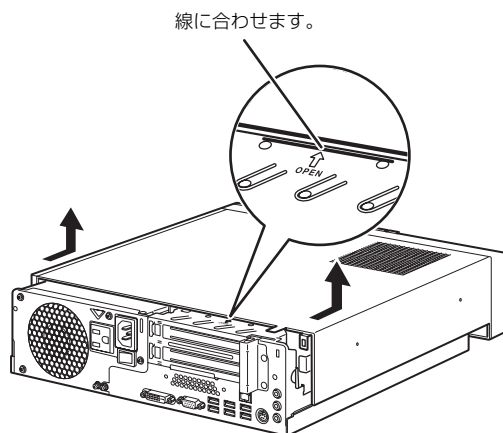
本体カバーを取り外す

- 1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
電源を切った直後は、パソコン本体内部が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。
- 3 パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。
- 4 フット（設置台）をパソコン本体から取り外し、横置きにします。
- 5 パソコン本体背面のネジ（2ヶ所）をプラスのドライバーで回して外します。



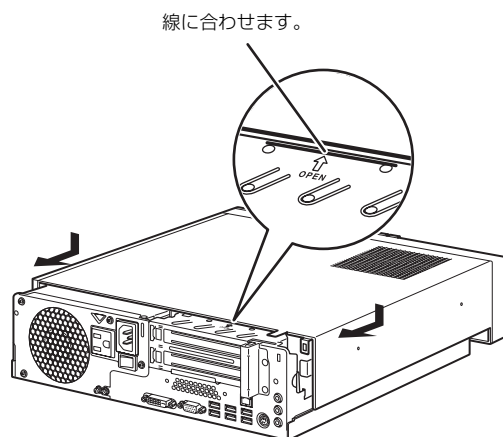
（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

- 6 本体カバーを矢印の方向にスライドさせ、まっすぐ上に持ち上げ、取り外します。
お使いの機種により、本体カバーの取り外しが硬く感じる場合があります。



本体カバーを取り付ける

- 1 本体カバーを矢印の方向に取り付けます。
本体カバーをまっすぐに下ろし、パソコン本体背面に向けてつきあたるまでスライドさせ、最後までしっかりと押し込んでください。

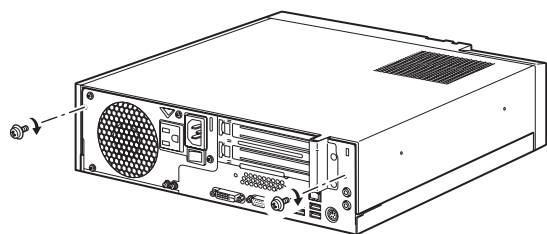


（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

重要

- ▶ 本体カバーを取り付けるときの注意
本体カバーをスライドさせるときに、パソコン本体と本体カバーの間に指やケーブルなどの部品をはさまないように注意してください。けがをしたり、故障の原因となります。

- 2 パソコン本体背面のネジ（2ヶ所）をプラスのドライバーで回して取り付けます。



- 3 フット（設置台）を取り付けます。
- 4 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。
- 5 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。
- ディスプレイの電源プラグは、パソコン本体のアウトレットに接続してください（AMD Radeon HD 7570 搭載機種で DisplayPort コネクタ接続時を除く）。

メモリ

メモリの組み合わせを確認する

■ご購入時のメモリの組み合わせ

ご購入時に搭載されているメモリ容量は、次の表のとおりです。

ご購入時に選択したメモリ容量	総容量	メモリスロット [注]			
		1	2	3	4
32GB	32GB	8GB	8GB	8GB	8GB
16GB	16GB	4GB	4GB	4GB	4GB
8GB	8GB	4GB	—	4GB	—
4GB	4GB	4GB	—	—	—
2GB	2GB	2GB	—	—	—

注：パソコン本体の外側のメモリスロットから 1、2、3、4 とします。

■メモリの組み合わせ

お使いの機種によっては、メモリ容量を増やして、パソコンの処理能力などを上げることができます。メモリを交換する場合は、次の表のように組み合わせてください。

この表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しないことがあります。

総容量	メモリスロット [注]			
	1	2	3	4
32GB	8GB	8GB	8GB	8GB
16GB	4GB	4GB	4GB	4GB
8GB	4GB	—	4GB	—
4GB	4GB	—	—	—

注：パソコン本体の外側のメモリスロットから 1、2、3、4 とします。

重要

- ▶ 同じメモリを同じ色のメモリスロットに取り付けるようにしてください。

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

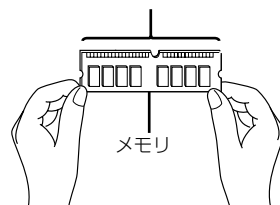


- 取り外したメモリは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
お子様が手を触れたり、口に入れると、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。

- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてからメモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のように両手でふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

この部分には手を触れないでください。



- メモリを取り付けるときは、フット（設置台）と本体カバーを取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

必要なものを用意する

■メモリ

このパソコンに取り付けられるメモリについては、富士通ショッピングサイト「WEB MART」の「周辺機器」(<http://www.fujitsu-webmart.com/>)をご覧ください。ご購入元にお問い合わせください。

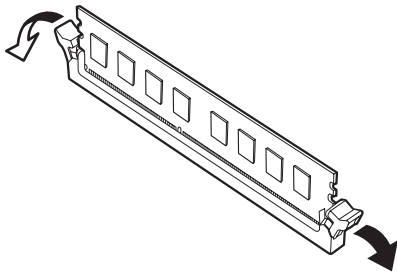
■プラスドライバー（ドライバーサイズ：2 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジ頭のサイズに合った2番のドライバーをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジ頭をつぶすおそれがあります。

メモリの交換方法

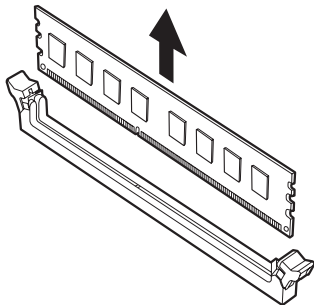
「メモリの取り扱い上の注意」(→ P.99) をご覧になり、作業を進めてください。

- 1 本体カバーを取り外します(→ P.97)。
- 2 メモリ容量の組み合わせを確認します(→ P.98)。
- 3 すでに搭載されているメモリを取り外す必要がある場合は、取り外すメモリが差し込まれたメモリスロットの両側のレバーを外側に開きます。メモリを取り外す必要がない場合は、手順5に進んでください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

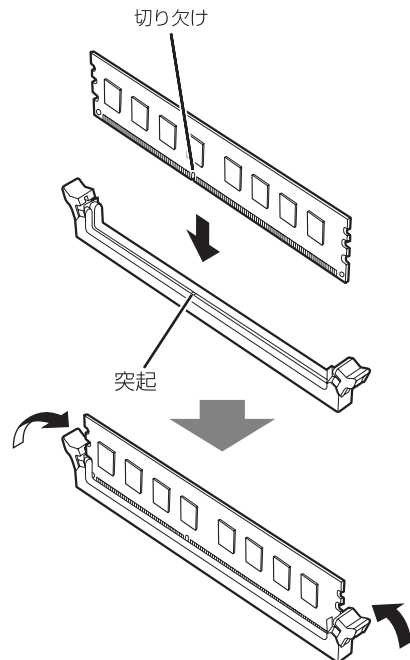
- 4 周囲の部品に当たらないように注意しながら、メモリを上引き抜きます。



- 5 新しいメモリをメモリスロットに取り付けます。

両手でメモリのふちを持って、メモリの欠けている部分と、メモリスロットの突起の位置が一致する向きにして、周囲の部品に当たらないように注意しながら、メモリスロットの上からまっすぐ下に差し込んでください。

メモリを差し込む場所は、「メモリの組み合わせを確認する」(→ P.98) をご覧ください。



メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。

- 6 本体カバーを取り付けます(→ P.97)。

続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。

必ず、本体カバーを取り付けてから確認してください。

1 パソコン本体の電源を入れます (→ P.66)。



- ▶ Windows が正常に起動しない場合
メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。
その場合は、パソコン本体の電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 「すべてのアプリ」画面を表示します。



3 「コントロールパネル」をクリックします。

4 「システムとセキュリティ」をクリックします。

5 「システム」をクリックします。

6 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

7 をクリックします。

拡張カード

拡張カードは、パソコン本体内部の空いている「拡張スロット」に取り付けます。

取り付けられる拡張カード

拡張カードには、いくつかの規格があります。このパソコンでは、次の拡張カードがお使いになれます。

■「PCI Express x16 (ピーシーアイエクスプレス x16)」という規格に対応したグラフィックカード

●取り付け可能なサイズ

外形寸法(W × D): 111.1mm × 178.0mm 以下
厚み(表面: ヒートシンクやファンのある面):

14.4mm 以下

厚み(裏面): 2.6mm 以下

グラフィックカードの左側(板金の折り曲げ部分)から 13 ~ 101.5mm の範囲外にコネクタなどがある場合は、このパソコンに取り付けられなかったり、コネクタを使用できないことがあります。

●最大消費電力が 35W 以下のグラフィックカードのみ増設することができます。

●AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合は、すでにグラフィックカードが搭載されています。

■「PCI Express x1 (ピーシーアイエクスプレス x1)」という規格に対応した拡張カード

●取り付け可能なサイズ

外形寸法(W × D): 111.1mm × 178.0mm 以下
厚み(表面): 14.4mm 以下

厚み(裏面): 2.6mm 以下

カードの左側(板金の折り曲げ部分)から 13 ~ 101.5mm の範囲外にコネクタなどがある場合は、このパソコンに取り付けられなかったり、コネクタを使用できないことがあります。

●最大消費電力が 10W 以下のカードのみ増設することができます。

必要なものを用意する

■上記の規格の拡張カード

お使いの目的に合わせてご用意ください。

■拡張カードのドライバ

拡張カードによっては、添付されていないこともあります。

■拡張カードのマニュアル

拡張カードによって設定方法が異なります。必ず拡張カードのマニュアルもご覧ください。

■プラスドライバー

ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

拡張カードの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- 拡張カードの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠ 注意



- 拡張カードの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。

けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- 拡張カードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。拡張カードを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

- 拡張カードを取り付けるときは、拡張カードが拡張スロットに完全に差し込まれていることを確認してください。

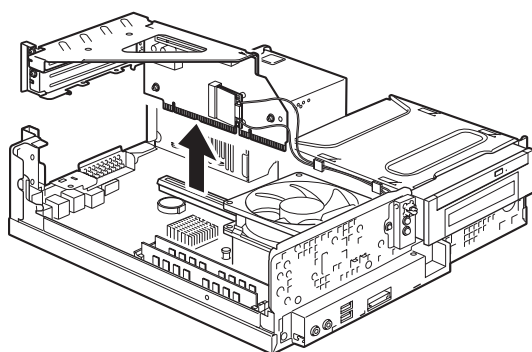
- 完全に差し込まれていないと、拡張カードのドライバのインストールが正常に行われなかったり、故障の原因となることがあります。

- 拡張カードを取り付けるときは、拡張カードの金具またはスロットカバーが、窓部の帯状の金具を完全にはさみこんでいることを確認してください。

- 拡張カードを取り付けるときは、フット（設置台）と本体カバーを取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

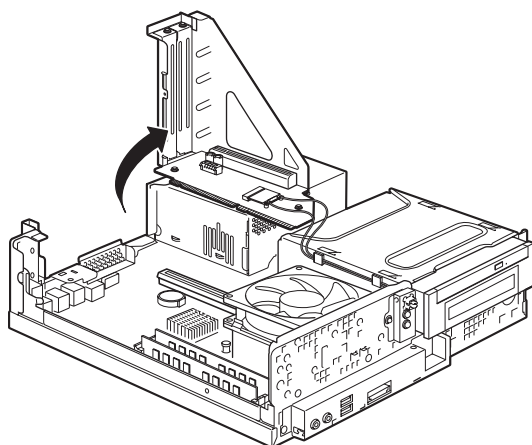
拡張カードを取り付ける

- 1 本体カバーを取り外します。(→ P.97)
- 2 拡張カード取り付け金具を真上にまっすぐ引き抜きます。
 - ・ 無線LAN・Bluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種の場合
無線LAN・Bluetoothワイヤレステクノロジーのモジュールについている線が外れないように引き抜いてください。
 - ・ HDMI インターフェイス (HDMI 出力端子) 搭載機種の場合
HDMI インターフェイスのケーブルが外れないように引き抜いてください。



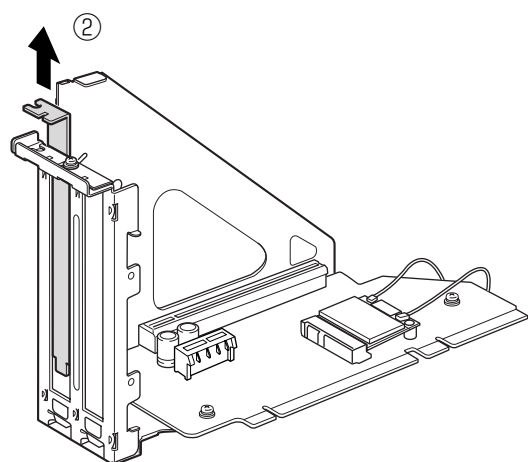
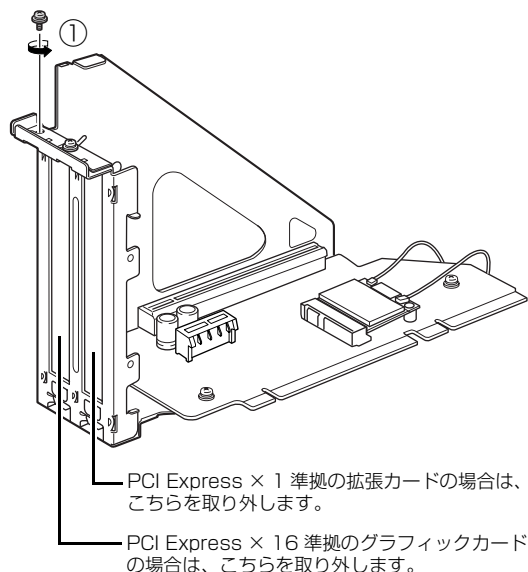
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

- 3 拡張カード取り付け金具を次のように置きます。



- 4 拡張スロットを確認します。(→ P.57)

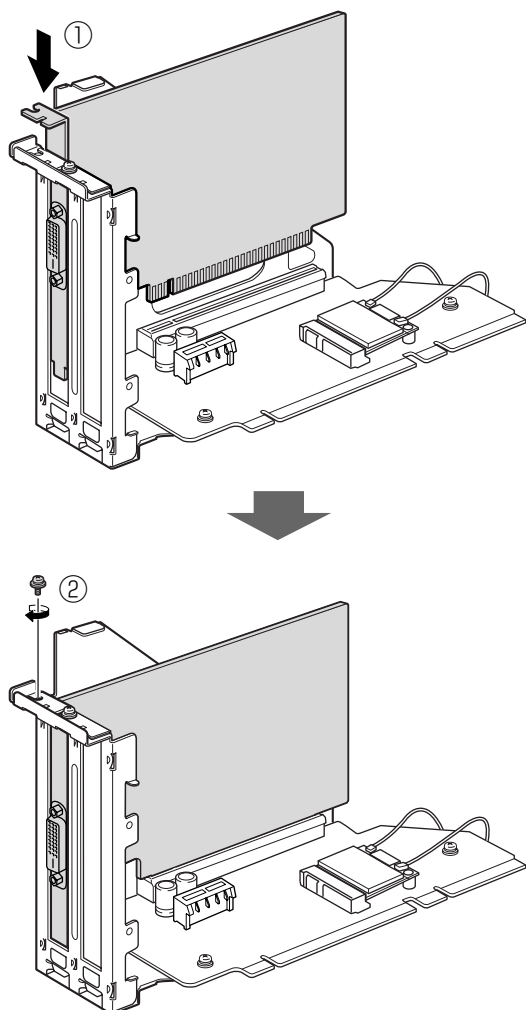
- 5 ①スロットカバーを固定しているネジを外し、
②スロットカバーを取り外します。



重要

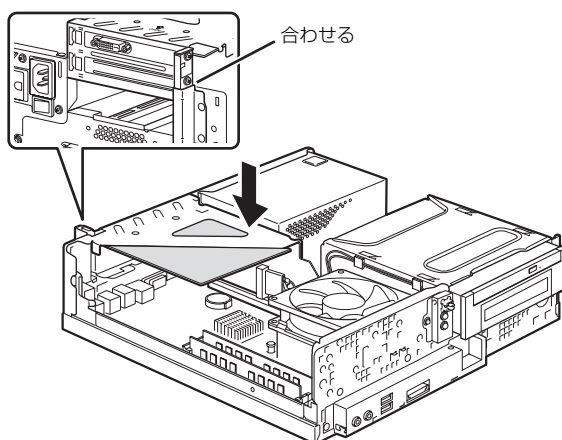
- ▶ 取り外したスロットカバーは大切に保管してください。

- 6** ①拡張カードを真上から奥まで押し込み、②ネジを締めて拡張カードを固定します。



- 7** 拡張カード取り付け金具をパソコン本体に取り付けます。

拡張カード取り付け金具とパソコン本体の突起部分を合わせ、真上から奥まで差し込みます。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

Point

- ▶ 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載機種の場合
無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジーのモジュールについている線をはさみこまないように注意してください。
- ▶ HDMI インターフェース (HDMI 出力端子) 搭載機種の場合
HDMI インターフェースのケーブルをはさみこまないように注意してください。


- 8** 本体カバーを取り付けます (→ P.97)。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載機種

Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは

Bluetoothワイヤレステクノロジーとは、ヘッドセットやモデム、携帯電話などの周辺機器や他のBluetoothワイヤレステクノロジー搭載のパソコンなどに、ケーブルを使わず電波で接続できる技術です。Bluetoothワイヤレステクノロジーについては、次のマニュアルもあわせてご覧ください。

 **Web**『補足情報』


重要

- ▶ Bluetoothワイヤレステクノロジーをお使いになる場合は、セキュリティの設定をすることをお勧めします。
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使うための設定をする

パソコンと Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器を接続するためには、「デバイスとプリンター」を使用します。

「デバイスとプリンター」の使用方法については、「すべてのアプリ画面」の「ヘルプとサポート」をクリックして Windows のヘルプを表示し、「Bluetooth」で検索して「デバイスとプリンターを追加、表示、および管理する」▶「プリンターまたはその他のデバイスを追加するには」をご覧ください。

「すべてのアプリ」の表示方法は、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。

Point

- ▶ Bluetoothワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもあわせてご覧ください。それらのマニュアルに設定方法が記載されている場合は、そちらの手順に従って設定してください。

お手入れ

このパソコンを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

警告



- お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



- 清掃のときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障・火災の原因となります。

パソコン本体やキーボードのお手入れ

重要

- ▶ 次のものは使わないでください。
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いものや、化学ぞうきん、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
 - ・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。

●パソコン本体内部や通風孔、フット（設置台）について

- ・ほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
- ・掃除機を使ってほこりを吸い取ってください。
- ・詳しくは「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.106）をご覧ください。

●パソコン本体やディスプレイ（ディスプレイ添付機種のみ）、マウス、キーボードなどの汚れを取る場合

- ・乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- ・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、パソコン本体やディスプレイ（ディスプレイ添付機種のみ）、マウス、キーボードに水が入らないよう充分注意してください。

●キーボードのキーとキーの間のほこりなどを取る場合

- ・ゴミを吹き飛ばすのではなく、筆のような先の柔らかいものを使ってゴミを取ってください。ゴミを吹き飛ばすと、キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。
- ・掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイ添付機種のみ

- 液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイの画面部分は、水および中性洗剤を使わないでください。
- 市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨剤を含んだもの

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。

拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベルなどをご覧ください。

パソコン本体内部や通風孔のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。

ほこりの堆積量は、お客様の環境によって異なります。次の清掃方法に従って、1ヶ月に1度程度掃除してください。

■必要なものを用意する

- 掃除機
- 綿手袋
- プラスドライバー（ドライバーサイズ：2番）
このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジ頭のサイズに合った2番のドライバーをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジ頭をつぶすおそれがあります。

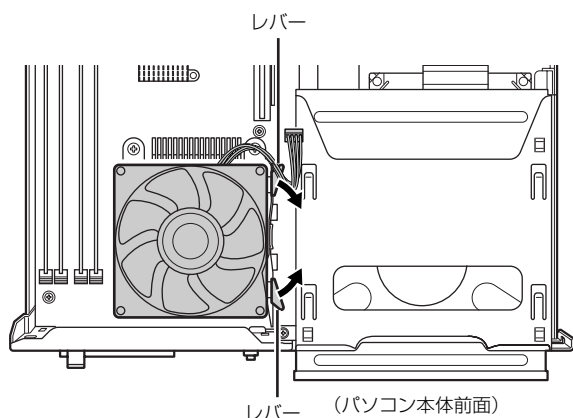
■清掃方法

□パソコン本体のお手入れをするうえでの注意

- 十分に換気してください。
清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、十分に換気してください。
- 本体カバーやCPUファンを取り外すときは、指をはさまないように気をつけてください。また、CPU付近は高温になりますので、電源を切った後、10分以上たってから作業をしてください。やけどをするおそれがあります。
- パソコン本体内部の部品には触れないでください。
故障の原因となりますので、CPUファンの羽根およびその他のパソコン本体内部の部品には極力手を触れないでください。
また、掃除機の吸引口をパソコン本体内部の部品に当てないでください。
- 洗剤は使用しないでください。
- エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- 清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。
- 静電気を放電してください。
パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、掃除機の吸引口や人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れたり、掃除機の吸引口先端に触れさせたりして、静電気を放電してください。

□パソコン本体内部の清掃方法

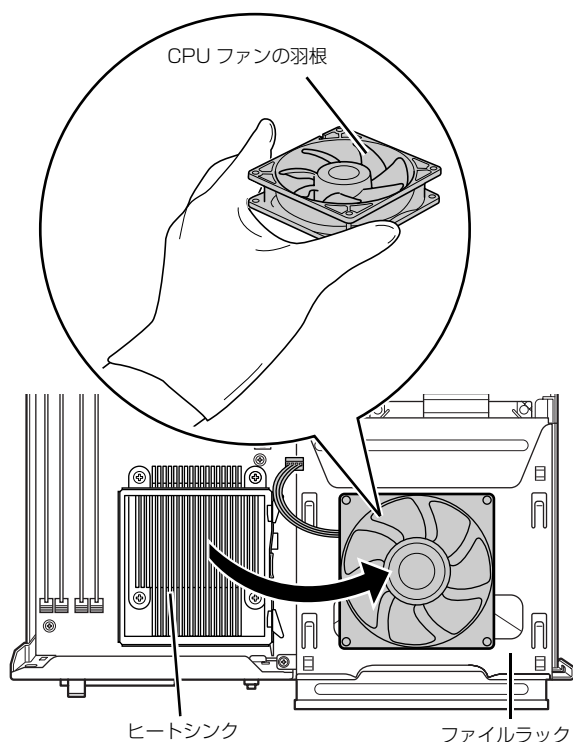
- 1 本体カバーを取り外します（→ P.97）。
- 2 CPU ファンの両側のレバー（2ヶ所）を図の矢印の方向に引きます。
CPU ファンを固定しているロックが外れます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

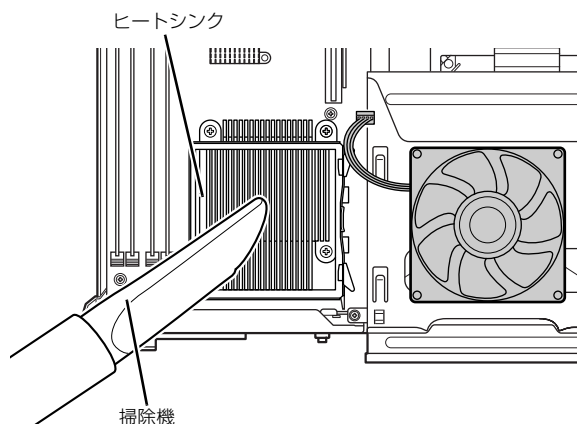
- 3 CPUファンの外枠のフレームを持って、CPUファンをヒートシンクから取り外し、ファイルラックの上に置きます。

CPU ファンを持つときは、CPU ファンの羽根に触れないようにしてください。
また、CPU ファンのケーブルが抜けないように注意してください。

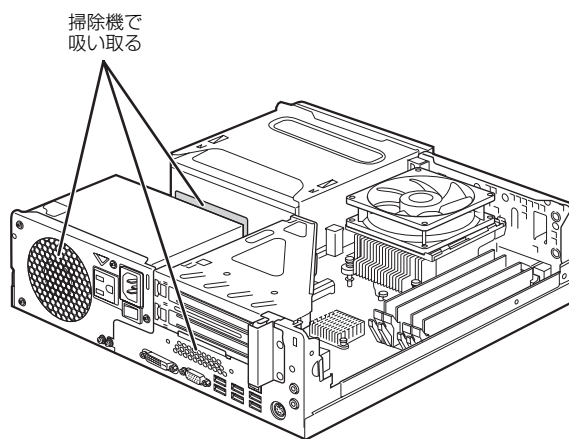


- 4 掃除機でヒートシンク上のほこりを直接吸い取ります。

ヒートシンクに掃除機の吸引口を強くぶつけたり、綿棒やつまようじを使ってほこりを取ったりしないでください。ヒートシンクが変形する可能性があります。



続いて、電源ユニットやヒートシンク周辺のほこりを掃除機で吸い取ります。

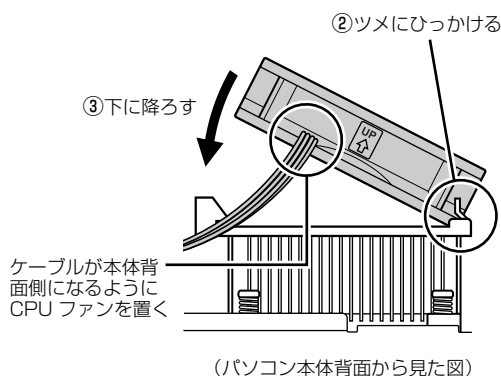


重要

- ▶ 故障の原因となりますので、ヒートシンク周辺の電気部品には触れないようにご注意ください。

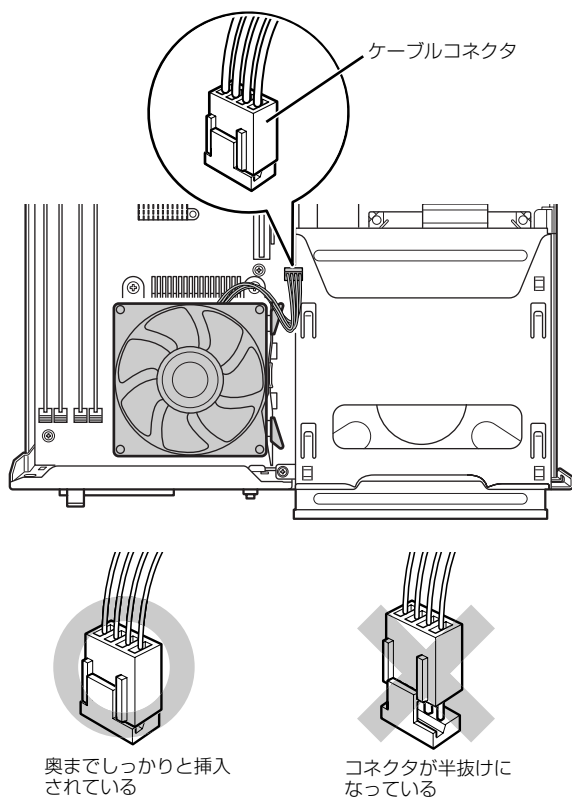
5 CPU ファンを、ヒートシンクの上に置きます。

1. ラベルがない面を表側に向けます。
2. ヒートシンクのツメ (2ヶ所) に CPU ファンのフレームを差し込みます。
3. CPU ファンを下に降ろします。
CPUファンを降ろすときにケーブルをはさんでいないことを確認してください。



6 CPU ファンのケーブルコネクタが外れていないことを確認します。

少しでも外れている場合は、「CPU ファンのケーブルコネクタが外れている場合」(→ P.108) をご覧になり、しっかり取り付けてください。



7 本体カバーを取り付けます (→ P.97)。

8 パソコン本体の電源を入れ、Windows が起動することを確認してください (→ P.66)。

Point

- ▶ CPU ファンのケーブルコネクタが外れていたり半抜けになっていると、パソコンの電源を入れたときに、画面にメッセージが表示されることがあります。また、CPU ファンがしっかりと固定されていない場合は、パソコン本体から異常な音が発生することがあります。

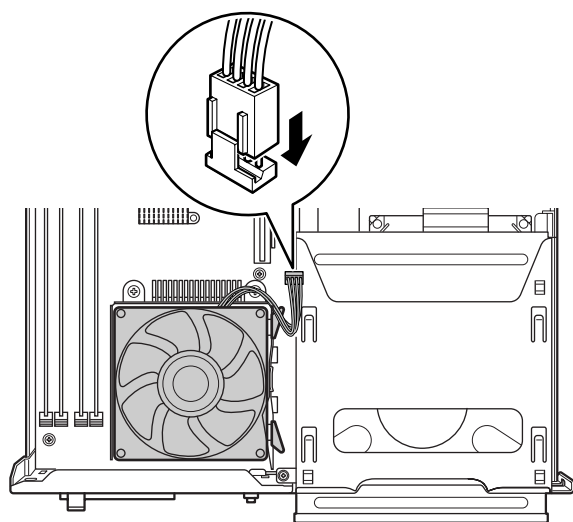
このような場合は、パソコン本体の電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、本体カバーを取り外してください。その後、CPU ファンやケーブルコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。

それでもメッセージが表示されたり、異常な音が発生し続けたりする場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

□CPU ファンのケーブルコネクタが外れている場合

ヒートシンクのお手入れをしている途中で CPU ファンのケーブルコネクタが少しでも外れてしまった場合は、しっかり取り付けてください。

1 CPUファンのケーブルコネクタの向きに注意して、まっすぐ奥まで挿入します。



この後は、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」(→ P.106) の手順 7 へ進んでください。

■「お手入れナビ」について

このパソコンには、パソコン本体のお手入れ時期を通知するアプリ「お手入れナビ」がインストールされています。「お手入れナビ」は、定期的にパソコン本体のお手入れ時期を通知したり、パソコン本体内部や通風孔などにほこりがたまっている可能性があるときにお手入れ時期を通知したりします。なお、このパソコンご購入時には、定期的な通知が無効になっています。


ここでは、次の内容について説明します。

- 定期的なお手入れ時期の通知を有効にする方法
- 「お手入れナビ」が表示するメッセージと、メッセージが表示されたときの対処方法

ほこりの堆積量は、お使いの環境によって異なります。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」(→ P.106) をご覧になり、1ヶ月に1程度程度掃除してください。

□定期的なお手入れ時期の通知を有効にする


定期的に「お手入れナビ」からお手入れ時期がきたことを通知させる場合は、次の操作をしてください。





- 1 スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 「お手入れナビの設定」をクリックします。
「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。



(画面は機種や状況により異なります)

□「お手入れナビ」が表示するメッセージと、その対処

- 「パソコンの内部や通風孔のお手入れの時期が来ました。」という画面が表示された場合
定期的なお手入れ時期がくると、画面右上に「お手入れの時期が来ました。」という画面が表示されたり、デスクトップ画面右下の通知領域に  (DustSolution) が表示されたりします。この場合は、次の手順で操作してください。

- 1 作業中のデータを保存し、アプリを終了します。
- 2 デスクトップ画面右下の通知領域に  (DustSolution) が表示されている場合は、  (DustSolution) をクリックします。
- 3 「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」をクリックします。
「大切なお知らせ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「今すぐお手入れをする」の  をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。
「お手入れの手順」ウィンドウが表示されます。
- 5 画面のメッセージをよく読んでから、「今すぐ清掃をする」をクリックします。
パソコン本体の電源が切れたら、パソコン本体のお手入れをしてください (→ P.106)。

- 警告メッセージが表示された場合
パソコン本体内部や通風孔にほこりがたまっていたり、パソコン本体の通風孔をふさいでいる可能性がある場合や、パソコン本体内部のファンが正しく動作していない場合に、次の警告メッセージが表示されます。

- ・「パソコン内部の空気の流れがさえぎられ、高温になっています。」
- ・「パソコンのCPUファンが正しく動作していません。」
- ・「パソコンの System ファンが正しく動作していません。」

警告メッセージが表示された場合は、作業中のデータを保存し、アプリを終了してから、画面の指示に従って操作してください。




ディスプレイに関する Q&A

20 型／ 24 型ワイド液晶ディスプレイを選択した場合のみ












このパソコンに添付の液晶ディスプレイのご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。次の表に「参照先」が記載されている場合は、該当する項目もご覧ください。









問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」のご利用については、「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.148) をご覧ください。




画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルをディスプレイの電源コネクタとパソコン本体のアウトレットに正しく奥まで確実に接続してください。 AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合、ディスプレイを DisplayPort コネクタに接続するときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。	「ディスプレイを接続する」(→ P.30) 「Windows のセットアップをする」(→ P.33)
	ディスプレイの電源が入っていない。	電源を入れてください。	「Windows をスタートする」(→ P.66)
	パソコンが省電力状態になっている。	パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	 Web『補足情報』
24 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、電源ランプがオレンジ色に点灯しており、メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される 20 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、電源ランプがオレンジ色に点灯している	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	 Web『補足情報』
	ディスプレイがパソコン本体に正しく接続されていない。	ディスプレイとパソコン本体を正しく接続してください。	「ディスプレイを接続する」(→ P.30)
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない 場合によっては次のメッセージも表示される 「規定外の信号です」 「入力信号がありません」	入力が切り換わっている。	入力切り換えを行ってください。	 Webディスプレイのマニュアル
	ディスプレイがパソコン本体に正しく接続されていない。	ディスプレイとパソコン本体を正しく接続してください。	「ディスプレイを接続する」(→ P.30)





画面がおかしい


症状	考えられる原因	対処方法	参照先
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	 Webディスプレイのマニュアル
画面が暗くなった (24 型ワイド液晶ディスプレイの場合)	LEDエコモードが「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、LED エコモードを「オフ」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	明るさセンサーが何かに覆われている。	明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。	「液晶ディスプレイ」(→ P.58)
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	表示解像度(モード)が本製品の推奨解像度(モード)より小さい解像度(1024 × 768 など)で使用されており、エコブートが動作している。	エコブートをオフにしてください。	 Webディスプレイのマニュアル
	液晶パネル内部のLED が長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.148)
画面が暗くなった (20 型ワイド液晶ディスプレイの場合)	LEDエコモードが「ECOモードオン」になっている。	ECO ボタンを押して、LED エコモードを「ECO モードオフ」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	液晶パネル内部のLED が、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.148)
	ACR 機能が「オン」になっている。	ACR 機能を「オフ」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
推奨解像度(モード)より小さい解像度(モード)を設定しているも、エコブート機能が働かない (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	パソコンによっては、推奨解像度(モード)より小さい解像度(モード)を設定した場合、推奨解像度(モード)に拡大して出力される場合があります。	メニュー画面の「情報表示」で、解像度(モード)を確認してください。推奨解像度(モード)になっている場合、エコブート機能はお使いになれません。	 Webディスプレイのマニュアル
画面いっぱいに表示されない (24 型ワイド液晶ディスプレイの場合)	ワイド画面切替が「ノーマル」になっている。	ワイド画面切替を「ワイド」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
画面いっぱいに表示されない (20 型ワイド液晶ディスプレイの場合)	拡張設定が「アスペクト比を固定」になっている。	拡張設定を「フルスクリーン」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	LEDエコモードが「インテリジェントオート」、または画質モードが「写真、動画モード」に設定されている。	モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	 Webディスプレイのマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
画面の縦横比が崩れてしまう	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。(24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	拡張設定が「フルスクリーン」になっている。(20 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	拡張設定を「アスペクト比を固定」に設定してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	パソコン本体の設定が標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度(モード)に設定してください。	 Web『補足情報』
	パソコンの設定が720×400の解像度(モード)になっている。	このパソコンで表示できる解像度(モード)に変更してください。	 Web『補足情報』
ワイド画面切換が選択できない (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	パソコンの設定が、ワイド画面切換できない解像度(モード)になっている。	パソコン本体の設定を、標準表示仕様の解像度(モード)にしてください。ただし、次の解像度(モード)は除きます。 1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400	 Web『補足情報』
次のメッセージが表示される 24型ワイド液晶ディスプレイの場合は「サポート外のモードです」 20型ワイド液晶ディスプレイの場合は「規定外の信号です」	ディスプレイに適切な信号が入力されていない。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	 Web『補足情報』
画面が消えることがある	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルをディスプレイの電源コネクタとパソコン本体のアウトレットに正しく奥まで確実に接続してください。 AMD Radeon HD 7570 搭載機種の場合、ディスプレイをDisplayPort コネクタに接続するときは、ディスプレイ用電源ケーブルをパソコン本体背面のアウトレットに接続せず、コンセントに接続してください。	「ディスプレイを接続する」(→ P.30) 「Windows のセットアップをする」(→ P.33)
・文字の太さが場所によって異なる ・画面の内容が大きくぼけて表示される	1920×1200よりも低い解像度(モード)になっている。(24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面設定」で解像度(モード)を1920×1200に設定してください。	 Web『補足情報』
	1600×900よりも低い解像度(モード)になっている。(20型ワイド液晶ディスプレイのみ)	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面の設定」で解像度(モード)を1600×900に設定してください。	 Web『補足情報』







症状	考えられる原因	対処方法	参照先
動画再生や画面の切り替え時に画面階調が変わる (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	画質モードが「動画モード」に設定されている。	他の画質モードに設定するか、動画を全画面でご覧ください。	 Webディスプレイのマニュアル
電源投入直後やパソコンの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	点灯したままの点や黒い点が見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	—
画面を切り替えても前の像がうすく残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	パソコン本体の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は約 1 日で自然に消えます。像が残らないようにするには、スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある (もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	パソコン本体の電源をいったん切り、その後電源を入れてください。	「Windows をスタートする／終了する」 (→ P.66)
画面がちらつく (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	 Webディスプレイのマニュアル
	LEDエコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	LED エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	 Webディスプレイのマニュアル

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される (24 型ワイド液晶ディスプレイのみ)	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを 3 秒以上 (メニュー画面が表示されるまで) 押し続け、ボタンロックを解除してください。	 Webディスプレイのマニュアル
24 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「失敗しました。マニュアルをごらんください」 20 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、AUTO ボタンで自動調整ができない	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	 Webディスプレイのマニュアル
24 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」 20 型ワイド液晶ディスプレイの場合は、AUTO ボタンで自動調整ができない	標準表示仕様以外の解像度 (モード) になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度 (モード) を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に変更してください。	 Webディスプレイのマニュアル  Web『補足情報』

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
24型ワイド液晶ディスプレイの場合は、メニュー画面の自動調整が選択できない 20型ワイド液晶ディスプレイの場合は、AUTO ボタンで自動調整ができない	デジタル入力でパソコンと接続している。	デジタル入力でパソコンと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	 Webディスプレイのマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	 Webディスプレイのマニュアル
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、ディスプレイの－／＋ボタン（音量ボタン）またはスピーカーボタンを押して適切な音量に調整してください。	「液晶ディスプレイ」(→ P.58)
	画面の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	「音量」(→ P.84)
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に  と表示されている）。	 を押しながら、  を押して  にしてください。	「音量」(→ P.84)
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	 Webディスプレイのマニュアル
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルがしっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「ディスプレイを接続する」(→ P.30)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

このパソコンには、次の機能が搭載されています。

これらの機能を使うと、パソコンをもっと便利に活用することができます。

- 「My Cloud」(→ P.115)
- 「マイミュージアム」(→ P.116)
- 「F-LINK (ケータイ連携機能)」(→ P.117)
- 「Skype」(→ P.118)
- 「搭載されているアプリを使う」(→ P.118)
- 「Web かんたんログイン (OmniPass)」(→ P.119)
- 「自動サインイン設定」(→ P.120)

My Cloud

My Cloud とは

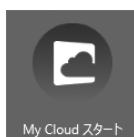
My Cloud [マイクラウド] は、パソコンを使って日常の生活をもっと楽しく便利にする、富士通の新しい機能とサービスのご提案です。

My Cloud で使える機能には次のようなものがあります。

●My Cloud スタート

パソコンに取り込んだ写真、ビデオ、音楽データを一元管理することができます。

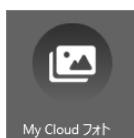
写真やビデオを選んでアルバムを作ったり、富士通が運営するクラウドサービス「My Cloud ライブラリー」に写真をアップロードしたりすることができます。



●My Cloud フォト

パソコンに取り込んだ写真をイベントごとに分類したり、カレンダー表示したりして見やすく閲覧することができます。

また、「My Cloud ライブラリー」に写真をアップロードすれば、スマートフォンやタブレット端末を使って、いつでもどこでも写真の閲覧・編集が可能になります。



●My Cloud ビデオ 2

ご家庭のパソコンやレコーダーに保存した動画やテレビ番組をまとめて管理し、ネットワーク経由で再生することができます。

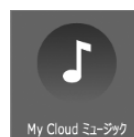
※ご利用いただくには最新版へのアップデートが必要です。



●My Cloud ミュージック

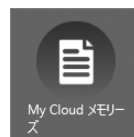
パソコンに保存した音楽データやご家庭のネットワーク上にある機器の音楽データを再生することができます。

また、インターネット・ラジオ・サービス「Aupeo! (オーペオ)」で音楽を楽しむことができます。



●My Cloud メモリーズ

写真とメモを登録して、日々の出来事や思い出を「My Cloud ライブラリー」へ保存することができます。スマートフォンやタブレット端末を使えば、外出先からも登録・編集が行えます。



Point

- ▶ 一部の機能は Windows ストアでアップデートすることができます。スタート画面で「ストア」▶「更新プログラム」の順にクリックし、表示される画面に従ってアップデートを行ってください。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「3510-1584」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

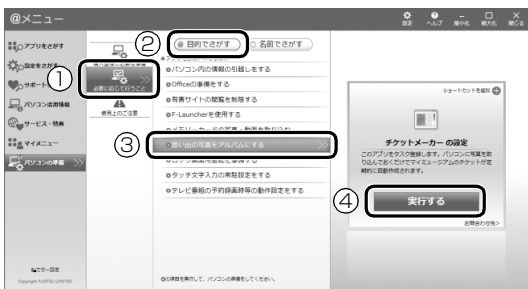
マイミュージアム

マイミュージアムは、パソコンに写真を取り込むだけで、季節やイベントに応じたアルバムが自動で作成される機能です。

マイミュージアムの初期設定

マイミュージアムを初めてお使いになるときは、チケットメーカー（アルバムが作成されるとチケットが自動的に発行される機能）の設定が必要です。次の手順で設定を行ってからお使いください。

- 1 スタート画面で「パソコンの準備」をクリックします。
- 2 次の画面の操作をします。



- ①「必要に応じて行うこと」をクリックします。
 - ②「目的で探す」をクリックします。
 - ③「思い出の写真をアルバムにする」をクリックします。
 - ④「実行する」をクリックします。
- 3 スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
 - 4 「マイミュージアム」をクリックします。
これで初期設定は完了です。

マイミュージアムの使い方

- 1 スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

- 2 「マイミュージアム」をクリックします。

アルバムが作成されると、そのアルバムを見るためのチケットが発行され、「新しいチケット」に表示されます。

発行されたチケット



チケットをクリックすると、スライドショーが始まります。

Point

- ▶ マイミュージアムの初期設定を行うと、一日に一度チケット作成が行われ、作成条件にあった場合にマイミュージアムにチケットが発行されるようになります。
- ▶ アルバムは「ライブラリ」内の「ピクチャ」フォルダーにある写真を対象に作成されます。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「4609-7936」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.142）。

F-LINK（ケータイ連携機能）

F-LINK とは

F-LINK は、ネットワークを使ってパソコンやスマートフォン／タブレット端末／携帯電話間でデータのやり取りができる富士通独自の技術です。ケーブルを接続したり、媒体を用意したりする必要がなく、ワイヤレスで手軽にデータの転送ができます。

※ この機能で「ケータイ」と表記する場合、スマートフォン／タブレット端末を含みます。



F-LINK を使うと、次のようなことができます。

- 携帯機器内の写真、動画などのデータや、歩数・活動量を自分のパソコンに自動で取り込みます。
- 無線 LAN 搭載 SDHC メモリーカードから、写真、動画などのデータがワイヤレスで取り込めます。
- F-LINK 対応機器同士で個別にデータのやり取りをします。

詳しい使い方については…

サポートページから Q&A ナンバー「6009-8007」を検索してください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.142）。

F-LINK をお使いになるうえでの注意

■携帯機器の対応機種について

F-LINK に対応した携帯機器については、ホームページ（<http://azby.fmworld.net/support/soft/flink/>）をご覧ください。

■注意事項

- このパソコンにあらかじめインストールされているもの以外のセキュリティ対策アプリをインストールしている場合、次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
・ F-LINK.exe
- 送受信したデータを利用するには、送信側／受信側ともにデータを利用できる環境が必要です（例：受信側に送信側と同様のアプリが搭載されていない場合、データは閲覧できません）。
なお、携帯機器によっては扱えるファイル形式やファイルサイズが異なります。携帯機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で F-LINK の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。

Skype

Skype でできること

Skype [スカイプ] ではさまざまな方法で世界中の友達、ご家族、同僚と連絡を取り合うことができます。Skype はスタート画面から起動します。

●ユーザー同士の通話

Skype のユーザー同士なら無料で通話ができます。海外の友人と無料で通話したり、複数人で同時に通話したりできます。

●インスタントメッセージやファイル送信

リアルタイムにメッセージを送受信することで、複数人と文字で会話をすることができます。また、通話中やメッセージの送受信中に必要となったファイルを転送することができます。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「2009-7938」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

搭載されているアプリを使う

このパソコンには、搭載されているデスクトップアプリを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。

やりたいことがあるけれど、どのアプリを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます。

「@メニュー」の使い方

1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

2 次の画面の操作をします。



(画面は機種や状況により異なります)

① カテゴリを選択します。

② ジャンルを選択します。

③ やりたいことを選択します。

「名前でさがす」をクリックすると、アプリの名称から探すことができます。

④ 「実行する」をクリックして、アプリを起動します。

Point

- ▶ アプリを起動する方法は他にもあります。詳しくは、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。
- ▶ このパソコンに搭載されているアプリの一覧は、富士通製品情報ページ (<http://www.fmwworld.net/fmv/>) に掲載されています。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「8107-4567」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

Web かんたんログイン (OmniPass)

Web かんたんログインとは

複数の Web サイトのログイン ID やパスワードを 1 つの暗証キーで管理できます。

暗証キーは「数字」、「色」、「動物」から 1 つを選んで、4 つのキーの組み合わせで作成することができます。

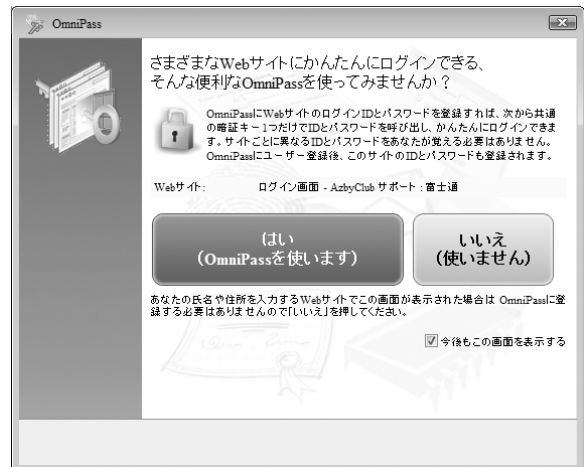


重要

- ▶ 銀行など重要な情報を扱うサイトでは本機能を使用しないでください。
- ▶ Web かんたんログインは、スタート画面から「Internet Explorer」を起動した場合はご利用になれません。
- ▶ 「Internet Explorer」をご利用時に、OmniPass のアドオン（「OmniPass Helper」）を有効にするかどうか選択するメッセージが表示された場合は、有効にするようにしてください。無効にすると、本機能を使えなくなります。
- ▶ サイトによっては、Web かんたんログインの登録画面が表示されない場合があります。

Web かんたんログインの使い方

インターネットに接続していて、特定のサイトにログインしようすると、次のような画面が表示されます。



画面の指示に従って暗証キーを作成すると、次回以降そのサイトにログインするときに、ここで作成した暗証キーを使ってログインすることができるようになります。

次回以降はサイトを登録するだけで、同じ暗証キーを使ってログインできるようになります。

Point

- ▶ Web かんたんログインを使わない場合は、上記の画面右下に表示されている「今後もこの画面を表示する」の ☒ を ☐ にして、「いいえ (使いません)」をクリックしてください。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「0309-5656」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

自動サインイン設定

自動サインイン設定とは

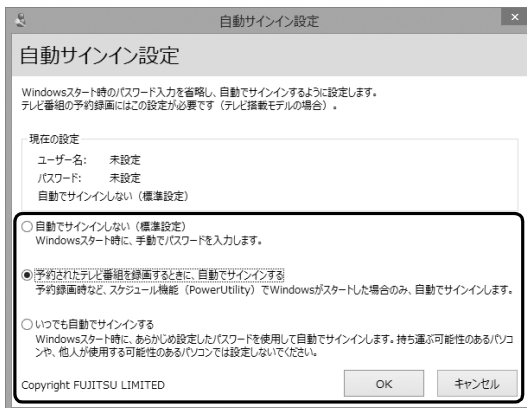
自動サインイン設定でローカルアカウントまたはMicrosoftアカウントのパスワードを設定しておく、Windowsをスタートするときに、パスワードの入力を省略します。

重要

- ▶ 本設定を行うと、Windowsのスタート時に自動でサインインします。このため、パスワードを知らない第三者に本パソコンを使用されるおそれがあります。次の条件に該当するパソコンには本設定をしないでください。
 - ・ 持ち運ぶ可能性のあるパソコン
 - ・ 他人が使用する可能性のあるパソコン
 - ・ その他、パスワードによる管理が必要なパソコン

自動サインイン設定の使い方

- 1 スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
📄『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 「自動サインイン設定」をクリックします。
- 3 お使いになる設定を選択し、「OK」をクリックします。



- 4 注意事項をよく読み、「上記の注意事項を理解したうえで、自動サインインを設定する」の☐を☑にします。
- 5 パスワードを入力し「OK」をクリックします。
- 6 「OK」をクリックします。

Point

- ▶ 自動サインイン設定を解除する場合は、手順 3 で「自動でサインインしない」を選択してください。
- ▶ 自動サインイン設定でパスワードを設定すると、設定を行ったときのアカウントで自動的にサインインするようになります。アカウントを変更したい場合は、一度自動サインイン設定を解除してから行ってください。
- ▶ 自動サインイン設定について、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。

📄Web『補足情報』

バックアップナビ

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。

このパソコンは「バックアップナビ」というバックアップツールを搭載しています。

バックアップナビの機能

2種類のバックアップ方法を組み合わせて効率的にバックアップをとります。

■日々作成するデータをバックアップ

デジタルカメラで撮った写真や、作成した文書などは定期的にバックアップしましょう。

「バックアップナビ」では、マイドキュメントやマイピクチャなどのそれぞれのユーザーが持っているフォルダーのデータを「マイデータ」と呼んでいます。「バックアップナビ」では「マイデータ」をまとめて簡単にバックアップできます。

詳しくは「マイデータ」(→ P.122) をご覧ください。

自動バックアップ

「マイデータ」を定期的にバックアップするよう設定できます。「毎日」または「週に1回」など設定しておく、忘れずにバックアップできて便利です。

●ご利用になるうえでの注意

- ・ LIFEBOOK の場合、液晶ディスプレイは開いた状態でお使いください。
- ・ テレビチューナー搭載機種およびワイヤレス TV 対応機種の場合、テレビ番組の視聴、録画中はバックアップしないでください。

このほかにも、いくつか注意していただきたい点があります。「自動バックアップの設定」のステップ2の画面に表示される「注意事項」の内容をよく読んでから設定してください。

■Cドライブをまるごとバックアップ

トラブルに備えて、パソコンが快適に使用できている状態をまるごとバックアップしましょう。

「バックアップナビ」ではCドライブをまるごとバックアップできます。パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどパソコンの設定を変更した後にバックアップすることをお勧めします。詳しくは「パソコンの状態」(→ P.123) をご覧ください。

バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■管理者アカウントでWindowsにサインインしていることを確認してください

セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。

標準アカウントでサインインしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者アカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。


■「バックアップナビ」以外のアプリはすべて終了させてください

■LIFEBOOK をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

■DドライブにバックアップしたデータはDVDなどのディスク（マイデータのみ）や外付けハードディスクなどにコピーしてください

パソコンが故障したときは、Dドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

(LIFEBOOKの約128GB SSD搭載機種は、Dドライブに「パソコンの状態」をバックアップすることができません。)

■「トラブル解決ナビ」以外で領域を変更した場合は、「バックアップナビ」はお使いになれません
市販のアプリなどでハードディスクの領域設定を行った場合は「バックアップナビ」はお使いになれません。
「バックアップナビ」を使える状態にするには、
 **Web**『補足情報』をご覧ください、「ハードディスク全体をリカバリ」を実行してください。

■このパソコンにバックアップした場合、他のパソコンには復元できません
バックアップしたデータを復元できるのは、このパソコンの C ドライブのみです。

■スリープや休止状態にしないでください
バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。パソコンを省電力状態にする操作はしないでください。

マイデータ

バックアップ／復元できる項目

- ユーザーのデータ
ライブラリなどに登録されているフォルダーのデータがバックアップされます。
- 自分で指定したフォルダー
詳しくは、バックアップ中に表示される説明、または、サポートページから Q&A ナンバー「3309-7979」を検索してご覧ください。

「マイデータ」の注意事項

- 次のデータは、バックアップできません
- 著作権保護された音楽データ、映像データ
デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- テレビ番組を録画したデータ
容量が大きいので、個別に DVD などのディスクにバックアップすることをお勧めします。

「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法

バックアップ／コピー／復元方法については、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.142）。

- マイデータをバックアップする方法「3309-7979」
- マイデータをコピーする方法「4309-7982」
- マイデータを復元する方法「0609-7981」

パソコンの状態

ハードディスクのCドライブをまるごとバックアップします。パソコンにトラブルが発生した場合、Cドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

「パソコンの状態」の注意事項

■パソコンに不具合が起きているときは、「パソコンの状態」をバックアップしないでください
「パソコンの状態」をバックアップすると、パソコンのCドライブをそのままの状態で作成するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

■保存先の容量を確認してください

「パソコンの状態」のバックアップデータは、前回のバックアップデータを上書きすることなく、バックアップするごとに新規で作成されます。Cドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、「パソコンの状態」のバックアップはできません。不要になったバックアップデータは削除してください（→P.127）。

重要

- ▶ 「パソコンの状態」をバックアップ、および復元する場合、「バックアップナビ」起動時に外付けハードディスクや USB メモリを接続しないでください。増設用内蔵ハードディスクユニットを取り付けている場合は取り外してください。
 - ・ 外付けハードディスクや USB メモリ、増設用内蔵ハードディスクユニットを接続したまま「パソコンの状態」のバックアップ、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
 - ・ 外付けハードディスクや増設用内蔵ハードディスクユニットにバックアップする場合は、「バックアップナビ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。
- ▶ メモリーカードなどのその他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

「パソコンの状態」をバックアップする場所

「パソコンの状態」をバックアップする場所を選択できます。また、作成した「パソコンの状態」のバックアップデータを外付けハードディスクなどにコピーできます。

■Dドライブ

LIFEBOOK の約 128GB SSD 搭載機種を除く外部のドライブなどを接続する手間がなく簡単に「パソコンの状態」のバックアップ、復元できます。ただし、次の場合は、Dドライブのバックアップも含めハードディスクのすべてのデータが使えなくなります。そのような場合に備え、このパソコンのハードディスク以外の場所にバックアップデータをコピーすることをお勧めします。

●ハードディスクの領域を変更したとき

Web『補足情報』

ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、Dドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも削除されます。領域変更する場合は、あらかじめパソコンのハードディスク以外にバックアップをコピーしてください。

●このパソコンが故障したとき

パソコンが故障したときは、Dドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

■外付けハードディスク、増設用内蔵ハードディスクユニット

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。外付けハードディスクは USB 接続のものを用意してください。USB 接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

■ネットワーク上のドライブ (LAN コネクタ搭載機種のみ)

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。ネットワークの知識が必要です。別のパソコンの共有フォルダーに、「パソコンの状態」をバックアップしたり、そこから復元したりできます。ネットワーク上のドライブを使う方法は、サポートページから Q&A ナンバー「7209-7934」を検索してご覧ください。サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→P.142）。

「パソコンの状態」をバックアップする

- 1 スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
📄『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 「バックアップナビ」をクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい]をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。
- 4 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 5 次の画面の操作をします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

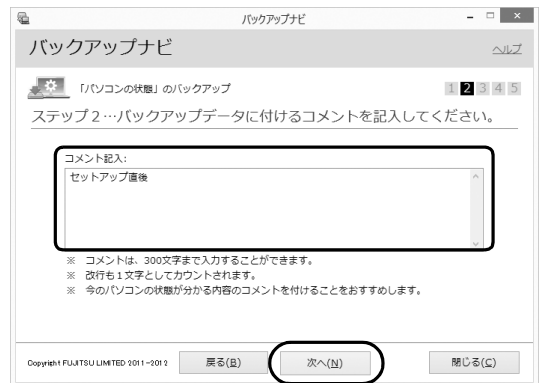
- ① 「バックアップする」タブをクリックします。
 - ② 「パソコン状態のバックアップ」をクリックします。
- 6 次の画面の操作をします。



- ① 「Dドライブ」または外付けハードディスクなどにバックアップする場合は「その他のドライブ」を選択します。バックアップ先の外付けハードディスクなどは後で接続します。
- ② Dドライブを選択した場合に表示されます。「パソコンの電源を切る」または「パソコンを再起動する」を選択します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

- 7 コメント入力域に、いつの時点の「パソコンの状態」かわかるようなコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

例) ・セットアップ直後
・インターネット設定変更



- 8 内容を確認して「次へ」をクリックします。
- 9 「OK」をクリックします。

■ Dドライブにバックアップする場合

(LIFEBLOCKの約128GB SSD搭載機種を除く)

再起動して、「パソコンの状態」をバックアップします。その後、パソコンは手順6で選択した動作をします。

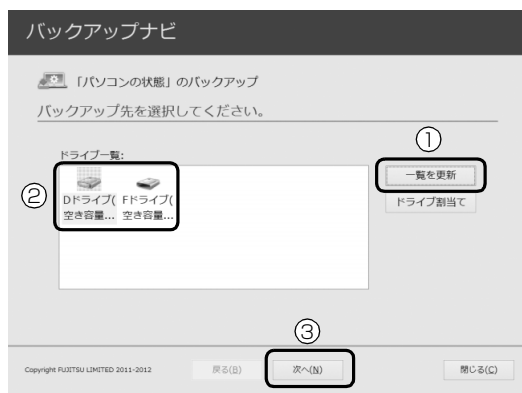
これで、バックアップは完了です。

Point

- ▶ バックアップ先にDドライブを選択した場合、バックアップ後初めてWindowsを起動したときに、デスクトップ画面で「バックアップナビ」が起動し、パソコンのバックアップが完了したというメッセージが表示されます。「閉じる」をクリックして、画面を閉じてください。

■ その他のドライブにバックアップする場合
手順10に進んでください。

10 「「パソコンの状態」のバックアップ」という画面が表示されたら、次の操作をします。



(画面は機種や状況により異なります)

- ① パソコンの USB コネクタに外付けハードディスクや増設用内蔵ハードディスクユニットを接続し、認識されるまで 10 秒ほど待ってから、「一覧を更新」をクリックします。
- ② 「ドライブ一覧」に接続したドライブが表示されたら、保存先のドライブを選択します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

11 内容を確認し、「開始する」をクリックします。「パソコンの状態」のバックアップが始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。完了すると「バックアップを終了しました。結果をご確認ください。」と表示されます。

12 「閉じる」をクリックします。
パソコンが再起動します。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする

「パソコンの状態」のバックアップデータは外付けハードディスクなどにコピーできます。コピー方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6909-7980」を検索してご覧ください。サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

「パソコンの状態」を復元する

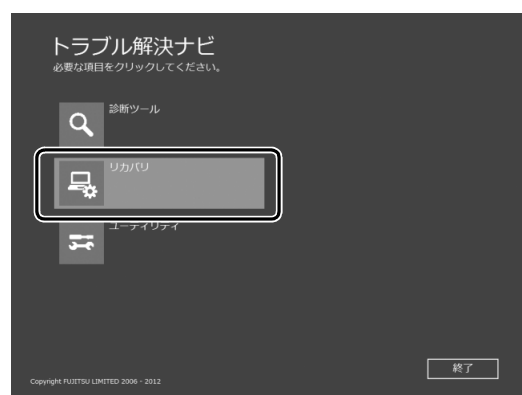
C ドライブをまるごと、「パソコンの状態」のバックアップ時点に戻します。

C ドライブの現在のデータは失われてしまいます。D ドライブまたは DVD などのディスクや別の媒体などにバックアップしてください。

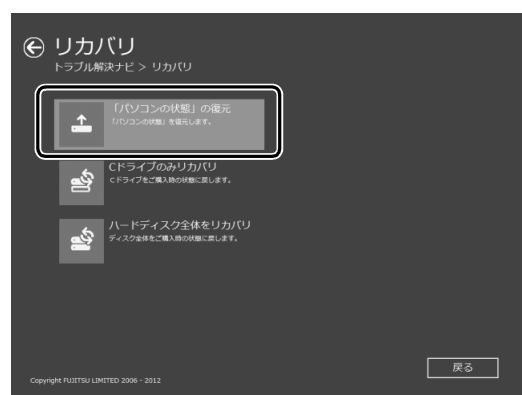
1 「トラブル解決ナビ」を起動します。

起動方法は「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→ P.144) をご覧ください。

2 「リカバリ」をクリックします。



3 「「パソコンの状態」の復元」をクリックします。



4 画面の内容を確認し、次の操作をします。



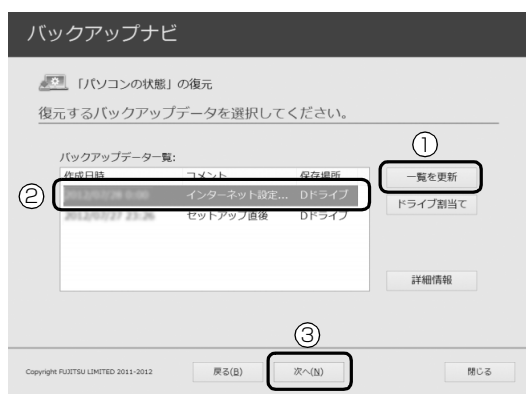
①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。

「同意する」が選択できるようになります。

②「同意する」をクリックして●にします。

③「次へ」をクリックします。

5 復元したい「パソコンの状態」のバックアップデータを選択します。



① Dドライブ以外に保存したバックアップデータを復元する場合、外付けハードディスクや増設用内蔵ハードディスクユニットを接続した後、「一覧を更新」をクリックします。「バックアップデータ一覧」に「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されます。

② 復元する「パソコンの状態」のバックアップデータをクリックして選択します。

③「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ Dドライブに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されない場合（LIFEBOOKの約128GB SSD搭載機種を除く）削除してしまっている可能性があります。ハードディスクの領域設定を変更した場合、CドライブのデータもDドライブのデータやバックアップデータも削除されます。

6 「復元開始」をクリックします。



「パソコンの状態」のバックアップデータを使ってCドライブの復元が始まり、復元の進行状況を示す画面が表示されます。

7 そのまましばらくお待ちください。

終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

しばらくすると、「復元が正常に終了しました。」と表示されます。

8 「閉じる」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「パソコンの状態」のバックアップデータを使った復元が完了しました。

「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する

「バックアップナビ」の「管理」タブで、D ドライブなどに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除できます。画面の指示に従って操作してください。



- ▶ 外付けハードディスクや増設用内蔵ハードディスクユニットに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する場合は、「バックアップナビ」を起動する前に接続してください。

メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などの Office の製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

<p> <small>マイクロソフト オフィス ホーム</small> Microsoft Office Home and Business 2013 <small>ビジネス</small> </p> <p> <small>マイクロソフト オフィス パーソナル</small> Microsoft Office Personal 2013 </p> <ul style="list-style-type: none"> <small>マイクロソフト エクセル</small> ・ Microsoft Excel 2013 <small>マイクロソフト ワンノート</small> ・ Microsoft OneNote 2013 <small>マイクロソフト アウトLOOK</small> ・ Microsoft Outlook 2013 <small>マイクロソフト パワーポイント</small> ・ Microsoft PowerPoint 2013 <small>マイクロソフト ワード</small> ・ Microsoft Word 2013 <small>マイクロソフト パワーポイント</small> ・ Microsoft PowerPoint 2013 楽しむ フォトウィザード 	<p>日本マイクロソフト株式会社</p> <p>技術サポート窓口 電話：0120-54-2244 受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、 土／ 10:00 ～ 17:00（日・祝祭日および指定休業日を除く） URL：http://support.microsoft.com/contactus/</p> <p>サポート関連情報：マイクロソフト サポート オンライン URL：http://support.microsoft.com/</p> <p>・基本操作に関するお問い合わせについては、お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して 90 日間が有効期間です（サポート ライフサイクル期間内）。</p>
---	---

ウイルス対策アプリなどで困ったときは

マカフィー マルチアクセスのお問い合わせ先

マカフィー® マルチアクセス	マカフィー株式会社 URL : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ ①マカフィー・テクニカルサポートセンター 電話 : 0570-060-033 (携帯電話からの場合 : 03-5428-2279) 受付時間 : 9:00 ~ 21:00 (年中無休) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_tswebform.asp ②マカフィー・カスタマーサービスセンター 電話 : 0570-030-088 (携帯電話からの場合 : 03-5428-1792) 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_cswebform.asp 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
-----------------------	---

アプリのお問い合わせ先の確認方法

「@メニュー」で確認できます。

- 1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。
- 2 アプリを探し、お問い合わせ先を表示します。




(画面は機種や状況により異なります)

- ① カテゴリを選択します。
- ② ジャンルを選択します。
- ③ 「目的でさがす」をクリックし、やりたいことを選択します。
- ④ 「お問い合わせ先」をクリックします。

よくあるトラブルと解決方法

起動・終了

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルが正しく接続されていない	電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください (→ P.32)。
	上記の対処で解決しない場合	電源ケーブルをいったん取り外し、2～3分放置後、再び取り付けてください。
ピープ音（ブザー）が鳴る	メモリが正しく取り付けられていない	メモリが正しく取り付けられているか確認してください (→ P.100)。
	サポートしていないメモリを取り付けている	取り付けたメモリがこのパソコンでサポートされているか確認してください (→ P.98)。
	連続して誤った BIOS パスワードを入力した	電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れて、操作をやり直してください。
画面に何も表示されない (「ディスプレイに関する Q&A」の「画面が表示されない」(→P.110) も合わせてご覧ください。)	画面が暗すぎる	画面を明るくしてください (→ P.85)。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない場合	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない場合	ハードウェアの診断を行ってください(→P.142)。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が切れない	Windows が動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 ハードディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 2. 画面右下の [U] をクリックして表示されるメニューで「シャットダウン」を選択する。
	ポインティングデバイスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1. [Win] + [C] を押す。  『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. カーソルキーで「設定」を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで [U] を選択して [Enter] を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	上記の対処で解決しない場合	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。




Point



- このパソコンには、Windows が起動しなくなったとき、C ドライブにあるお客様のデータファイル（ドキュメントや画像など）を D ドライブにコピーする「かんたんバックアップレスキュー Light」が搭載されています。

お使いになるには、「トラブル解決ナビ」を起動し（→ P.144）、「ユーティリティ」の「かんたんバックアップレスキュー Light」をクリックしてください。なお、操作については、表示された「必ずお読みください」をご覧ください。


Windows・アプリ関連

症状	考えられる原因	対処方法
「Windows のライセンス認証」という青い画面が表示された	インターネットに接続されていないため、Windows のライセンス認証が行われていない	「PC の設定を開く」をクリックし、インターネットまたは電話で、Windows のライセンス認証を行ってください。
アプリが見つからない	—	どのアプリを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます（→ P.118）

症状	考えられる原因	対処方法
アプリが動かなくなった	—	<p>次の手順でアプリを終了させてください。</p> <p>なお、アプリを強制終了した場合、アプリの作業内容を保存することはできませんので、ご注意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Ctrl] + [Shift] + [Esc] を押す。 2. 「アプリケーション」タブをクリックする。 3. 動かなくなったアプリを選択し、「タスクの終了」をクリックする。
アプリのインストールが正常に行われない	セキュリティ対策ソフトの影響を受けている	セキュリティ対策ソフトをいったん終了してから、インストールしてください。
	上記の対処で解決しない場合	各アプリのサポート窓口にお問い合わせください(→ P.129)。
アプリがうまく動かない	同時に複数のアプリを起動している	使用していないアプリを終了させてください。  『Windows 8 基本操作クイックシート』
	ハードディスクの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。
	アプリの設定が間違っている	アプリのマニュアルやヘルプをもう一度ご覧になり、正しく設定されているか、注意事項や制限事項はないか確認してください。
	アクセス許可が「オフ」になっている。	一部のアプリは、アクセス許可を「オン」にしないと正しく動作しない場合があります。次の手順で設定を変更してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定を変更したいアプリを起動した状態で、マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示する。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. そのまま真下にマウスポインターを移動させて「設定」をクリックする。 3. 「アクセス許可」をクリックする。 4. 設定を「オン」に変更する。
	ファイアウォール機能が動作を制限している	お使用の環境に応じてファイアウォール機能の設定を変更してください。
	上記の対処で解決しない場合	アプリを再起動してください。  『Windows 8 基本操作クイックシート』
	ユーザーアカウント制御画面が表示される	<p>ログオンしているユーザーアカウントの種類によって、対処が異なります。</p> <p>■管理者の場合 「はい」をクリックする。</p> <p>■標準ユーザーの場合 管理者アカウントのパスワードを入力する。</p>

症状	考えられる原因	対処方法
デスクトップ画面右下の通知領域にアプリのアイコンが表示されない	アプリが起動していない	1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。  『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 表示された画面から、起動するアプリを選択する。
	アイコンが隠れている	通知領域にある  をクリックしてください。
Windows Updateについての通知が表示される	インストールが必要な Windows の更新プログラムがある	「サポートページ」(→ P.142) で Q&A ナンバー「6109-7931」を検索してご覧ください。
「コンピューターの電源を切らないでください。」と表示される	Windows Update の更新プログラムをインストールしている	
「Adobe Flash Player のアップデートを利用できます。」というメッセージが表示される	「Adobe Flash Player」のアップデートが提供されている	「サポートページ」(→ P.142) で Q&A ナンバー「8407-9633」を検索してご覧ください。

ポインティングデバイス

症状	考えられる原因	対処方法
マウスポインターが動かない	マウスが正しく動作しづらい場所で使っている	次のようなものの表面を避けて使用してください。 ・ 光を反射しやすいもの ・ 光沢があるもの ・ 濃淡のはっきりした柄のあるもの ・ 同じパターンが連続しているもの
	マウスのスクロールホイールを押している	スクロールホイールから指を離し、マウスの左右どちらかのボタンを押してください。
マウスポインターの動きがおかしい	—	次の手順で「マウスのプロパティ」を表示し、設定を変更してください。 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。  『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「コントロールパネル」をクリックする。 3. 「ハードウェアとサウンド」をクリックする。 4. 「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックする。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス添付機種のみ

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスが使えない	ワイヤレスマウスの電源が入っていない	底面の電源スイッチを ON 側にしてください。
	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」(→ P.73) をご覧になり、電池を正しくセットしてください。
	設置場所が適切でない	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」(→ P.73) をご覧になり、設置場所を変更してください。
	正しく認識されていない	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」(→ P.73) をご覧になり、再認識させてください。
	USB 機器の影響を受けている	パソコンに USB 機器を接続している場合、その USB 機器がお使いの OS に対応していないと、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの動作に影響を与えるおそれがあります。USB 機器のマニュアルをご確認ください。
勝手に文字が入力される	近くのワイヤレスキーボードが誤認識されている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」(→ P.73) をご覧になり、再認識させてください。
キーを押し続けた状態になる	設置環境が変化した	ワイヤレスキーボードやパソコンを移動したり、間に障害物を置いたり、近くで電子レンジが動作を始めた場合、キーボードからの電波が届きにくくなり、動作が不安定になることがあります。 設置環境を元に戻してください。
マウスポインターが勝手に移動する	近くのワイヤレスマウスが誤認識されている	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」(→ P.73) をご覧になり、再認識させてください。

キーボード

症状	考えられる原因	対処方法
押したキーと違う文字が入力される	Num Lock が有効になっている	[Num Lk] を押してください。
	Caps Lock が有効になっている	[CapsLock] を押してください。
	文字の入力方法が変更されている	[Alt] + [2222 0606] (カタカナ／ひらがな) を押してください。
数字が入力できない	Num Lock が無効になっている	[Num Lk] を押してください。
キーボードに液体をこぼしてしまった	—	1. すぐにパソコンの電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを取り外してください。 2. キーボードを水平にしたまま、乾いた柔らかい布で液体を拭き取ってください。 3. 「お問い合わせ窓口のご紹介」に点検を依頼してください (→ P.148)。

文字入力


症状	考えられる原因	対処方法
入力した文字が上書きされる	上書き入力モードになっている	[Insert] を押してください。
文字が正しく入力できない	入力モードが変更されている	言語バーの入力モードを変更してください。
	「ローマ字入力／かな入力」が変更されている	[Alt] + [2222 0606] (カタカナ／ひらがな) を押してください。
旧字体など入力したい文字が変換候補に表示されない	文字が Microsoft IME の辞書に登録されていない	登録されていない文字を外字エディタで作成することができます。 「サポートページ」 (→ P.142) で Q&A ナンバー「0909-7935」を検索してください。

サウンド



▶ 「ディスプレイに関するQ&A」の「音が聞こえない／変な音が聞こえる」 (→ P.114) も合わせてご覧ください。


症状	考えられる原因	対処方法
スピーカーから音が出ない	ミュート (消音) になっている	[Fn] + [F3] を押して、スピーカーを ON にしてください。
	音量が小さい	[Fn] + [F9] を押して、適切な音量にしてください。
	ヘッドホンを接続している	ヘッドホンを取り外すか、ヘッドホンを接続したときの設定を変更してください ([Web] 『補足情報』)。
音が割れる	音量が大きすぎる	[Fn] + [F8] を押して、適切な音量にしてください。
マイクからうまく録音ができない	録音の設定が適切でない	録音の設定を確認してください ([Web] 『補足情報』)。

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない	ディスクが正しくセットされていない	<ul style="list-style-type: none"> ・縦置きの場合 ディスクのレーベル面を左、または読み取り面を右にして、セットしてください。 ・横置きの場合 ディスクのレーベル面を上、または読み取り面を下にして、セットしてください。 (→ P.89)
	ディスクの表面が汚れている	指紋やほこりなどを拭き取ってください。
	対応していないディスクを再生しようとしている	「取り扱い」－「使えるディスク／使えないディスク」(→ P.87) をご覧になり、対応しているか確認してください。 ポータブルCD/DVDドライブをお使いの場合は、ポータブルCD/DVDドライブのマニュアルをご覧ください。
取り出せない	電源が入っていない	電源を入れてから、CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
	—	1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。  『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「コンピューター」をクリックする。 3. CD/DVD ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックする。
	上記の対処で解決しない場合	1. パソコンの電源を切ります (→ P.162)。 2. CD/DVD ドライブにある小さな穴に、クリップの先などを差し込みます。 3. トレーを静かに引き出し、ディスクを取り出します。

メモリーカード


症状	考えられる原因	対処方法
メモリーカードの内容が正しく表示されない	メモリーカードが書き込み禁止になっている	書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。

有線 LAN

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	LAN ケーブルが外れている	LAN ケーブルを接続してください。
	LAN ケーブルや、ケーブルのコネクタに損傷がある	LAN ケーブルを交換してください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている(無線 LAN 搭載機種のみ)	「インターネットに接続する」(→ P.49) をご覧になり、設定を確認してください。
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	<p>次の手順でネットワークの状態を診断してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「PlugFree NETWORK」の「ネットワーク診断」をクリックする。

無線 LAN

■無線 LAN 搭載機種のみ

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	パソコンとネットワーク機器の設置場所が適切でない	パソコンとネットワーク機器の距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくくなります。 設置場所を変えることで、改善できる場合があります。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている	「インターネットに接続する」(→ P.49) をご覧ください。設定を確認してください。
	無線 LAN のプロファイルが正しくない	
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	次の手順でネットワークの状態を診断してください。 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。  『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「PlugFree NETWORK」の「ネットワーク診断」をクリックする。

USB 機器

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器が使えない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続してください。
	ドライバーに問題がある	USB 機器のマニュアルをご覧ください、必要なドライバーをインストールしてください。
	USB 機器の消費電力が大きすぎる	<p>次の手順で、USB2.0 コネクタ（→ P.52）の電力使用状況を確認できます。必要に応じて使用しないUSB 機器を取り外してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックする。 2. 「コントロールパネル」をクリックする。 3. 「システムとセキュリティ」をクリックする。 4. 「システム」をクリックする。 5. 「システム」ウィンドウ左の「デバイスマネージャー」をクリックする。 6. 「ユニバーサル シリアルバス コントローラー」をダブルクリックし、「Generic USB Hub」をダブルクリックする。 7. 「電力」タブをクリックし、USB 接続されているデバイスが必要とする電力が、使用可能な電力を超えていないか確認する。
	上記の対処で解決しない場合	Windows を再起動して、USB 機器を接続し直してください。

ハードディスク

症状	考えられる原因	対処方法
ハードディスクから音がする	—	ハードディスクが動作して「ジジジ」「ジリジリ」「ジージー」といった異音が聞こえることがありますが故障ではありません。
何も操作しなくてもディスクアクセスランプが点灯する	—	パソコンを操作していなくても、ハードディスクが動作することがあるため、ディスクアクセスランプが点灯することがあります。故障ではありません。そのままお使いください。
頻繁にフリーズするなど、動作が不安定になる	C ドライブの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。また、万が一に備えてバックアップをとっておくことをお勧めします（→ P.121）。

メール

症状	考えられる原因	対処方法
受信したメールが文字化けしている	機種依存文字を使用している	送信者に機種依存文字を使わずにメールを送るよう依頼してください。
メールを送受信できない	インターネットに接続していない	「インターネットに接続する」(→ P.49)をご覧くださいになり、接続してください。
	メールアドレスが間違っている	メールアドレスを確認してください。
	メールアプリの設定が間違っている	プロバイダーのマニュアルをご覧くださいになり、メールアプリの設定を確認してください。
	上記の対処で解決しない場合	時間をおいてから送受信してください。 それでも改善されない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。

その他

症状	考えられる原因	対処方法
「ジー」や「キーン」という音がする	—	静かな場所では、「ジー」や「キーン」という音が聞こえる場合があります。 パソコン本体内部の電子回路の動作音であり、故障ではありませんので、そのままお使いください。

トラブル発生時の基本的な対処

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

- 1 落ち着いて状況を確認する (→ P.141)
- 2 マニュアルで調べる (→ P.142)
- 3 インターネットで調べる (→ P.142)
- 4 「富士通ハードウェア診断ツール」を使う (→ P.142)

落ち着いて状況を確認する

トラブルが発生したときは、落ち着いて、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■表示されたメッセージはメモをしておく
画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■パソコンや周辺機器の電源を確認する
電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずパソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？またゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか？
ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- キーボードの上に物を載せていませんか？
キーが押され、パソコンが正常に動作しないことがあります。

この他、「起動・終了」(→ P.130)の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

■以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやアプリのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- アプリをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。

発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

■BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

Point

- ▶ BIOS パスワードを設定していた場合、BIOS をご購入の状態に戻してもパスワードは解除されません。

- 1 パソコン本体に外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、取り外します。
- 2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります (→ P.162)。
- 3 キーボードの **[F2]** の位置を確認します。
- 4 **[F2]** を押しながらパソコンの電源を入れます。
- 5 FUJITSUのロゴ画面が表示された後、BIOSの画面が表示されたら **[F2]** から指を離します。

Point

- ▶ Windowsが起動してしまった場合は、パソコンの電源を切って、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
- ▶ BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

- 6 **[←]**、**[→]**、**[↑]** または **[↓]** で「終了」メニュー
▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで **[Enter]** を押します。

7 「はい」を選んで **[Enter]** を押します。

8 「変更を保存して終了する（再起動）」を選んで **[Enter]** を押します。

9 「はい」を選んで **[Enter]** を押します。

マニュアルで調べる

このマニュアルの「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.130) をご覧になり、発生したトラブルの解決方法がないかご確認ください。

インターネットで調べる

富士通のホームページ「サポートページ」では「Q&A」「ネットで故障診断」などのサポート情報や、「パソコン活用」「ビギナーガイド」などの活用情報、このパソコンに関連したドライバーを提供しています。ドライバーをアップデートしたりインストールし直したりすることで、トラブルが解決できる場合がありますので、最新のドライバーについても、あわせてご確認ください。

■「サポートページ」

<http://azby.fmworld.net/support/>



(画面は状況により異なります)

「サポートページ」では、次のような情報を提供しています。

●Q&A、パソコン活用情報

数多くの Q&A 事例や、便利なパソコンの使い方を紹介しています。キーワードから検索したり、困っていることから調べたりできます。

●ウイルス・セキュリティ情報

●よくあるお問い合わせ

●最新のドライバーやマニュアルのダウンロード

Point

▶ サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます。次のように操作します。

1. **[F12]** を押して、スタート画面を表示します。

2. 「富士通アドバイザー」をクリックします。

「富士通アドバイザーのご利用について」が表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

また、「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか?」と表示された場合は、「許可」をクリックします。

3. 「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」から「サポートページで調べる」を選択します。

▶ Q&Aで解決しなかった場合は、専用の受付フォームからお問い合わせいただく、メールサポートもご利用いただけます。

ご利用には、ユーザー登録が必要です (→ P.145)。

▶ 「ネットで故障診断」で無料で故障診断や、修理の申し込みができます。詳しくは「修理の申し込み」(→ P.150) をご覧ください。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windowsが起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア (CPU、メモリ、ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVD ドライブ) に問題がないか診断します。

●「トラブル解決ナビ」から起動できます (→ P.144)。

●パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。

●診断したいハードウェアを選択できます。

●診断時間は 5 ～ 20 分程度です。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります (→ P.162)。

2 「トラブル解決ナビ」を起動し (→ P.144)、「診断ツール」▶「富士通ハードウェア診断ツール」の順にクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。

3 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「情報」ウィンドウが閉じます。

4 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。

ハードウェア診断が始まります。

診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

- ▶ 「CD/DVD/BD(E:) ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD をセットして「診断開始」をクリックしてください。ただし、何も書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などの DVD/Blu-ray Disc やコピーコントロール CD など）は使用できません。
- ▶ 診断を取りやめる場合は「スキップ」をクリックしてください。

5 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

表示された内容に従って操作を行ってください。エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

6 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

7 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

8 「はい」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。

9 「終了」▶「シャットダウン」の順にクリックします。

パソコンの電源が切れます。

Point

▶ Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。

診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

1. BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.141）。
 2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
 3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.162）。
 4. **[F12]** を押しながら、パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示された後、起動メニューが表示されたら **[F12]** から指を離します。
 5. 起動メニューが表示されたら、**[↓]** を押して、「診断プログラム」を選択し、**[Enter]** を押します。
 6. 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、**[Y]** を押してハードウェア診断を開始します。
- ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。

・トラブルが検出されなかった場合

[Enter] を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。

この後の操作については、「「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する」（→ P.142）をご覧ください。

・トラブルが検出された場合

画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、**[Y]** を押してパソコンの電源を切ってください。

「トラブル解決ナビ」を起動する

■ハードディスクから起動する

- 1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.162）。
- 2 **[F12]** を押しながら、パソコンの電源を入れます。
- 3 FUJITSUのロゴ画面が表示された後、起動メニューが表示されたら **[F12]** から指を離します。
- 4 起動メニューが表示されたら、**[↓]** を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、**[Enter]** を押します。「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」から起動する

◎「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または ◎「トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク（64 ビット版）」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。パソコンを廃棄するときやリカバリ領域の削除／復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

- 1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.162）。
- 2 **[F12]** を押しながら、パソコンの電源を入れます。
- 3 FUJITSUのロゴ画面が表示された後、起動メニューが表示されたら **[F12]** から指を離します。
- 4 ◎「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または ◎「トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク」をセットします。
認識されるまで 30 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。
- 5 **[↓]** を押して「CD/DVD」を選択し、**[Enter]** を押します。
- 6 そのまましばらくお待ちください。
この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。
「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

- BIOS の設定を初期値に戻すと解決する場合があります（→ P.141）。
- 市販のアプリや、Windowsの「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。

[Web]『補足情報』

富士通の窓口に相談する

ユーザー登録のご案内

■ユーザー登録とは

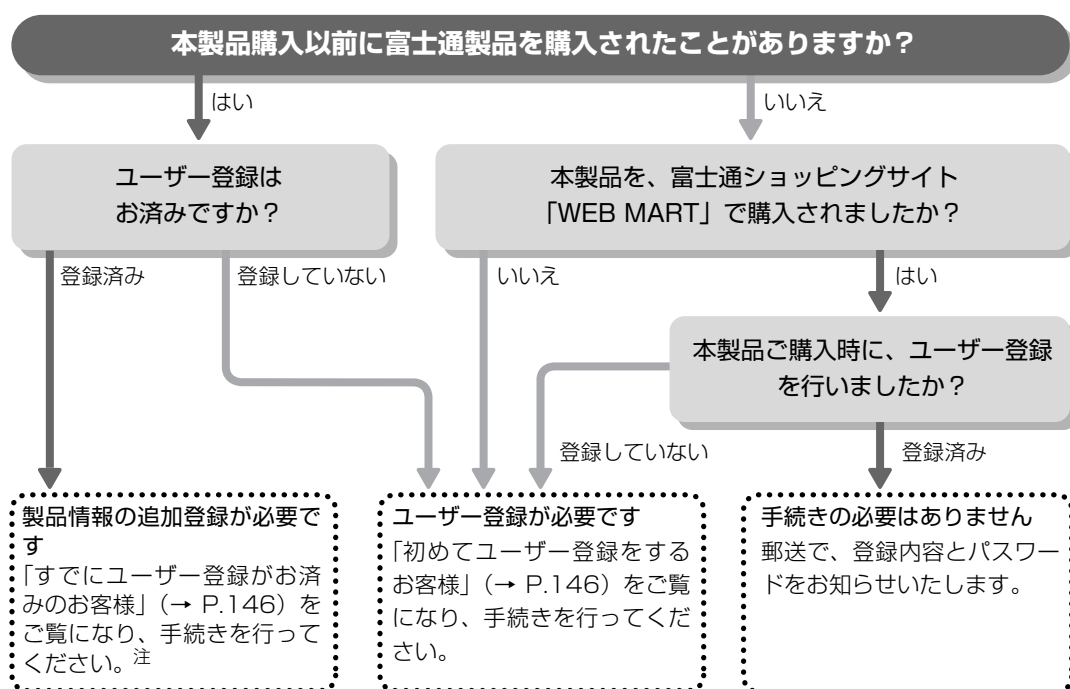
ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料）。ユーザー登録をすると、1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

重要

- ▶ ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。

■ユーザー登録をする前に

次の図でユーザー登録が必要か、ご確認ください。



注：本製品を、富士通ショッピングサイト「WEB MART」でご購入のお客様は、製品情報の追加登録は不要です。

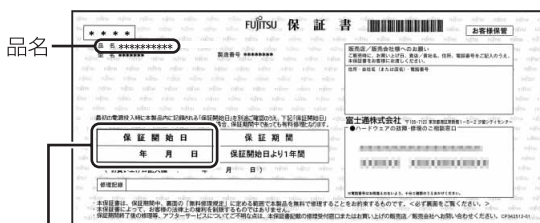
■ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「お問い合わせ窓口のご紹介」(→P.148)の「電話で相談する」をご覧ください。

□必要なものを用意してください

●保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。
登録後も大切に保管してください。



保証開始日



- ▶ 保証開始日に初めて電源を入れた日を記入してください。

保証開始日は「@メニュー」から確認できます。
詳しくは、「@メニュー」の使い方(→P.118)をご覧ください。

「サポートをさがす」▶「お問い合わせをする」
▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

□初めてユーザー登録をするお客様

インターネットのユーザー登録専用ホームページからユーザー登録してください。インターネットに接続している場合のみ、専用ページに進むことができます。

- 1 スタート画面で「富士通パソコンユーザー登録」をクリックします。



(画面は状況により異なります)



- ▶ ユーザー登録には、メールアドレスが必要です。

- 2 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

A form with two input fields. The first field is labeled "ユーザー登録番号" (User Registration Number) and the second field is labeled "パスワード" (Password). There is a pencil icon in the top right corner.

□すでにユーザー登録がお済みのお客様

ユーザー登録専用ホームページから、画面の表示に従って、今回ご購入いただいたパソコンの情報を追加登録してください。

□ユーザー登録番号やパスワードを忘れた場合

ユーザー登録専用ホームページから、手続きを行います。画面の表示に従って、ユーザー登録番号の確認やパスワードの再発行をしてください。

サポート&サービス紹介

富士通のパソコンをより楽しく快適に利用いただくために、インターネット上のサポートページやサービスをご用意しております。

■サポートページ

<http://azby.fmworld.net/support/>



(画面は状況により異なります)


富士通パソコンユーザーのためのサポートページです。
過去に電話窓口などにお問い合わせいただいたときの履歴をご確認いただくことができます。

富士通からの重要なお知らせなど、役立つ内容があります。

□サポートコーナー新着

すぐに使えるパソコンテクニックや、富士通パソコンユーザー向けのサービス情報などが毎週更新されます。

サポートコーナー新着情報



**エクセルでの入力作業がより速くなる！
便利な操作テクニック**
Excelには便利なテクニックがたくさんあります。知っていると作業が効率的に行えて、大幅に時間短縮ができます。今回はExcelの入力や編集をするときに、知っている便利なテクニックをご紹介します。

- ・ パワーポイント2013 基礎 募集開始！ - 【メールセミナー】
- ・ がんばれ新人君タイピング - 【実践！タッチタイピング】
- ・ NVIDIA社ディスプレイドライバーの脆弱性に関するお知らせとアップデートのお願い(年 月 日)
- ・ 【新着Q&A】 月 日更新！ - [マカフィー マルチアクセス] 初期設定の方法を教えてください。...など

バックナンバーへ >>

■会員専用サポート

マニュアルや、サポートページなどで確認しても、問題が解決できない場合、電話やメールで技術相談を受けられます。

詳しくは、「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.148)をご覧ください。

■お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

メール

Twitter

ネットで故障診断

電話予約

電話

が、ご利用できます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

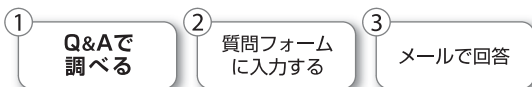
富士通FMVサポートページ <http://azby.fmworld.net/support/> ※最新の情報はホームページをご覧ください。



“メール”で相談する

メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、Eメールで回答いたします。Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。



各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

Q&Aで問題が解決しないときはFMVテクニカルセンターにお問い合わせください。



※ユーザー登録が必要となります。

パソコン

スマートフォン



“Twitter”でアドバイスを受ける

Twitter

TwitterのFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

FMV公式アカウント：@Fujitsu_FMV_QA

- ※お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
- ※お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
- ※お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- ※Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

パソコン

スマートフォン



“インターネットで故障を診断”する

ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>



※万一が一部修理と診断された場合は修理修理料金が確認できます。

パソコン

電話予約

電話



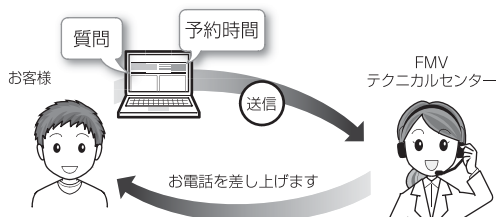
“電話”で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の“予約”をする

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

<https://azby.fmworld.net/callback/>



※ユーザー登録が必要となります。

※富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。また日本語対応のみとなります。

パソコン

スマートフォン

お困りごとのご相談はこちら

通話料無料 **0120-950-222** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2255**
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

修理受付はこちら

通話料無料 **0120-926-220** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2260**
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。
※電話番号はお間違えないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※ユーザー登録されている電話番号をお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
※非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

□ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

- ・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注：Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,000円（税込）となります。

また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

- ・2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,000円（税込）

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,500円/件（税込）でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。



- ▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限りです）

●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジット カード支払い	音声ガイダンスで、クレジット カード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、 手数料が別途200円かかります。

□お問い合わせ前に確認してください

- 「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>) で解決方法を確認しましたか？

知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。詳しくは「インターネットで調べる」(→ P.142) をご覧ください。

- ユーザー登録はしましたか？

電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」(→ P.145) をご覧ください。

- アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？

各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOfficeで困ったときは」(→ P.128) および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」(→ P.129) をご覧ください。

- お使いのパソコンをお手元に用意いただいていますか？

お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。

- データのバックアップはしましたか？

大切なデータの予備を保存しておく、安心です。バックアップ方法については、「バックアップ」(→ P.121) をご覧ください。

□電話相談サポートの活用方法について

- 電話窓口の混雑状況

<http://azby.fmworld.net/konzatsu/>

つながりやすさの状況をホームページで公開しています。「つながりやすい時間帯」を参考におかけください。

■修理を申し込む前の準備

●故障かどうかをもう一度ご確認ください

パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。

「ネットで故障診断」(<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>)で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。

●修理規定をご確認ください

お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.165)を確認のうえ、同意をお願いします。

●修理料金の目安を確認できます

ホームページで概算修理料金をご覧ください。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>

●保証書をお手元にご用意ください

保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日(保証開始日)から1年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。

ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

Point

- ▶ 保証開始日は「@メニュー」から確認できます。詳しくは、「「@メニュー」の使い方」(→ P.118)をご覧ください。

「サポートをさがす」▶「お問い合わせをする」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●故障品をお手元にご用意ください

お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください

修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置(ハードディスクなど)内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でDVDなどのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

バックアップの方法については、「バックアップ」(→ P.121)をご覧ください。

また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」(有料)もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

■修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

□ホームページで申し込む(ネットで故障診断)

「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。

故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

□電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.148)の「修理受付はこちら」をご覧ください。

重要

- ▶ 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- ▶ 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.165)の第13条(個人情報の取り扱い)をご覧ください。

■お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンを引き取りに伺います。

引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。
また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

□お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯（9:00～21:00[注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

□お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

▶ 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。

- ・ BIOS パスワード
- ・ ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。

●宅配業者がお渡する「お預かり伝票」を大切に保管してください。

●引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

●「修理状況確認サービス」

（<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>）で携帯電話やパソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

□お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内（保証開始日より 1 年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
- ・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

■修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

□ホームページで確認する（修理状況確認サービス）

パソコン、スマートフォン、携帯電話（i モード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話から
<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>

携帯電話から

バーコード読み取り機能付きの携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。



※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種種のメーカーにお問い合わせください。

□電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

富士通修理お問い合わせダイヤル

キューニーロク ニーニーマル
0120-926-220

▶▶ダイヤル **3** をプッシュ

☎ 通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話、PHS、海外からはこちら

ゴーイチヨン ニーニーロクマル
045-514-2260

（通話料金お客様負担）

受付時間：9：00～17：00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていた場合があります。

■訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社がお自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

ご利用料金は、修理作業完了後に、修理担当者に現金でお支払いください。

●訪問修理の料金体系

	訪問料金	修理料金
保証期間内 (保証開始日より 1 年間)	有料	無料 (保証書記載の「無料修理規定」による)
保証期間外	有料	有料

※ 離島の場合は、訪問料金とは別に、訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をご負担いただく場合があります。
訪問修理サービスの詳細は、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.148）の「修理受付はこちら」にお問い合わせください。

■PC 引取点検サービス（有料）

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・アプリの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

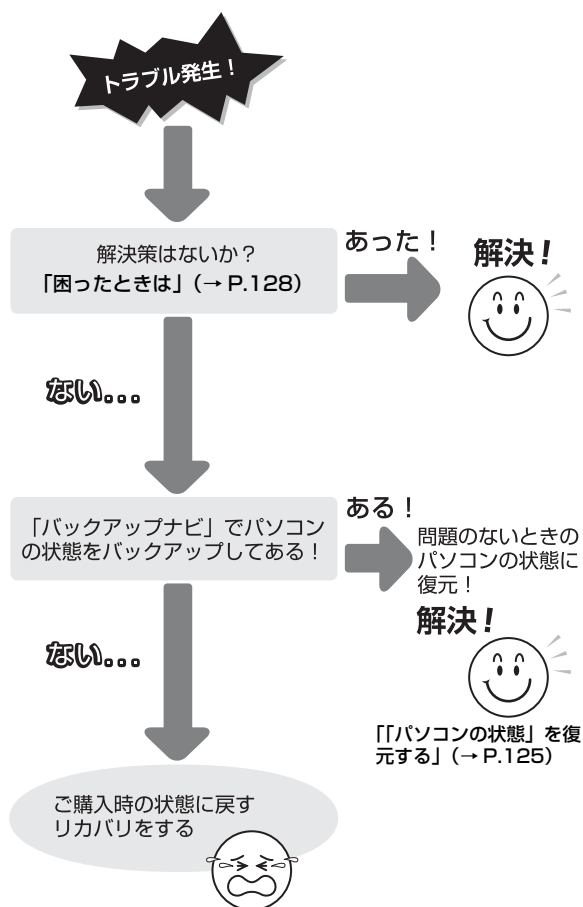
PC引取点検サービス

<http://azby.fmworld.net/support/repair/tenken>

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリをすると、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてアプリをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

通常はご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要はほとんどありません。本当にご購入時の状態に戻す必要があるか、下の図でもう一度確認してください。



ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリは、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に保存されているデータを使用します。

Point

- ▶ リカバリ領域を削除している場合やリカバリ領域が破損してしまった場合にのみ、「リカバリディスクセット」を使用してリカバリします。
- ▶ 「リカバリディスクセット」はハードディスク全体をリカバリする場合などにも使用します。詳しくは [Web](#)『補足情報』の「ハードディスクの領域について」をご覧ください。

バックアップをする

リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて削除されます。

必要なデータはバックアップしてください。

バックアップ方法については、「バックアップ」(→ P.121)をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

■外付けハードディスクやUSBメモリ、増設用内蔵ハードディスクユニットは必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■付属ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI入力／出力端子、USBコネクタに接続しているすべての周辺機器）は取り外してください

セットしたExpressCardなどもすべて取り外してください。アンテナケーブルやLANケーブルなどもすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。LIFEBOOKをお使いの場合は、マウスも取り外してください。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からアプリのインストール終了まで、早く終了する機種でも2～3時間はかかります。半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

■機種名（品名）を確認してください

お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）などを確認してください。

■LIFEBOOK をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください





作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった





パソコンが再起動して画面が暗くなる場合は、手順に記載しています。

手順に記載がないのに、画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。


●ESPRIMO の場合

マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの     や **[Shift]** を押してください。

●LIFEBOOK の場合

フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの     や **[Shift]** を押してください。それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを4秒以上押して（（電源）に触れて電源を入れる機種では4秒以上触れて）電源を切ってください。

ディスクが必要な場合

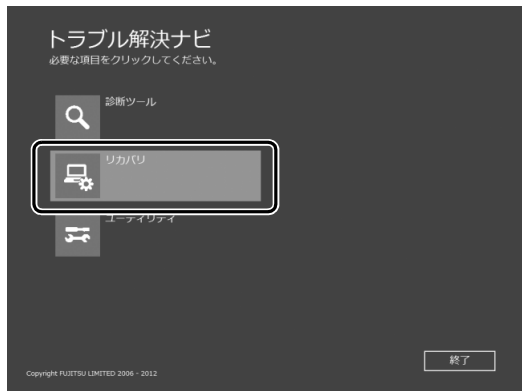
- リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
- ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます
「リカバリディスク有償サービス」
<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>
ただし、Webカスタムメイドモデルの「リカバリディスクセット」は電話で申し込んで購入してください。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
0120-950-222（通話料無料）
- CD/DVD ドライブが搭載されていない機種でディスクを使ってリカバリする場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
 - ・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM54）」をお勧めします。
 - ・リカバリを開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたならリカバリを実行します。ハードディスクのCドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）からWindowsやアプリがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

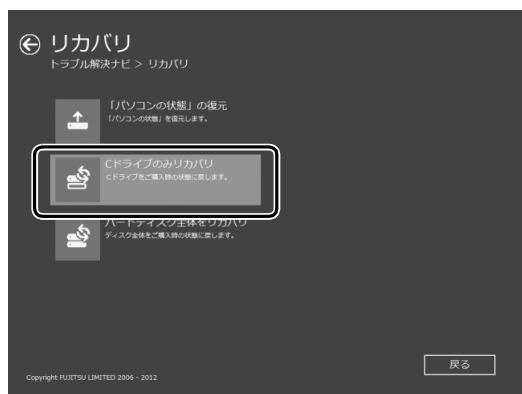
Cドライブを初期状態に戻す

- 1 「トラブル解決ナビ」を起動します。
「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.144）をご覧ください。
- 2 「リカバリ」をクリックします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

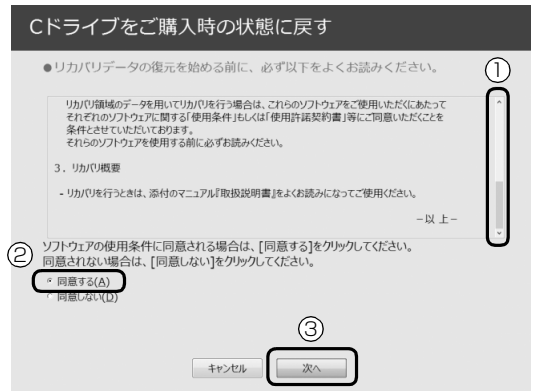
- 3 「Cドライブのみリカバリ」をクリックします。



- 4 「次へ」をクリックします。



- 5 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

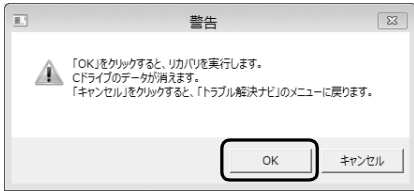


- ① 「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。
「同意する」が選択できるようになります。
- ② 「同意する」をクリックして☑します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ ハードディスクにリカバリデータがない場合は、リカバリディスクセットを要求するメッセージが表示されます。ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。

6 警告画面で、「OK」をクリックします。



復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。

リカバリ途中で計算し直しているため、終了までのパーセンテージは正確に表示されない場合や増える場合があります。

7 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクの復元が完了しました。」と表示されます。

8 「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「ライセンス条項」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

Point

- ▶ 弊社ホームページから購入したリカバリディスクセットを使ってリカバリした場合は、「ライセンス条項」画面が表示されるまで 30 分以上かかることがあります。ご了承ください。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」(→ P.24) の「Windows のセットアップをする」(→ P.33) 以降をご覧ください。

■セットアップ時の注意事項

- ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- すでに Microsoft アカウントを取得されているため、「Windows のセットアップをする」の手順 13 では Microsoft アカウントを入力し、「次へ」をクリックしてください。その後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- ▶ Office搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、Office がインストールされた状態にリカバリされません。

セットアップ後に、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

インストール方法については次のホームページをご覧ください。

<http://www.office.com/jppipcsetup/>

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると考えられています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の2つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- パソコンにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
- インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する

これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。

なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

[参考情報]

- 社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- デジタルアーツ株式会社（i-フィルター[®] 6.0 提供会社）
「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

■「i - フィルター[®] 6.0」について

このパソコンには、フィルタリング機能をもつ「i-フィルター[®] 6.0」が用意されています。使い方については、「「i - フィルター[®] 6.0」を使う」（→ P.157）をご覧ください。

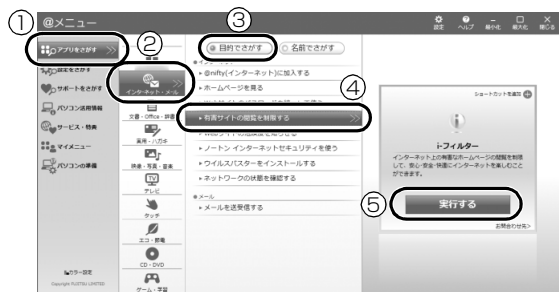
■「i - フィルター[®] 6.0」を使う

このパソコンに用意されている「i-フィルター[®] 6.0」はご利用期間 90 日間のお試し版となっています。ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

なお、お試し版を登録するにはメールアドレスが必要です。

- 1 インターネットに接続します。
- 2 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

3 次の画面の操作をします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

- ①「アプリをさがす」をクリックします。
- ②「インターネット・メール」をクリックします。
- ③「目的でさがす」をクリックします。
- ④「有害サイトの閲覧を制限する」をクリックします。
- ⑤「実行する」をクリックします。

4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。「有害サイトフィルタリングソフト「i-フィルター 6.0」のご紹介」の画面が表示されます。

5 「「i-フィルター 6.0」お試し版をインストールする」をクリックします。

「i-フィルター® 6.0」の使用許諾の画面が表示されます。

この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。



- ▶ 次のような画面が表示された場合は、「i-フィルター® 6.0」はインストール済みです。「OK」▶「完了」の順にクリックして、画面を閉じてください。



6 「i-フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「「i-フィルター 6.0」お試し版を登録する」をクリックします。

この後は画面の指示に従って登録を進めてください。

登録が完了すると「i-フィルター® 6.0」が利用できるようになります。

次回使うときは、デスクトップ画面右下の通知領域に表示された アイコンから、設定を行うことができます。

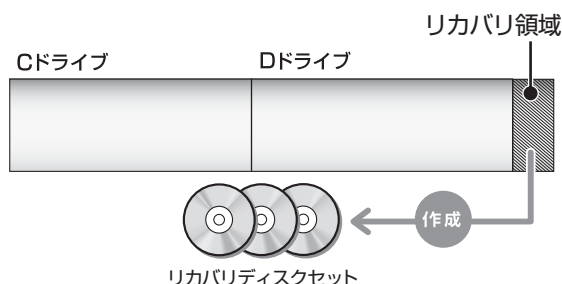


利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行ってください。別のフィルタリングアプリをご利用になる場合は、市販のアプリをご購入のうえ、ご利用ください。

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時のCドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域からCドライブをご購入時の状態に復元できます。

リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、パソコンご購入後はできるだけ早く、リカバリ領域のデータをディスクにバックアップしてください。



■リカバリディスクセットとは

「バックアップナビ」を使って作成する次のディスクです。



- ▶ リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」(→ P.154)をご覧ください。
- ▶ 「リカバリディスクセット」は、次の場合に使用します。
 - ・リカバリ領域を削除しているときにCドライブをリカバリする
 - ・リカバリ領域が破損してしまったときにCドライブをリカバリする
 - ・ハードディスク全体をリカバリするハードディスク全体をリカバリする操作に関しては、**Web**『補足情報』の「ハードディスクの領域について」▶「リカバリ領域の復元手順」をご覧ください。

□BD-R、BD-R DL、BD-R XLで作成した場合

- トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク



- ▶ BD-R、BD-R DL、BD-R XLでリカバリディスクセットを作成したり、使用したりできるのは、Blu-ray Discドライブ搭載機種のみです。

□DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DLで作成した場合

- トラブル解決ナビディスク (リカバリ起動ディスク)
- リカバリデータディスク 1
- リカバリデータディスク 2
- リカバリデータディスク 3[注]
- ソフトウェアディスク 1
- ソフトウェアディスク 2
- ソフトウェアディスク 3[注]

注：お使いの機種によっては、ない場合もあります。

リカバリディスクセットを作るうえでの注意

■LIFEBOOKをお使いの方は、ACアダプタを接続してください

■ディスクを用意してください

- お使いになれるディスク
DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DL、BD-R、BD-R DL、BD-R XL
- DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DLのうちの、どのディスクを使用しても、作成枚数は同じになります。
- 画面の指示に従ってディスクのレーベル面にディスクの内容を記入してからセットします。

■「Roxio Creator」が必要です

「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、リカバリ領域のデータをディスクに書き込むことができなくなります。

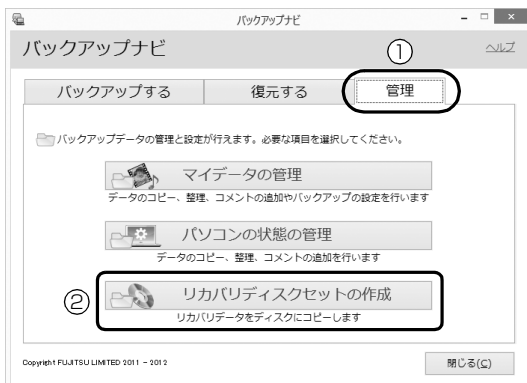
■CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください

ポータブルCD/DVDドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM54)」をお勧めします。作成を始める前に接続してください。ポータブルCD/DVDドライブでお使いになれるのはDVD-Rのみです。

■リカバリデータディスクおよびソフトウェアディスクではパソコンは起動できません

リカバリディスクセットの作成手順

- 1 スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』
- 2 「バックアップナビ」をクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。
- 4 「バックアップナビ」の概要をウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 5 次の画面の操作をします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります。)

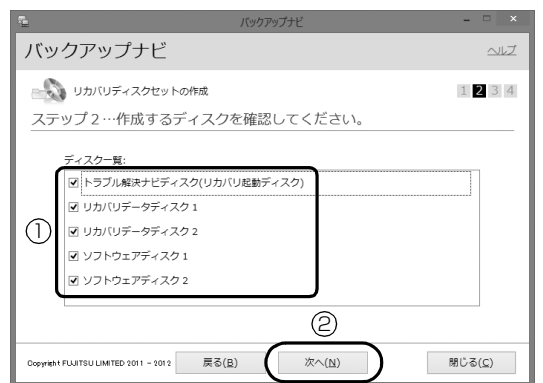
- ① 「管理」タブをクリックします。
- ② 「リカバリディスクセットの作成」をクリックします。

- 6 次の画面の操作をします。



- ① クリックして、お使いになるディスクの種類を選択してください。
- ② 必要なディスクの枚数を確認します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

- 7 作成するディスクを選択します。



- ① すべてのディスクにチェックが入っていることを確認してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

重要

- ▶ すべてのディスクの作成が完了するまで作業を中断しないでください。ご購入時の状態に戻すリカバリには中断せずに作成したすべてのディスクが必要です。

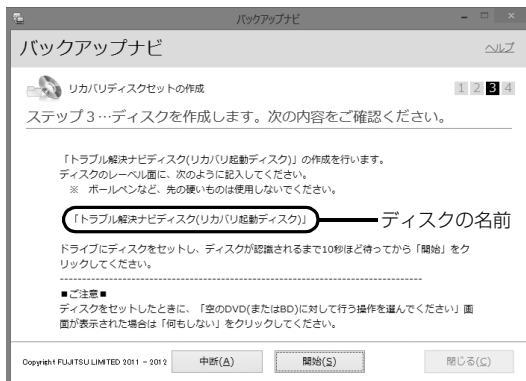
8 内容を確認して「OK」をクリックします。



9 「「〇〇〇」の作成を行います。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に〇〇〇と記入します。

〇〇〇は作成するディスクの名前が表示されます。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。



10 記入したディスクをセットします。



- ▶ ディスクをセットしたとき、「空のDVD に対して行う操作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「何もしない」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

11 ディスクが認識されるまで30秒ほど待ってから、「開始」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。書き込みが完了するとCD/DVD ドライブが開き、メッセージが表示されます。

■「「〇〇〇」の作成を行います。」というメッセージが表示された場合

手順 12 に進んでください。

■「リカバリディスクセットの作成に成功しました。」というメッセージが表示された場合

結果を確認し、手順 13 に進んでください。

12 ディスクを取り出して、次に作成するディスクのレーベル面に〇〇〇と記入し、手順 10 に戻ります。

13 ディスクを取り出して、「完了」をクリックします。手順 5 の画面に戻ります。

これでリカバリディスクセットの作成は完了です。

パソコンの電源を完全に切る

重要

▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。

- ・トラブル解決ナビを起動する
- ・BIOS セットアップを起動する

上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。

詳しくは、「Windows を終了する」(→ P.68)をご覧ください。

1 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示します。

📄『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 そのまま真下にマウスポインターを移動させて「設定」をクリックします。

3 「PC 設定の変更」をクリックします。

4 画面左側のメニューで「全般」をクリックします。

5 画面右側のメニューで「今すぐ再起動する」をクリックします。

表示されない場合は画面をスクロールします。

6 「PC の電源を切る」をクリックします。

富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内

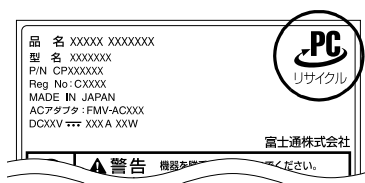
個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込み ホームページ	http://azby.fmworld.net/recycle/
お問い合わせ 電話番号	03-5715-3140 (通話料金お客様負担) 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および弊社指定休日 を除く)

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです(法人(個人事業主を含む)、企業は除く)。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。



PC リサイクルマーク

(装置銘板は機種により異なります)

重要

▶ 法人(個人事業主を含む)、企業のお客様へ
お申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。

法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのハードディスクに記録されたデータは、削除したり、ハードディスクを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。

また、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有償）のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」

(<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>) をご覧ください。

■ハードディスクデータ消去

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「ハードディスクデータ消去」の使用方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.142）。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分量の許可を取得している会社にて処分を委託してください。

■使用済みバッテリーの取り扱いについて LIFEBOOK

- リチウムイオン電池のバッテリーパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリーは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC [ジェイビーアールシー] のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>) をご覧ください。

弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。



- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリーパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出してください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内」（→ P.162）をご覧ください。

□法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管には水銀が含まれております。

廃棄を予定しているパソコンの仕様を確認してください。

環境配慮のため、お申し込みホームページからリサイクルをお申し込みください（→ P.162）。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条（本規定の適用）

- 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が富士通の「故障や修理に関する受付窓口」にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「<http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容及び、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容及び有効に適用されるものとします。

第2条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製/パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第3条（修理の形態）

- 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。
- （1）**引取修理（パソコン修理便）**
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
- （2）**訪問修理**
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。
- （3）**前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。**

第4条（保証期間内の修理）

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- （1）保証書が対象機器に添付されていない場合
- （2）保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
- （3）ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
- （4）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
- （5）寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
- （6）接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
- （7）お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
- （8）お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、マザーボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
- （9）お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合
（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）
- （10）第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

- （1）第3条第1項第（2）号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- （2）ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

第5条（保証期間外の修理）

- （1）お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
- （2）次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
- （1）第3条第1項第（2）号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- （2）ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- （3）お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
- （4）お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条（修理料金の見積もり）

- （1）修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとします。訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺った内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- （2）前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- （3）第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条（修理料金等の支払い方法）

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があるものとします。

- （1）お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- （2）引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
- （3）有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- （4）お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- （5）天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
- （6）第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもて、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとします。また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所

有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承くださいるものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置 (ハードディスク等) に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容 (以下総称して「データ等」といいます) につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。(日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。) なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 富士通は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、富士通は、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更・消去する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム (OS) ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体 (CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO 等)、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、方が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
 - a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
 - b. ウィルスの除去
 - c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
 - d. データ等のバックアップおよび復旧作業

第 12 条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品 (再用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む) とします。
2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条 (個人情報の取り扱い)

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報 (以下「お客様の個人情報」といいます) につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは

提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

- (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。
2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条 (責任の限定)

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、富士通は、富士通の責に帰することのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条 (変更)

富士通は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2013 年 3 月 26 日から実施します。

■対象機器

- ・ Arrows Tab Wi-Fi QH シリーズ
- ・ FMV シリーズ
- ・ FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ・ ESPRIMO / LIFEBOOK (品名が以下のように表記される製品)

品名: $\frac{*}{\text{アルファベット}} \frac{H}{\text{数字}} \frac{***}{\text{数字またはアルファベット}} / \frac{***}{\text{数字またはアルファベット}}$
(2 ~ 3 桁) (1 ~ 3 桁)

品名: $\frac{W}{\text{アルファベット}} \frac{*}{\text{数字}} \frac{*}{\text{アルファベット}} / \frac{*}{\text{アルファベット}}$

品名: $\frac{*}{\text{アルファベット}} \frac{H}{\text{数字またはアルファベット}} / \frac{R}{\text{数字またはアルファベット}} \frac{**}{\text{数字またはアルファベット}}$
(1 ~ 2 桁)

My Cloud FMV サポート会員規約 (旧 AzbyClub 会員規約)

この規約は、お電話でユーザー登録をしていただく際に対象となる規約です。

ホームページからユーザー登録される場合は、最新版の「My Cloud アカウント利用規約」および「My Cloud FMV サポート規約」をご覧ください。

My Cloud ホームページ 会員 / 利用規約 (※最新版)
<http://azby.fmworld.net/rules/>

個人情報の取扱いについては、第 8 条に記載しています。

第 1 条 (適用範囲)

1. 本会員規約は、富士通株式会社 (以下「富士通」といいます) が提供する「旧 AzbyClub」(アズビクラブ) の各サービス (以下「本サービス」といいます) を、次条に定める My Cloud FMV サポート会員 (旧 AzbyClub 会員) (以下「会員」といいます) が利用する場合に適用されます。
2. 本会員規約とは別に、富士通が本サービス毎に利用規約または利用条件 (以下あわせて「利用規約等」といいます) を定めた場合には、会員は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本会員規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第 2 条 (会員)

1. 会員とは、本会員規約末尾記載の本サービスの対象製品 (以下「サービス対象製品」といいます) を購入し、富士通に対しユーザー登録をしていただいた方で、これに対し富士通が本サービスの利用に必要なユーザー登録番号およびパスワードを発行した方をいいます。
2. ユーザー登録の登録料ならびに旧 AzbyClub の入会金および年会費は無料です。ただし、ユーザー登録の際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 3 条 (本サービス)

1. 富士通は、会員に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
 - (1) 会員専用ホームページにおけるサービス
 - (a) サービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報の提供
 - (b) ソフトウェアのダウンロードサービス
 - (c) その他の富士通が別途定めるサービス
 - (2) サービス対象製品に関する、富士通/パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口によるサポート
 - (a) 電話サポート
 - (b) E メールサポート
 - (3) AzbyClub ポイントサービス
2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第 4 条 (会員専用ホームページにおけるサービス)

1. 富士通は、会員に対し、インターネット上に開設した会員専用ホームページを通じてサービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報を提供します。
2. 前項におけるサービスの他、富士通は、ソフトウェアのダウンロードサービスなど別途富士通が定めるサービスを会員に対して実施します。なお、当該サービスの詳細内容、および必要な場合はその利用規約等については、別途富士通から通知するものとします。
3. 当該サービスには有料サービスと無料サービスがあり、有料サービスの利用料金については、会員専用ホームページに掲載するとおりとします。なお、会員が当該サービスを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 5 条 (富士通/パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口によるサポート)

1. 富士通は、会員に対し、電話または E メールにて、以下のサポート (以下「技術サポート」といいます) を提供します。
 - (1) サービス対象製品の仕様、利用方法、動作環境に関する質問・相談への対応。
 - (2) サービス対象製品の導入支援。
 - (3) サービス対象製品が正常に動作しない場合の問題解決のための支援。
2. 技術サポートにおける会員からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本会員規約末尾記載のとおりとします。
3. 会員は、技術サポートを利用する場合、サービス対象製品の記憶装置 (ハードディスク等) に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に会員の責任においてバックアップをとるものとします。
4. 以下の作業は、技術サポートの対象とならない場合があることを、会員はあら

かじめ了承するものとします。

- (1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
 - (2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、会員が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソフトウェアのサポート作業
 - (3) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
 - (4) 電話または E メールによるサポートが、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
 - (5) マニュアルに記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
 - (6) ハードウェアの故障・修理に関するお問い合わせ
 - (7) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業
5. 技術サポートの利用料金 (以下「技術サポート料」といいます) については、本会員規約末尾記載のとおりとします。なお、会員が会員専用ホームページおよび E メールにより技術サポートを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。
 6. 前項において技術サポート料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード (MASTER/VISA/JCB) での支払いとします。ただし、例外として富士通が認めた場合、別途富士通が指定するコンビニエンスストアでの支払いも可能とします。なお、支払方法は一括払いとします。
 7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、技術サポート料は当該クレジットカードの会員規約において定められている振替日に会員指定の銀行から引き落とされるものとします。また、コンビニエンスストアでの支払いが認められた場合は、会員は、技術サポート料を別途富士通が定める期日までに支払うものとします。なお、当該支払に要する手数料は、会員の負担とします。

第 6 条 (AzbyClub ポイントサービス)

1. 富士通は、以下に定める会員に対し、AzbyClub ポイントサービス (以下「ポイントサービス」といいます) を提供します。
 - (a) ポイントサービス開始後、富士通が提供するショッピングサイト WEB MART (以下「WEB MART」といいます) で商品を購入した会員
 - (b) AzbyClub カードを所有している会員
 - (c) その他、富士通が別途通知した会員
2. 会員は、発行された AzbyClub ポイント (以下「ポイント」といいます) を蓄積、消費することにより、WEB MART での商品購入時における割引の適用、旧 AzbyClub で実施する懸賞への応募、景品との交換その他のサービスを利用できます。なお、各サービスの具体的な内容およびポイント消費数等の詳細については、別途定めるものとします。
3. ポイントには、旧 AzbyClub や WEB MART 等での商品購入に伴い発行されるポイント (以下「ショッピングポイント」といいます) と、富士通が提供する各種サービスの利用に伴い発行されるポイント (以下「キャンペーンポイント」といいます) の 2 種類があります。なお、ポイント発行数については、別途各サービス毎に定めるものとします。
4. キャンペーンポイントは、別途定める上限数を超えて蓄積することはできません。
5. ショッピングポイントは、会員が購入した商品が出荷された時点で発行されます。なお、WEB MART において富士通が定める「販売条件」 (以下「販売条件」といいます) に基づき会員が当該商品を返品した場合は、当該ポイントは無効となります。
6. 会員が WEB MART での商品購入時に割引の適用を目的としてポイントを消費する場合、当該ポイントの消費は、商品の代金決済が完了した時点で確定するものとします。なお、販売条件に基づき会員が商品を返品した場合は、当該ポイントの消費はなかったものとして扱われます。
7. ポイントの有効期間は、発行から 1 年目の日の属する月の末日までとします。ただし、当該有効期間内にポイントの発行または消費があった場合、会員が保有するすべてのポイントの有効期間は、当該発行または消費のあった日から 1 年目の日の属する月の末日まで、自動的に延長されるものとします。
8. 会員は、ポイントの第三者への譲渡、売買、現金との交換等は一切できないものとします。
9. ポイントの発行および消費は、本会員規約の第 2 条第 1 項に定めるユーザー登録番号およびパスワードにより管理されるものとし、ポイントサービスの利用時に会員がこれらを入力しなかったことにより、ポイントの発行が受けられない、もしくはポイントを消費できずに商品購入時の割引が受けられない等の不利益を被ったとしても、富士通は一切責任を負わないものとします。
10. 会員が、本会員規約の第 11 条 (退会) または第 12 条 (会員資格の取消等) に基づき、旧 AzbyClub を退会し、または会員資格を取り消された場合、ユーザー登録が抹消された時点で当該会員の保有するすべてのポイントは無効となります。
11. 富士通は、事前に会員に通知することにより、ポイントサービスを終了することがあります。この場合、会員の保有するポイントは、第 7 項にかかわらず、当該ポイントサービスの終了日をもってすべて無効となります。

第 7 条 (会員の遵守事項)

1. 会員は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよ

- び情報等を、富士通に提供するものとしします。
2. 会員は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとしします。
 3. 会員は、本会員規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとしします。また、本サービスにより富士通が会員に提供した情報その他著作物は、その会員のみ利用することができるものであり、会員は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとしします。
 4. 会員は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとしします。会員が当該届出を怠った場合、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことがあります。
 5. 会員は、サービス対象製品に取する所有権、使用权等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとしします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことができるものとしします。
 6. 会員は、富士通より通知されたユーザー登録番号、パスワードを自己の責任をもって管理するものとし、それらが不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとしします。

第8条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり会員が富士通に登録した情報のうち、当該会員個人を識別できる情報（以下「会員の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 本サービスを提供すること。
 - (2) 本サービスの向上を目的として、Eメール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
 - (3) 本サービスの向上を目的として、会員におけるEメールの開封状況、富士通のWebページの閲覧状況、その他会員における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。
 - (4) 会員に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、Eメール、郵便、電話等により会員へ提供すること。
 - (5) 会員の個人情報の取り扱いにつき、個別に会員の同意を得るために、当該会員に対しEメール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。
 - (6) キャンペーン品・モニター品・当選賞品などを会員へ発送すること。
2. 富士通は、会員からAzbyClubユーザー名の利用申込みがあった場合に限り、ニフティ株式会社の提供するサービスを利用するために、会員の個人情報のうちAzbyClubユーザー名発行に必要な情報（氏名、住所、電話番号など）を契約に基づきニフティ株式会社に提供します。AzbyClubユーザー名については、付則に記載します。
3. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、会員の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとしします。
4. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、会員の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第9条（サービスの打ち切り）

富士通は、会員への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを会員は了承するものとしします。

第10条（責任の限定）

1. 富士通は、会員が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。
2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとしします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとしします。
3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰することのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとしします。
4. 本サービスの利用または利用不能により会員が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第2項および前項の規定は適用されないものとしします。

第11条（退会）

1. 会員が旧AzbyClubからの退会を希望する場合は、事前に富士通に届け出るものとしします。なお、旧AzbyClubから退会すると、同時にユーザー登録も抹消されます。

第12条（会員資格の取消等）

1. 会員が次のいずれかに該当する場合、富士通はその会員資格を取り消し、同時にユーザー登録のすべてを抹消することがあります。
 - (1) ユーザー登録時に虚偽の事項が記載されていたことが判明した場合
 - (2) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合
 - (3) 本会員規約に違反した場合
 - (4) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合

- (5) 他者になりすまして本サービスを利用した場合
 - (6) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合
 - (7) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合
 - (8) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合
2. 前項のいずれかの行為を会員が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は会員に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第13条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、会員は了承するものとしします。

第14条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、会員に対する通知をもって変更できるものとしします。

- (1) 本会員規約ならびに利用規約等の内容
- (2) 本サービスの利用料金
- (3) サービス対象製品
- (4) 本サービスの内容

第15条（通知）

本サービスならびに本会員規約における富士通から会員への通知は、会員専用ホームページでの表示により行われるものとしします。

第16条（専属的合意管轄裁判所）

会員と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

付則

本会員規約は、2013年1月4日から改定実施します。

■サービス対象製品（※1）

- ・ESPRIMO（※2）
- ・LIFEBOOK（※2）
- ・Arrows Tab Wi-Fi QHシリーズ
- ・FMV-STYLISTIC QHシリーズ
- ・FMV-DESKPOWER（※3）
- ・FMV-TEO
- ・FMV-BIBLO（※3）
- ・FMV-STYLISTIC（※4）
- ・Pocket LOOX（※4）
- ・INTERTOP（※4）
- ・FMV-TOWNS（※4）
- ・ファミリーネットワークステーション（※4）
- ・FMVステーション（※4）
- ・メディアタンク（※4）
- ・Refreshed PC（※4）

※その他、富士通が別途「サービス対象製品」と定める富士通製品

※1：ソフトウェアについては、上記製品にあらかじめインストールされているもののうち、富士通がサポートするもののみが対象となります。その他のソフトウェアのサポート窓口については、製品添付のマニュアルをご確認ください。

※2：以下の条件を満たす製品が対象です。

- (1) 日本国内において購入された日本国内向け製品
- (2) 品名が以下のように表記された製品

品名： * H *** / ***
 ↑ ↑ ↑
 アルファベット 数字 数字またはアルファベット
 (2～3桁) (1～3桁)

品名： W * * / *
 ↑ ↑ ↑
 アルファベット 数字 アルファベット

品名： * H / R **
 ↑ ↑ ↑
 アルファベット 数字またはアルファベット
 (1～2桁)

※3：以下OSがプレインストールされたFMVを除きます。

- ・Microsoft® Windows® 3.1 Operating System
- ・Microsoft® Windows® 95 Operating System
- ・Microsoft® Windows® 98 operating system
- ・Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
- ・Microsoft® Windows® Millennium Edition

※4：本サービスはESPRIMO/LIFEBOOK/FMV-DESKPOWER/TEO/BIBLOシリーズでの利用を基本とさせていただいております。その他の機器での

利用に際しては、会員専用ホームページにおけるサービスの利用が一部制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■技術サポートの受付方法、受付時間ならびに利用料

※最新の情報につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。

(1) 受付方法および受付時間

	受付方法	受付時間
電話による技術サポート	電話での受付	9時～19時 (システムメンテナンス日を除く)
	会員専用ホームページによる予約受付	24時間 (システムメンテナンス日を除く)
メールによる技術サポート	会員専用ホームページによるお問い合わせ受付	

注・受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

(2) 利用料

次の料金表のとおりとします。

① 電話による技術サポートの場合：以下のとおりとします。

期間	技術サポート料
無料期間中（無料期間は下表をご参照ください）	何度でも無料
無料期間終了後	2,000円/件（税込） ただし、AzbyClubカードでのお支払の場合：1,500円/件（税込）

<無料期間>

サービス対象製品のモデル ^{※1}	無料期間
2009年冬モデル (2009年10月発表) 以降のモデル	初めてパソコンに電源をいれた日 (以下「保証開始日」といいます) から 1年間
2009年夏モデル (2009年4・6月発表) 2009年春モデル (2008年12月発表)	2011年3月31日まで ^{※2}
2008年秋冬モデル (2008年8・11月発表) 以前の モデル	2010年5月31日まで ^{※2}

※1：ご使用になっているパソコンのモデルが分からない方は、以下ホームページをご確認ください。

<http://azby.fmwworld.net/machineselect/seasoncheck/>

※2：無料期間が「保証開始日から1年間」よりも短い場合、無料期間を「保証開始日から1年間」まで延長いたします。

② Eメールによる技術サポートの場合：無料

注・技術サポートの中断（会員規約第13条）が生じた場合でも、無料期間は延長されません。

・お問い合わせ件数につきましては、電話された回数とは関係なく、会員からお問い合わせいただいた技術相談1項目に対し、富士通が回答したことをもって1件とします。なお、富士通は、当該回答後14日以内に限り、当該回答の内容に関する会員からのお問い合わせを受け付けます。この場合、件数は加算されません。1件のお問い合わせの中に複数の技術相談項目が含まれていた場合は、複数件として扱います。

・サービス対象製品を複数台所有しておられる場合、1台でも無料期間内であれば、他のサービス対象製品（Refreshed PC、FMV らくらくバック利用規約に定めるサービス対象製品および FMV らくらくパソコン利用規約に定めるサービス対象製品は除く）についても無料で技術サポートをご利用いただけます。

・富士通 WEB MART、購入相談窓口にて、電話サポートにつき「お問い合わせ初回より有料」を選択してご購入いただいた富士通製品の扱いについて当該富士通製品に関しましては、サービス対象製品であっても、上記の料金表の電話サポートに関する無料期間は適用されず、お問い合わせ1件目より有料（通常2,000円/件（税込）、AzbyClubカードでのお支払の場合1,500円/件（税込））とさせていただきます。

○ Refreshed PC の扱いについて

Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しましては、電話での受付時間は月～金曜日（祝日を除く）の9:00～17:00とします。また、技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話およびEメールいずれもお問い合わせ1件目より有料（通常2,000円/件（税込）、AzbyClubカードでのお支払の場合1,500円/件（税込））とさせていただきます。

○ FMV らくらくバックおよび FMV らくらくパソコンの扱いについて

FMV らくらくバックおよび FMV らくらくパソコンに関する技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話およびEメールいずれもお問い合わせ1件目より有料（通常2,000円/件（税込）、AzbyClubカードでのお支払の場合1,500円/件（税込））とさせていただきます。

■ AzbyClub ユーザー名について

- 富士通は、会員が希望する場合、会員に対し、ユーザー登録番号とは別に、AzbyClub ユーザー名およびパスワード（以下あわせて「AzbyClub ユーザー名等」といいます）を無料で発行します。ただし、AzbyClub ユーザー名等の発行にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。なお、AzbyClub ユーザー名等の発行を受けるためには、会員は、ニフティ株式会社が定める@nifty会員規約および個人情報保護ポリシーに同意する必要があります。
- 会員は、富士通により発行されたAzbyClubユーザー名等を自己の責任をもって管理するものとし、AzbyClub ユーザー名等が不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。
- 会員は、AzbyClub ユーザー名等を使用して、本サービスの他、ニフティ株式会社および富士通が指定するその他の第三者（以下「提携先」といいます）の提供するサービス（以下「提携サービス」といいます）を利用することができます。会員は、提携サービスに関し問い合わせがある場合、当該提携サービスの提供元に対して直接問い合わせるものとします。
- 会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して提携サービスを利用する場合、会員は、提携先の定める利用規約等に従うものとします。なお、ニフティ株式会社以外が提供する提携サービスの利用に際しては、当該提携サービス提供元の会員規約および個人情報保護ポリシーへの同意が別途必要になる場合があります。
- 会員が有償の提携サービスを利用した場合、当該有償提携サービスの利用料金は、富士通からではなく、当該有償提携サービスの提供元から請求される場合があります。
- 提携サービスについて、富士通は、何らの保証も行わないものとします。本サービスの利用を除き、AzbyClub ユーザー名等の利用に関して、富士通は一切の責任を免れるものとし、会員は、提携サービスに起因して損害を被った場合であっても、富士通に対し、一切の請求を行わないものとします。
- 会員は、富士通所定の方法により届け出ることにより、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除することができます。なお、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除した場合であっても、会員は、本会員規約に基づく会員資格を失わないものとします。
- 富士通は、以下の場合に、本会員規約に基づく会員資格を失わせることなく、会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを、一時停止または削除することができるものとします。
 - 会員が提携サービスの利用規約等に基づき当該提携サービスの利用資格を一時停止または取り消された場合。
 - 会員が提携サービスの利用資格を自ら一時停止し、もしくは取り消した場合。
 - その他の理由により富士通が必要と認めた場合。

パソコン本体の仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。

■仕様の調べ方

仕様の詳細については「富士通アドバイザー」(→ P.142) の「サポート & サービス情報」から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- パソコン本体の裏面に貼付されたラベル
- 「@メニュー」を起動し、「サポートをさがす」▶「お問い合わせする」▶「パソコンの情報を表示する」を選択すると表示される画面



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます (→ P.142)。

■ESPRIMO WD2/L

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。


注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.171) をご覧ください。

品名		ESPRIMO WD2/L
CPU 注 1		【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-4770 プロセッサー (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i5-4570 プロセッサー
メインメモリ 注 2 注 4		PC3-12800 DDR3 SDRAM、CL11
	標準容量	【以下より選択可能】 2GB (2GB×1) デュアルチャネル対応可能注 3 / 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (4GB×4) デュアルチャネル対応 / 32GB (8GB×4) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB
CD/DVD ドライブ 注 5		【以下より選択可能】 BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応) / スーパーマルチドライブ (DVD ± R DL (2 層) 書き込み対応)
無線 LAN 注 6	規格	【以下より選択可能】 IEEE802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、 IEEE 802.11n 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注 7 / なし
	内蔵アンテナ	無線 LAN あり選択時: ダイバーシティ方式注 8 無線 LAN なし選択時: なし
電源・周波数		電源・周波数 AC100V (AC アウトレット付)・50/60Hz 注 9
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.170)。
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		縦置き時: フット (設置台) を含まない場合: 89 × 353 × 341mm、 フット (設置台) を含む場合: 179 × 353 × 354mm 注 10

品名	ESPRIMO WD2/L
本体質量 (フット (設置台) を除く)	ハードディスクドライブが約6TB (3TB×2) 選択時: 約8.1kg 約128GB/約256GB SSD (フラッシュメモリディスク) + 約3TB選択時: 約8.1kg ハードディスクドライブが約500GB/約1TB/約2TB/約3TB選択時: 約7.5kg

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 パリティチェック機能はありません。
- 注 3 スーパーマルチドライブ搭載機種のみ選択可能。
- 注 4 ・取り付けるメモリの容量の組み合わせによってはシングルチャネルで動作します。
・搭載されているメモリが 1 枚の場合はシングルチャネルで動作します。
- 注 5 読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「**■**仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.170)。
- 注 6 無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
 [Web『補足情報』](#)
- 注 7 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- 注 8 IEEE 802.11n 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
- 注 9 ・矩形波が出力される機器 (UPS (無停電電源装置) や車載用 AC 電源など) に接続されると、故障する場合があります。
・入力波形は正弦波のみサポート。
- 注 10 横置き時の外形寸法は次のとおりです。
フット (設置台) を含まない場合: 341 × 353 × 89mm、フット (設置台) を含む場合: 431 × 353 × 102mm

■商標および著作権について

インテル、Intel、インテル Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

AMD およびそれらの組み合わせ、Radeon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

Corel、Corel のロゴ、WinDVD は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

Corel and the Corel Paint it! are trademark or registered trademarks of Corel Corporation and/or its subsidiaries in Canada, the U.S., and/or other countries.

McAfee、マカフィー、サイトアドバイザーライブは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

デジタルアーツ / DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。

「メモリースティック」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。 

ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の商標で、富士通へライセンスされています。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。


その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Microsoft アカウント

電子メールアドレス (Microsoft アカウント)、パスワードを記入してください。



電子メールアドレス
(Microsoft アカウント)

パスワード

@

※第三者に漏れないよう充分に注意して管理してください。

ESPRIMO DH シリーズ

取扱説明書＜詳細版＞

B5FK-2171-01-02

発行日 2013 年 7 月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

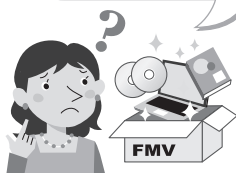
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス PC 家庭教師 (有料)

セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。



パソコン はじめてパック

めんどろなパソコンのセット
アップは、お任せください！

13,900円(税込)～

ウイルス感染！？
うちに来て、
みてほしい。



かけつけ診断

原因がわからないトラブルも
プロが解決に導きます！

9,800円(税込)～※

デジカメの写真、
どうやって
プリントするの？



教えて パソコンレッスン

お客様の「したい」ことを
丁寧に説明します！

17,800円(税込)～

※診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料
無料

みんな つなぐよ
0120-37-2794

■ 受付時間：10時～19時 ■ 訪問時間：10時～20時 (有料サービス)

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は弊社指定のサービス会社をご自宅に伺い、その場でサポートする有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

「PC家庭教師」のほかにも、富士通の有料サービス「バリューplus」では、多彩なメニューをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

例 ● Word、Excelも電話で相談できるPCコンシェルジュサービス
● 3年間メーカー延長保証サービス など

富士通 バリューplus

検索

